

平成27年度 医療技術・サービス拠点化促進事業

**新興国等におけるヘルスケア市場環境の詳細調査
報告書**

タイ編

2016年3月

経済産業省

目次

Executive Summary	p.2
1. 保健省および関連機関の概要	p.7
2. 保健医療政策・施策・予算	p.20
3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等	p.39
4. 調達プロセス	p.62
5. 関連制度・規制	p.78
6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況	p.93
7. 日本企業のビジネスチャンスと課題	p.100
付録1. 主要病院の情報	p.104
付録2. タイ進出済み日本企業の情報	p.121

Executive Summary (1/5)

大項目	中項目	概要
1. 保健省および関連機関の概要	タイ国基本情報	- タイは既に高齢化社会に突入。少子高齢化に伴い医療・医薬品・健康食品への需要が増加する見込み。 ✓ 医療費に大きな影響を与える60歳以上人口の割合は年々増加し、2025年には2割弱を占める見込み。 - タイの一人当たり医療費は2008年の161.6US\$から2013年には264.3US\$へ増加し、約1.6倍となった。
	関連政府省庁	- 医療機器登録、認定及び購入に関わるのは保健省・工業省・財務省。 ✓ 保健省: 医療機器監督庁 (Medical Device Control Division) が医療機器の登録・販売承認を統括。 ✓ 工業省: 工業製品規格事務局 (TISI) が一部特殊な医療機器の安全認証を担当。 ✓ 財務省: 傘下の中央会計局が、公的支出の管理、公的財政に関する規制遵守状況の監督と政府調達の入札に参加するための入札者登録管理を行う。
2. 保健医療政策・施策・予算	保健省が注目している課題	癌、心臓病、高血圧、代謝障害などの生活習慣病患者が増加し続けている。現在保健省が最も注目している疾患は、生活習慣病とHIV・エイズである。 ✓ 生活習慣病予防のキャンペーンのように先進国と同様の施策も掲げられている。 ✓ がんや心臓病患者の増加に伴い、政府は地方のがん・心臓病治療センター拡大等に着手している。 - 医療従事者の数は近年横ばいであり、約20%の医師がバンコクに集中しているため医療従事者の質・量両面での増強と人材の偏在がタイの喫緊の課題となっている。
	政府の予算配分	- 保健医療に対する政府支出は全体の1割を占める。保健医療の中で病院や公衆衛生向け投資が継続的に行われる一方、研究開発投資は減少傾向。 - 関連予算の多くは保健省が管轄する。保健省単独の予算では、病院運営に関わる次官事務局と医療局の割合が高い。また内務省も管理下にある一部の病院で医療機器調達関連予算を持つが、その影響力は高くない。 - 政府予算は毎年10月に配布されるため、医療機器メーカーは前年の11月頃から病院にアプローチを始める。
	医療支出	1997年から2012年で医療支出が約2.5倍に成長。 1997～2001年にかけて公的医療支出は全支出の5割強で推移していたが、2002年のUniversal Coverage Scheme (国民医療保障制度) 開始以来、公的医療支出の割合は上昇し、2012年には8割弱に達している。
	民間医療保険方向性	診療費高騰および少子高齢化に伴う健康不安に伴い、民間医療保険加入者、そして保険料は増加を続けている。
	公立病院の採算性	半数以上の公立医療機関が赤字。コスト削減のために、医療機関の合併や地域内リファラルシステムの構築などの対策が挙げられたが、結論・実行には至っていない。

Executive Summary (2/5)

大項目	中項目	概要
3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等	保健省と直轄公立医療機関の構成・位置づけ	- 医療機関は公立と私立に区別され、公立医療機関は保健省、その他の政府省、公社・NGOそして地方自治体が管轄している。 - 病院事業に関わる保健省の部局は次官事務局・医療局・公衆衛生サービス局である。 ✓ 医療局: バンコク都内公立一般と専門医療機関そして地方公立専門医療機関の政策設定・運営 ✓ 次官事務局: 地方公立一般医療機関の政策設定・運営 ✓ 公衆衛生サービス局: 私立医療機関の監査・登録・許可 9割の医療機関が一次医療機関である。公立の一次医療機関が農村部に多くある一方、私立一次医療機関は都市部に集中している。 - 保健省の次官事務局傘下の地方公立医療機関は、12エリアに区分が為されている。リファラルシステムに基づいて1次から3次医療機関を整備し、エリア内の患者搬送を実行している。エリア内では医療機関がA・S・M・F・Pの順にランク付けされており、エリア内の全体的な医療需要とともに、医療従事者・専門家など機器を使用する人材の有無を踏まえて医療機器の購買計画が策定される。
	私立病院の動向	- 私立病院に目を向けると、4つの大手私立医療機関グループが存在する。一部グループは継続的なM&Aにより事業拡大・コスト競争力強化を図っている。 - タイの大規模グループ病院は、海外の医療機関との提携を通して海外事業展開を狙う。
	主要学会	Thai Medical Device Technology Industry AssociationとMedical Association of Thailandが医療機器に関わる学会であるが、医療機関の医療機器調達には影響がない。

Executive Summary (3/5)

大項目	中項目	概要
4. 調達プロセス	公立医療機関の調達	- 公立医療機関の予算策定は、医療機関単独でなく、管轄機関も巻き込んで実施される。 - 全国に12ある医療地域ごとに、保健省の目標を達成するためにどのような医療機器が必要なのかを委員会が議論したあと、地域内の病院における全体的な医療機器購入計画の策定が行われる。 - 計画策定後、各地域の委員会から保健省に予算が申請される。 - 予算承認後、使用部局は購入の都度、機器の購入申請を提出する。機器の金銭的価値に応じて4種の調達プロセスが存在する。 - 政府調達の入札にあたって、業者選定・入札の透明性を確保することを目指して、公務員と入札者の接点を限定させる新しい政府調達方法を、財務省の中央会計局が発表した。2015年10月1日以降、10万パーツ以上の調達は製品・サービス内容の複雑度によってe-Marketとe-Biddingの2つの政府調達システムのどちらかを通して調達が必要である。 - 次年度の予算申請を保健省に提出するのは、11月～1月にかけての時期である。そこで予算獲得に向けた動きをしていく必要がある。 - 今年度の予算執行については、会計年度が始まる1～2ヶ月前から募集が始まり、選定後の契約は11月～12月までに完了しなければならない。
	私立医療機関の調達	- 私立医療機関の調達プロセスは機器の重要性によって異なる。重要性があり、高額な機器の調達には、より複雑な調達プロセスが必要となり、関連部局も多い。高額機器の場合は院内調達委員会での承認が必要。 - タイの大規模医療機関グループはセントラル調達も行っている。承認ベンダーとしてリストに掲載してもらわないと、調達に参加できないケースも存在する。
	キーパーソン	各医療機関の中で調達に関与するのは、医療機器を実際に使用する部局、調達部局、医療機器調達委員会の3部局である。
	Key Buying Factor	医療機器のKBFは、機器の種類が低額・低機能か高額・高機能かで異なる。高額な機器であるほど、質・技術の他にアフターサービスが求められることになる。

Executive Summary (4/5)

大項目	中項目	概要
5. 関連制度・規制	医療保険制度の整備状況	2002年より国民医療保障制度(Universal Coverage)が導入され、全国民が公的医療保障制度の対象となった。 - タイでは健康診断は義務ではない。しかし、医療費の削減を目的に、政府による健康診断パッケージが提供されている。 - また、健康上のリスクがある業務に従事する労働者に対しては、雇用者は健康診断を受けさせる義務がある。
	輸入事業者・製品登録	- 医療機器は特別管理医療機器、通知医療機器、一般医療機器と3つのカテゴリに分類される。 - タイ工業製品規格事務局(TISI)が指定した4種の製品は、FDAでの登録とは別に、TISIから製品安全基準認定の取得が必要。
	医療機器関税	タイ国民の健康上必要、かつタイ国内で製造されていない高度医療機器25種類が、2012年1月6日タイ財務省官報により輸入免税対象と発表された。
	医療機器ハーモナイゼーションの取り組み状況	タイのFDAは、2015年4月からAMDD(ASEAN Medical Device Directive)と同じ医療機器分類を使用すると発表したはまだ適用されておらず、適用開始時期も未定である。
	外資規制	- 医療機器製造は外国人事業法(FBA)による規制対象外。 - 医療機器卸・小売や病院はFBAにおいて規制業種とされている。 ✓ 医療機器卸・小売: 資本金の積み上げにより外資50%以上の保有が可 ✓ 病院: 外資50%以上の保有は不可
	投資奨励	投資促進を司るタイ投資委員会(BOI)が存在。タイ経済・社会の発展に資すると認められた事業に対して、恩典が与えられる。特定の医療機器製造は恩恵対象。

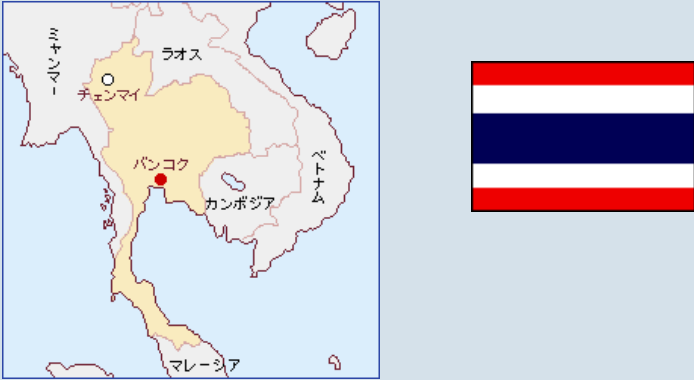
Executive Summary (5/5)

大項目	中項目	概要
6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況	日本の医療機器メーカーの参入および医療協力状況	- 日本企業も多数参入済み。なお、医療機器製造は外国人が過半の株式保有で事業運営が可能だが、輸入販売の場合は外資規制対策を検討する必要有り。 - インタビューでは、保健省と公立病院は民間企業との直接協力について公平な調達に反する可能性があるため消極的であった。政府機関などの仲介が入る形での協力を求めている。 - 保健省とタイの病院は、日本との医療機器等の共同開発のほか、リソース共有、教育、投資、視察などの協力関係を期待している。
	海外の医療機器メーカーの参入および医療協力状況	- Siemens、Philips Electronics、GEなど国際的な大手プレイヤーが進出済み。 - 海外の医療機器メーカーとタイ医療機関・組織との間の協力はリストに含まれている物以外にも実際行われていると思われるが、公開されている情報が限定的。
7. 日本企業のビジネスチャンスと課題	日本企業にとってのビジネスチャンス	- タイの社会変化は日本と類似しており、日本の強みが生かせると考えられる。 - 一方で、現在タイの病院が使っている医療機器の大半は欧米企業製。ユーザー嗜好性と製品認知度によって選定される中、日本の医療機器メーカーはやや分が悪い印象。 - タイ市場進出済み日系企業は自社営業型と現地卸委託型の2つの販売モデルがあり、モデル別に異なる課題を抱えている。

1. 保健省および関連機関の概要

1. 保健省および関連機関の概要-タイ国基本情報

タイは人口約6,500万人。仏教が中心で、一部南部でイスラム教の文化がある。

国・地域名		タイ王国 英: Kingdom of Thailand		
国民の 特性	人口	約6,512万人（2014年12月時点、2016年1月26日現在最新）		
	宗教	仏教 94%、イスラム教 5%		
	民族構成	大多数がタイ族(85%)、華人系(10%)、マレー系、インド系、カンボジア系を中心に様々な民族で構成される。なお、マレー系民族は南部の4県に住み、ほとんどがイスラム教徒。		
地理的 特性	面積	51万4,000平方キロメートル(日本の約1.4倍)	地図 ・ 国旗	
	首都	バンコク 人口569万人（2014年12月、2016年1月26日現在最新）		
	主要都市	バンコク(首都)、ロブプリー(中部)、チョンブリー(東部)、スパンブリー(西部)、チェンマイ(北部)、ナコンラチャシマ(東北部)、ナコンシタマラット(南部)		
	日本との時差	タイは、日本と比べて2時間遅れ(GMT+7)		
その他	通貨	バーツ(Baht) 1バーツ ≡ 3.00円 （1円 ≡ 0.30バーツ） ※2016年1月26日時点		
	言語	タイ語		

出所: Bureau of Registration Administration, Bank of Thailand、外務省各国情報、JETRO、世界銀行公開情報を元にNRI作成

1. 保健省および関連機関の概要-タイ国基本情報

2014年5月22日に軍部によるクーデターが発生。民政移管は2017年7月予定だが、既に予定から1年半以上の遅延しており、今後の見通しは不透明。

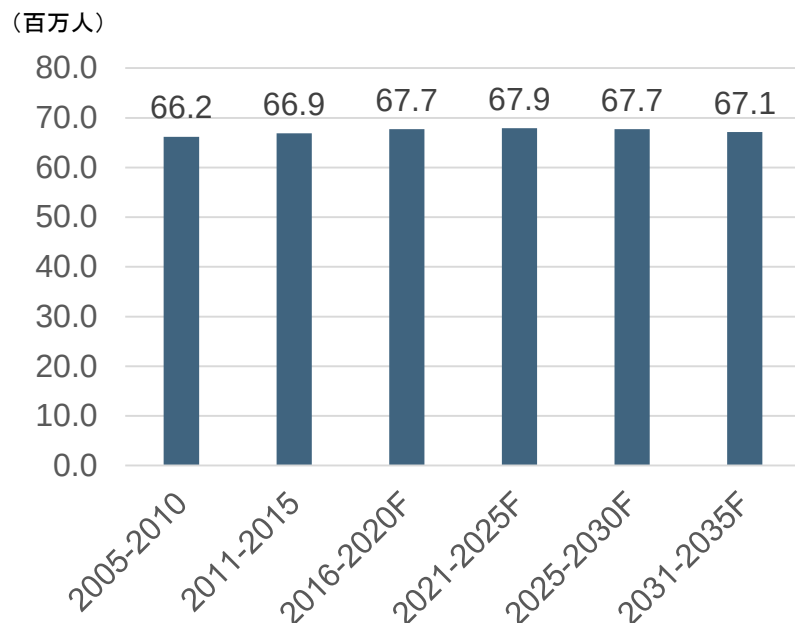
政治体制	概要	立憲君主制
	国家元首	－元首：プミポン・アドゥンヤデート国王（ラーマ9世王）（1946年6月即位） －首相：プラユット・チャンオチャ（元陸軍司令官）
	議会・内閣	国家立法議会（220名）
国内の行政体制		行政区画としては、バンコク首都府と77県に分かれているが、大きく中部、東部、西部、北部、東北部、南部の6つの地域に分けて語られることが多い。第1レベルに県（Province）、第2レベルに郡（District）、第3レベルに村（Sub-district）が置かれている。
政治の概況		2014年5月22日にクーデター発生、軍部が全権を掌握した。上院を解散（下院は既に解散中であった）、各省庁の幹部更迭、国営企業の幹部入れ替えなど、前政権派（タクシン派）の封じ込めを実施した。 クーデター後、軍政は早期に民政移管するためのロードマップを発表、2016年中に民政移管するとしていた。しかし、2015年9月に新憲法草案が国家改革評議会に否決されたことにより、新憲法草案の作り直しが発生、民政移管は早くとも2017年7月へずれ込んだ。

1. 保健省および関連機関の概要-タイ国基本情報

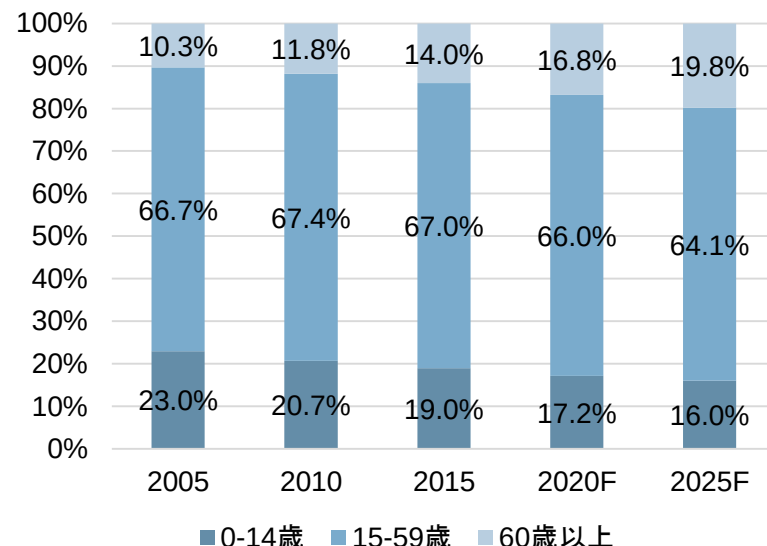
**タイは既に高齢化社会に突入しており、
少子高齢化に伴い医療サービスや医薬品・健康食品への需要が増加する見込み。**

- 年齢別では、生産労働人口(15～64歳)が全体の6割強を占める。
- 医療費に大きな影響を与える60歳以上人口の割合は年々増加し、2025年には2割弱を占める見込み。

人口推移
(2005年～2035年)



年齢構成推移
(2005年～2025年)



実績CAGR:0.11%(2005年～2015年)、予測CAGR:-0.05%(2016年～2035年)

出所: Mahidol University Populations Projections for Thailand 2005 – 2025

UN World Populations Prospect10

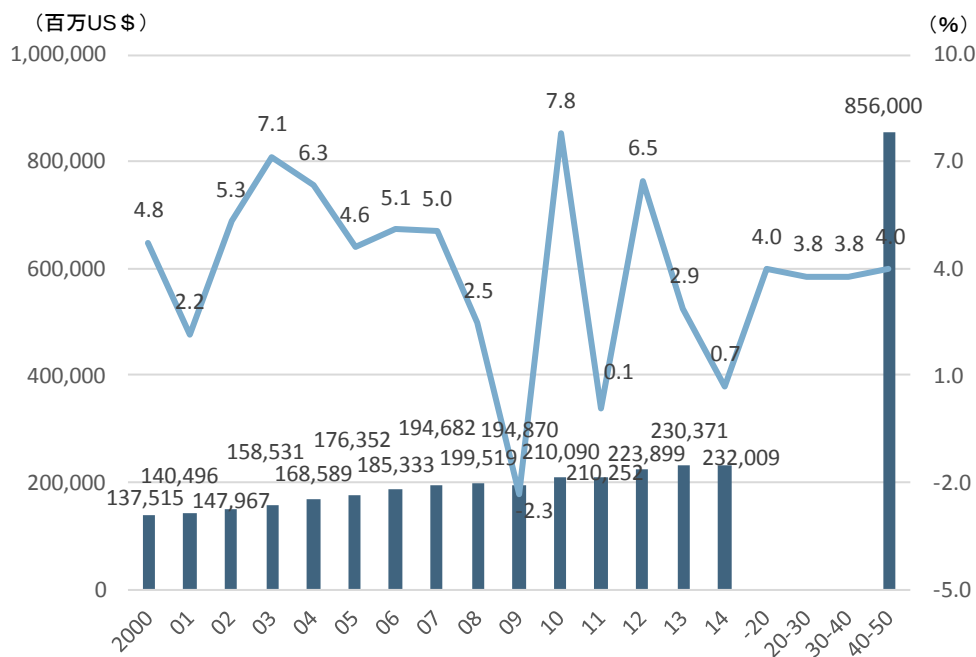
1. 保健省および関連機関の概要-タイ国基本情報

一人当たりGDPは2009～2014年5年間に年平均3.3%で成長し、2050年には11,674US\$まで増加する見込み。

■ 2011年の一人当たりGDPで比較すると、タイ(4,972US\$)は中国を若干下回る水準。

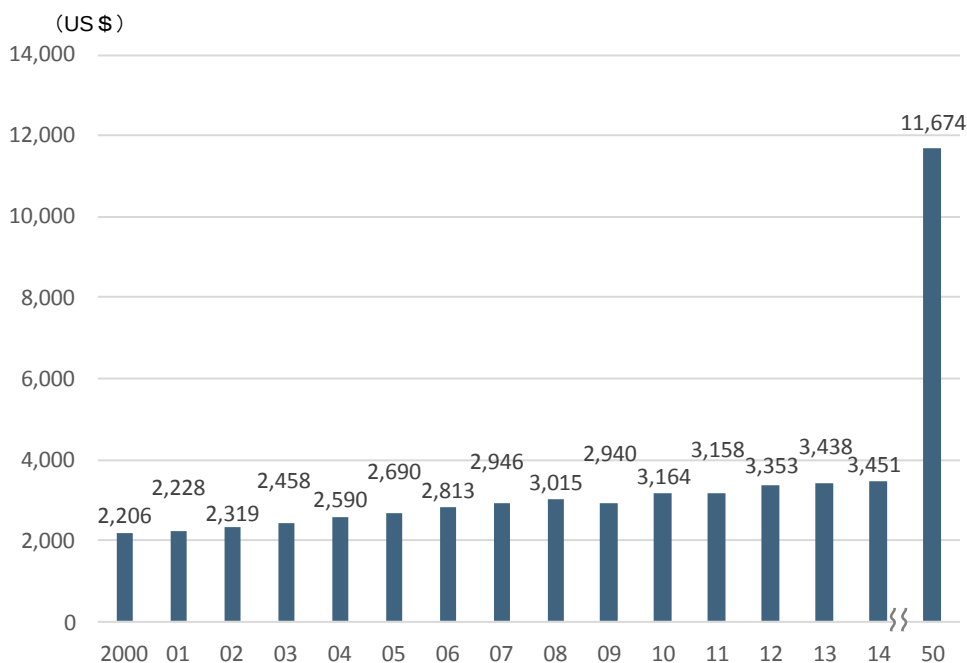
【参考・他国の一人当たりGDP】 日本:46,136US\$ 中国:5,477US\$ 韓国:22,424US\$

GDP(実質)およびGDP成長率



: 実測値CAGR: 3.8% (2000 - 2014)、予測値CAGR: 3.7% (2014-2050)

一人当たりGDP



実測値CAGR: 3.3% (2000 - 2014)、予測値CAGR: 3.4% (2014-2050)

出所: 医療国際展開カントリーレポートより転用: 世界銀行「World Development Indicators」、HSBC「The World in 2050 From the Top 30 to The 100」(2012)

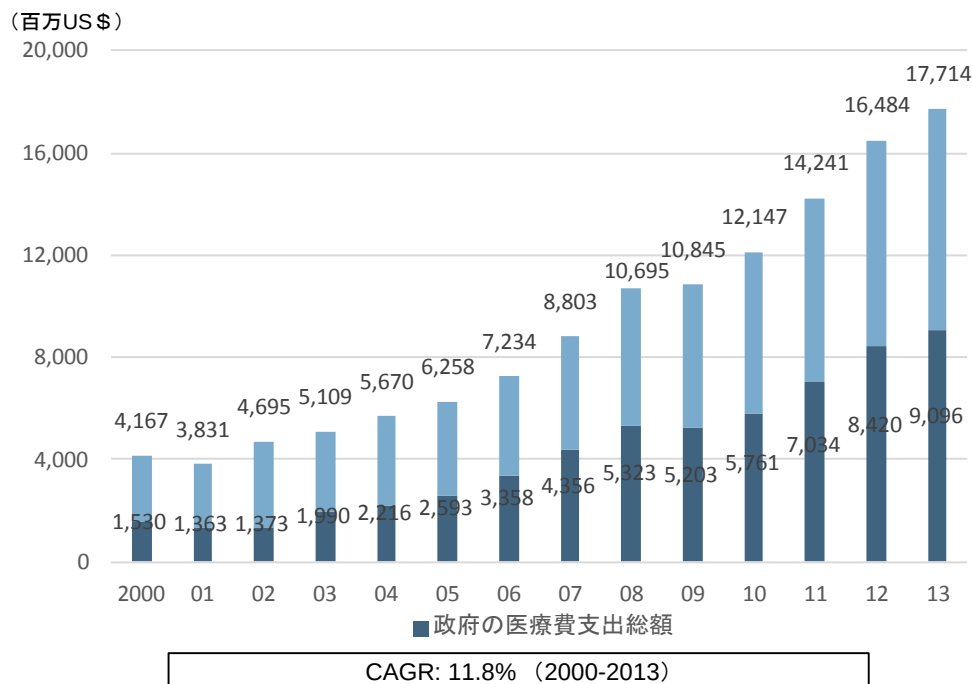
1. 保健省および関連機関の概要-タイ国基本情報

タイの一人当たり医療費は2008年の161.6US\$から2013年には264.3US\$へ増加し約1.6倍となった。

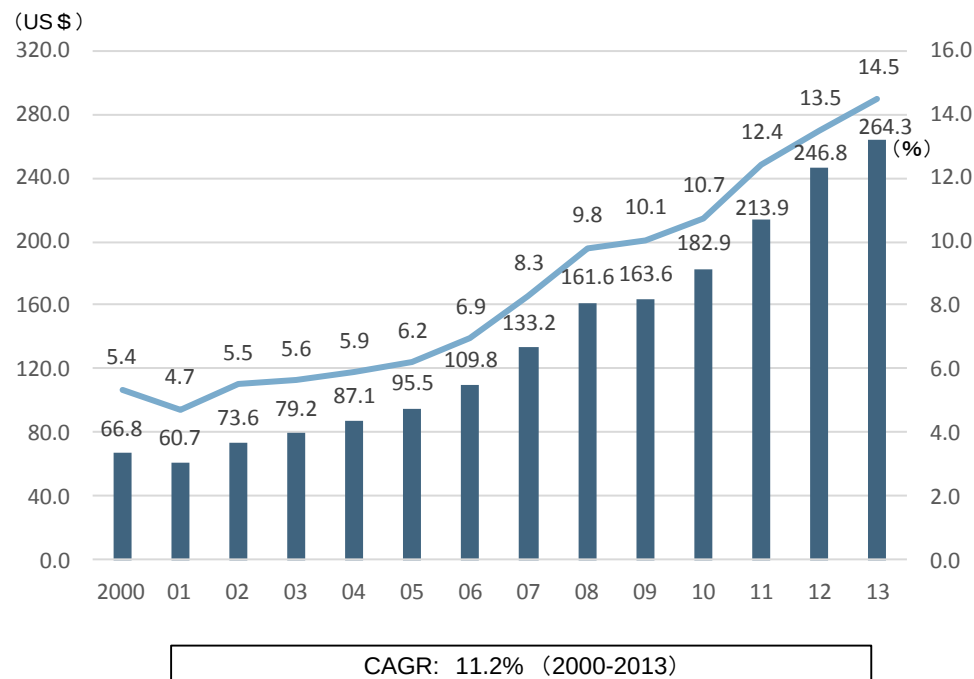
■ 2011年の一人当たり医療費で比較すると、タイ(202US\$)は中国の7割程度。

【参考・他国の一人当たり医療費】 日本:4,256US\$ 中国:280US\$ 韓国:1,616US\$

医療費支出総額と政府の医療費支出総額※1



一人当たり医療費と家計に占める医療費の割合※2

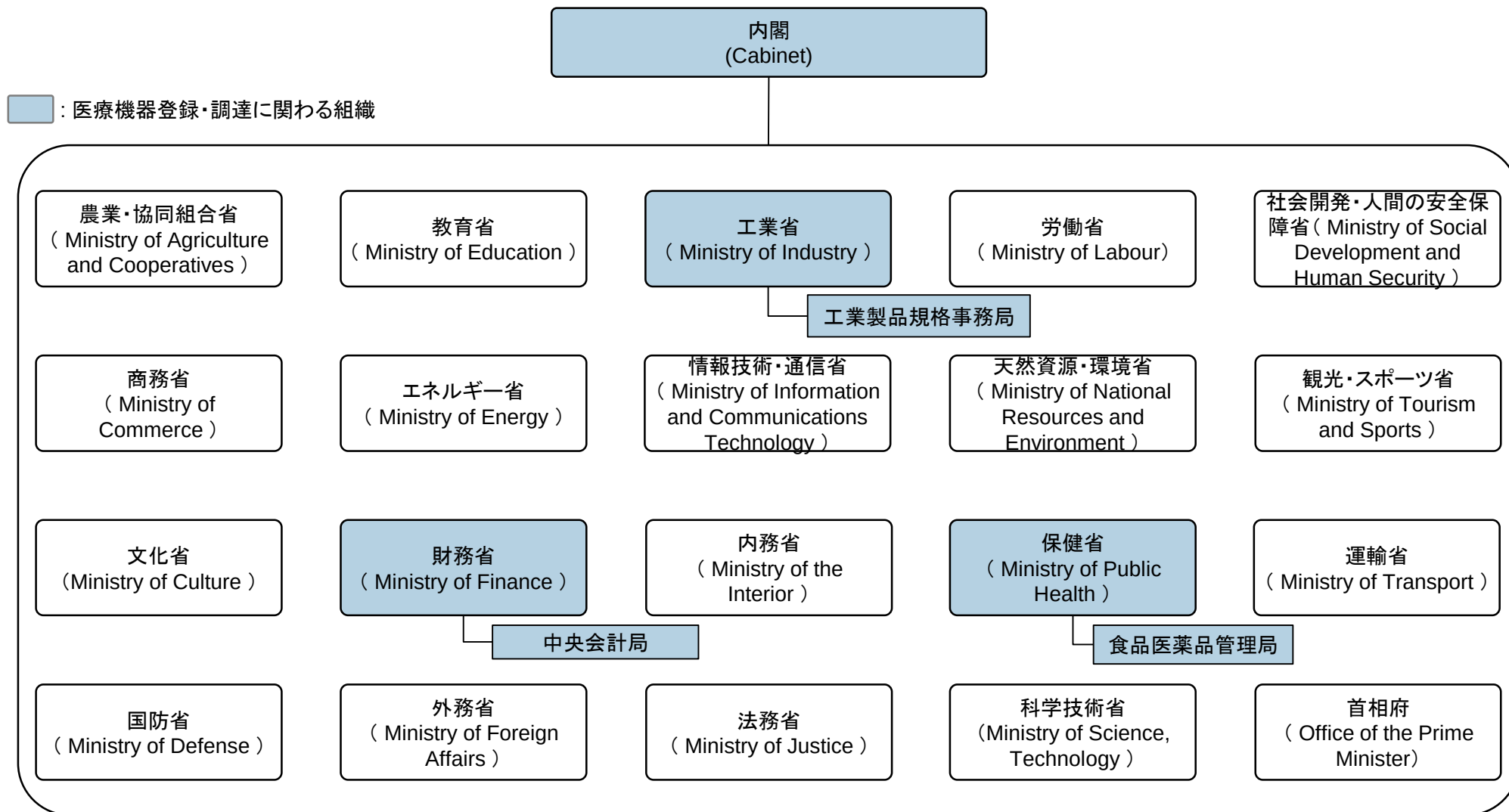


※1 政府の医療費支出総額は、「政府支出総額」と「政府支出に占める公的医療費の割合」から推計した。

※2 家計に占める医療費の割合は、「一人当たり家計消費支出」と「一人当たり医療費支出」から推計した。

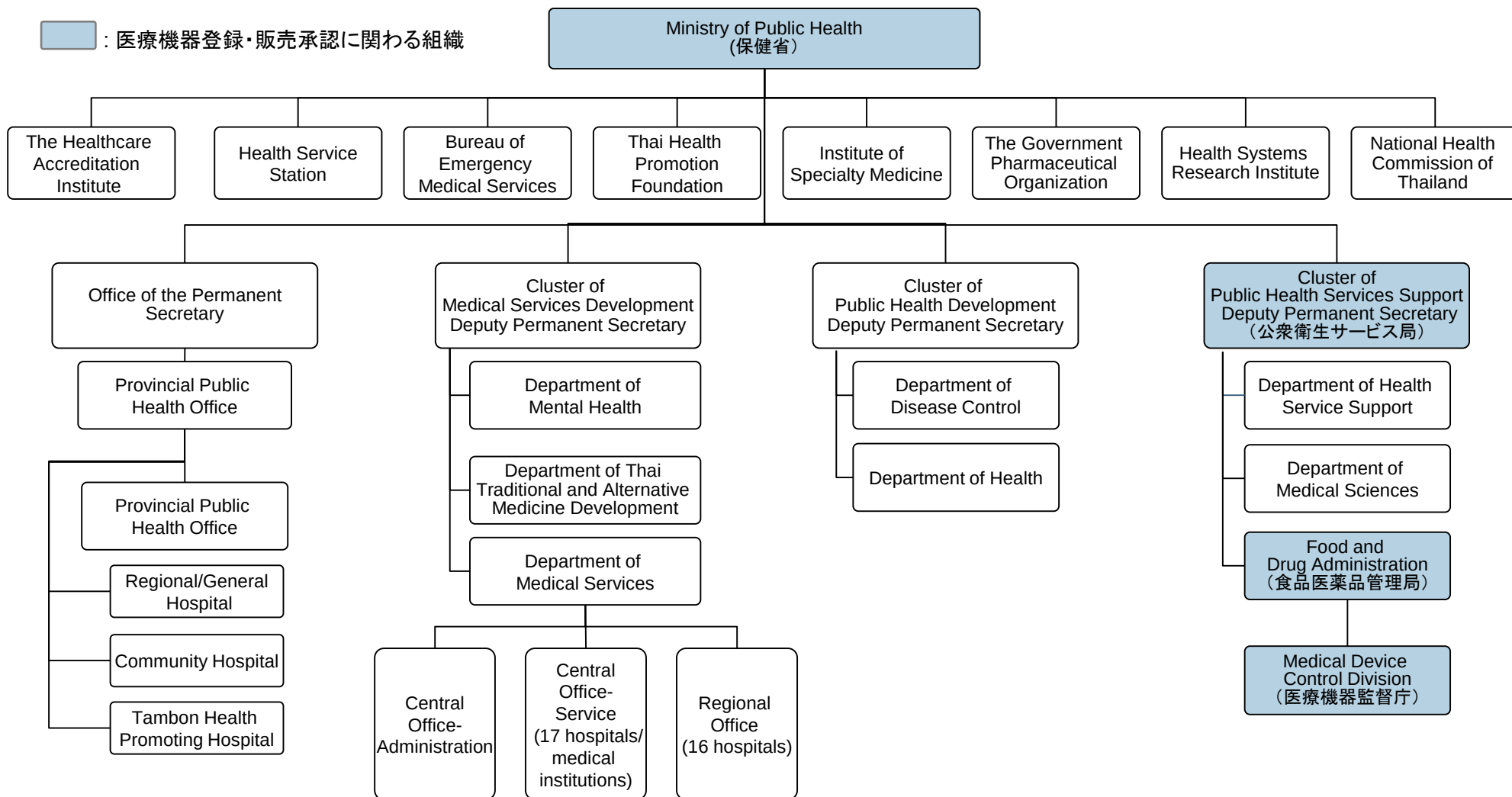
1. 保健省および関連機関の概要-関連政府省

医療機器登録、認定及び購入に関わるのは保健省・工業省・財務省。



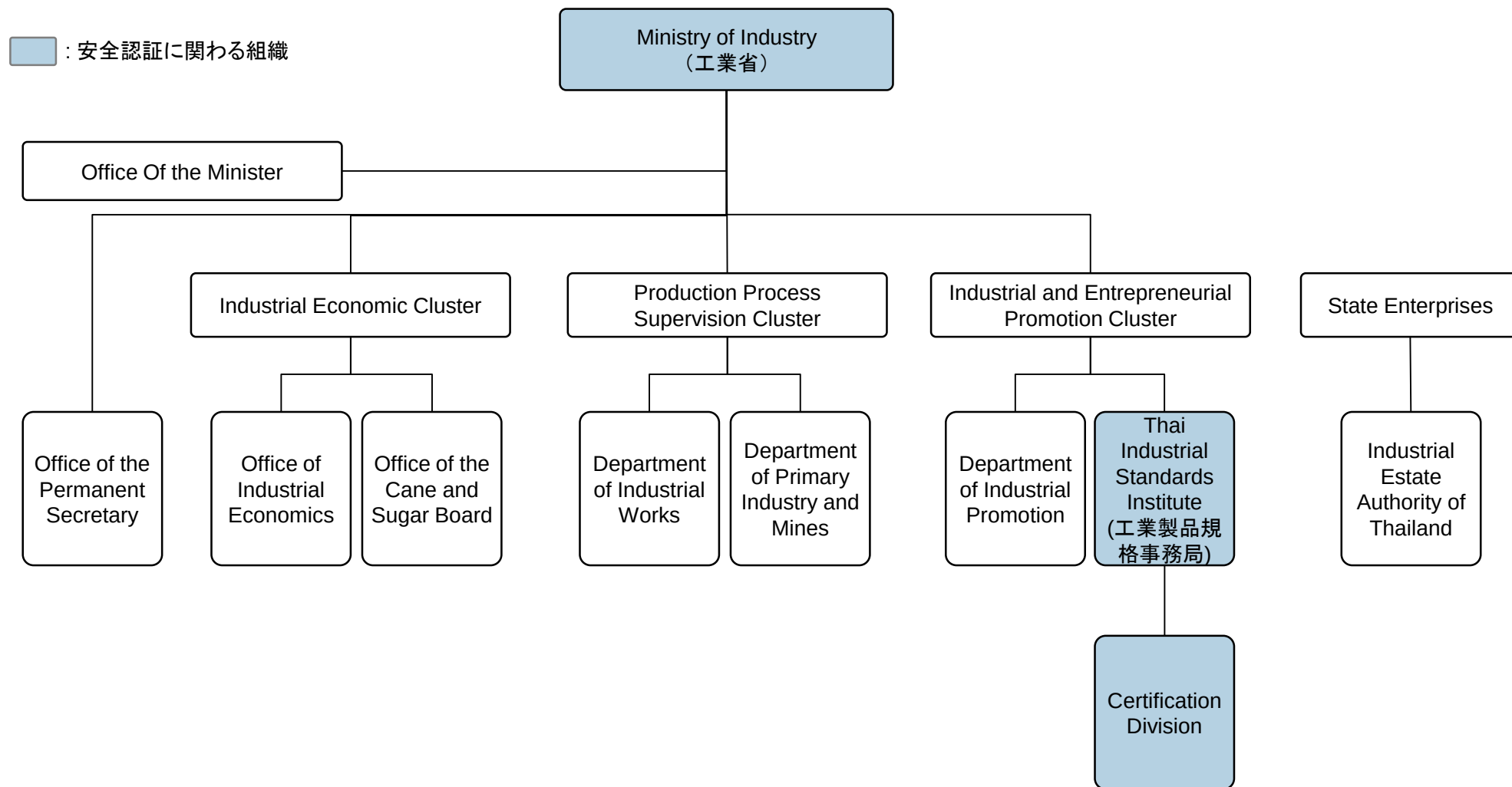
1. 保健省および関連機関の概要-医療機器登録関連部局

食品医薬品管理局 (FDA) 傘下の医療機器監督庁 (Medical Device Control Division) が医療機器の登録・販売承認を統括。



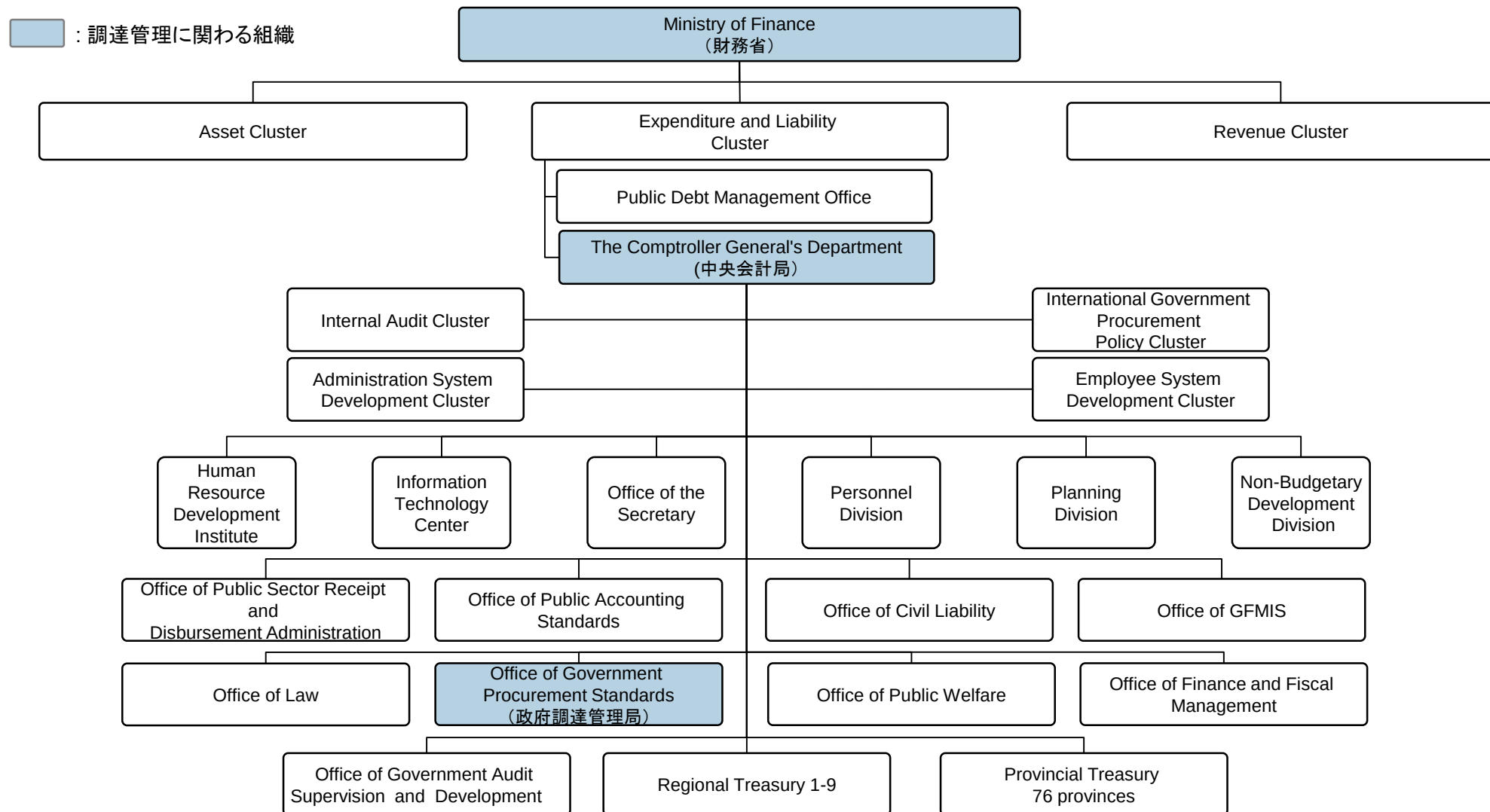
1. 保健省および関連機関の概要-安全基準認定関連部局

一部特殊な医療機器は、工業製品規格事務局 (TISI) が安全認証を担当(後述: P.83)。



1. 保健省および関連機関の概要-医療機器調達関連部局

財務省傘下の中央会計局は、公的支出の管理、公的財政に関する規制遵守状況の監督と政府調達の入札に参加するための入札者登録管理を行う。



1. 保健省および関連機関の概要-タイ国内医療機器販売関連部局

医療機器輸入・販売に関わるのは、 食品医薬品管理局、工業製品規格事務局、関税局、中央会計局の4局。

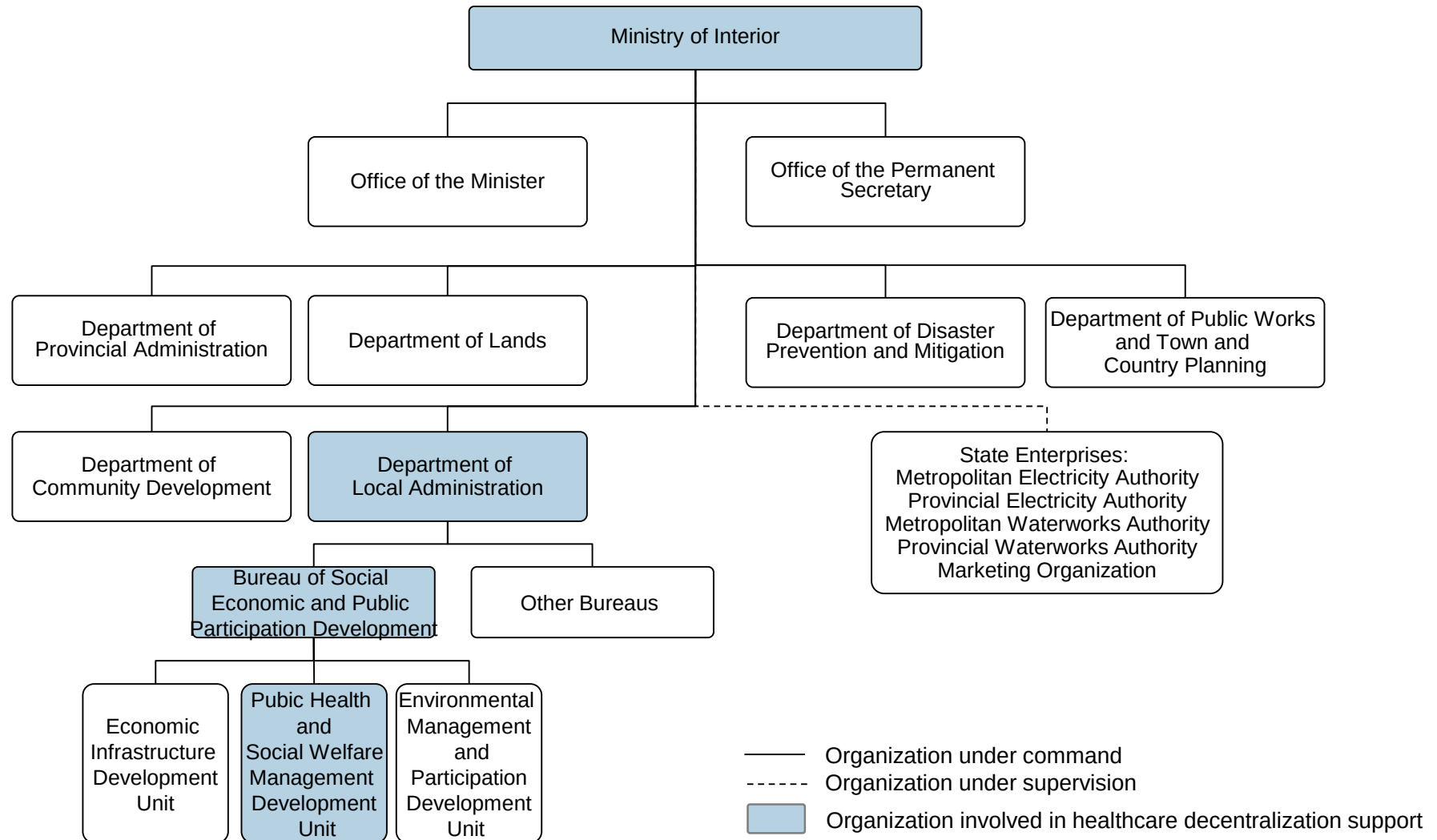
- 製品登録は主に食品医薬品管理局(FDA)が管轄するが、工業省が規定した4種の医療機器(後述: P.83)については、FDAでの登録に加え、工業製品規格事務局の安全認定を取得する必要がある。
- 公立医療機関の医療機器調達、中央会計局傘下の政府調達庁が規定した調達プロセスのもと、各医療機関の調達部が実施する。
- 公立医療機関の入札への参加希望業者は、中央会計局に入札業者登録が必要。

医療機器輸入に関する担当当局

段階	担当省	担当局	担当内容
① 業者登録	保健省	食品医薬品管理局(FDA)	医療機器輸入者登録
② タイ国内販売向け製品登録・認定	保健省	食品医薬品管理局 (FDA)	医療機器許可・登録
	工業省	工業製品規格事務局 (TISI)	製品安全基準認定
③ 輸入関税支払	財務省	関税局	関税算定
④ 販売(公立医療機関向け)	財務省	中央会計局	調達プロセス規定・ 入札業者登録管理

1. 保健省および関連機関の概要-内務省

内務省下のPublic Health and Social Welfare Management Development Unitは、地方自治振興局の公衆衛生関連活動のアドバイス・促進・支援・コーディネートを担当。

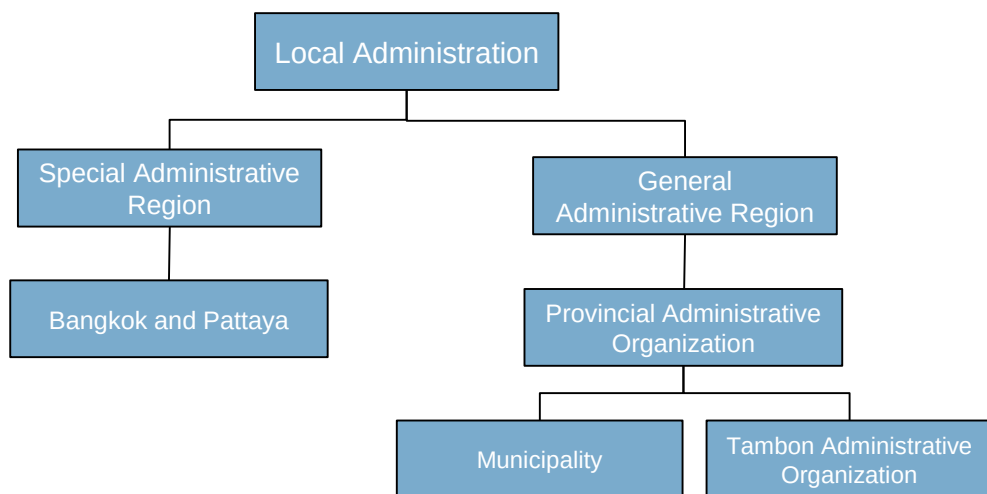


1. 保健省および関連機関の概要-Local Administrative Organization (LAO)

保健省から地方自治振興局へ移管されたヘルスセンターは全国で僅か0.5%。地方自治振興局が現在行っているヘルスケア関連活動は健康促進が中心。

- タイの地方自治は特別地方自治体と一般地方自治体の2つに区分される。バンコク都とパタヤ市のみ特別地方自治体であり、その他自治体は一般地方自治体である。
- Plans and Process for Decentralization to Local Administrative Organizations Act of 1999 により、保健省を含め各省庁に対し、機能及びリソースの地方分権計画を立てる事が求められた。
- アクションプランによると、保健省の下にあるヘルスセンターが地方自治体へ移管される予定であるものの、2012年の時点で全国9,762軒のヘルスセンターの中、39軒が地方自治体へ移管されたのみである。
- なお、内務省傘下の自治体が運営している医療機関数がわずかに存在するが、医療機器調達予算は内務省から配分される。

Type of LAOs



Healthcare tasks already transferred from 保健省 to LAOs

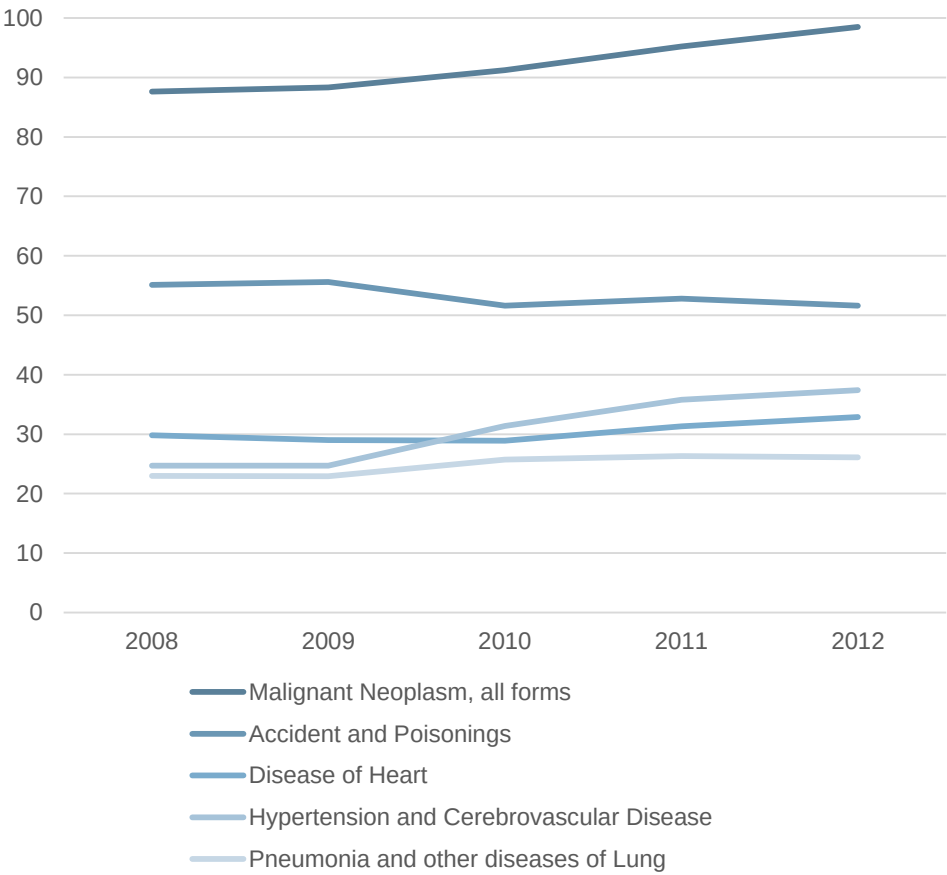
No.	Task transferred
1	Provision of subsidies for health behavior development
2	Resolution of underweight problem among children
3	Prevision and development of water supply
4	Promotion of maternal and child health
5	Promotion of school-age and adolescent health
6	Promotion of health for the working-age group
7	Promotion of health for children and the elderly

2. 保健医療政策・施策・予算

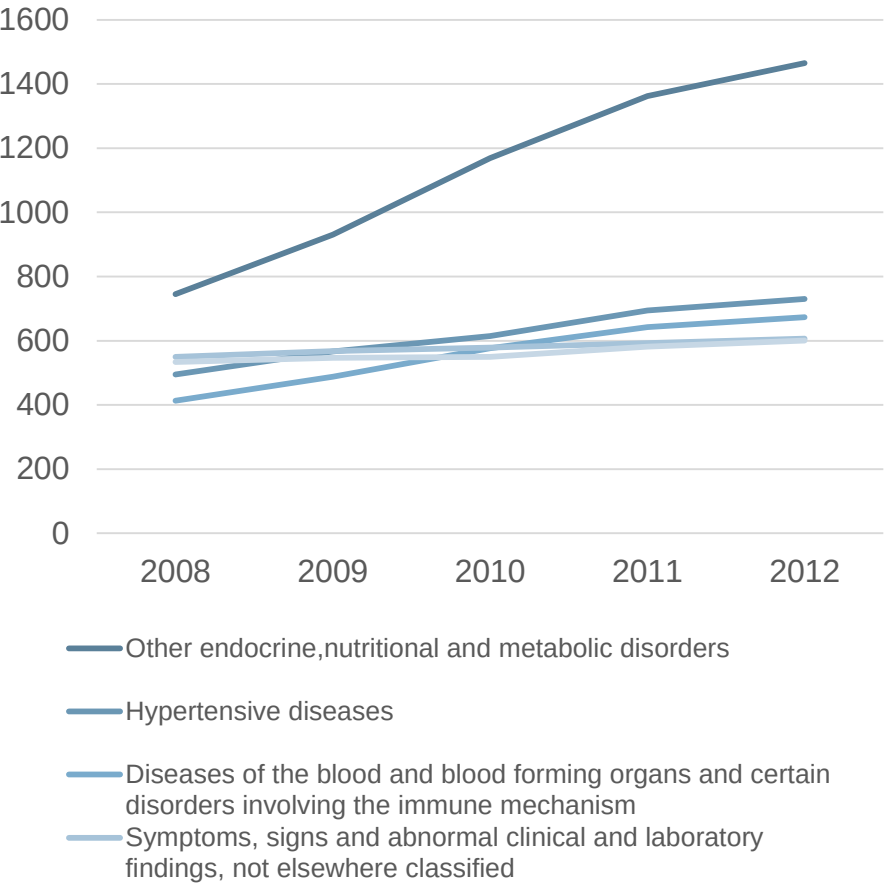
2. 保健医療政策・施策・予算-死亡要因別人数・構成比

癌、心臓病、高血圧、代謝障害などの生活習慣病患者が増加し続けている。

死亡率(10万人当たり死亡者数)



疾患別患者数(千人)



2. 保健医療政策・施策・予算－保健省が注目している健康医療上の課題

現在保健省が最も注目している疾患は、生活習慣病とHIV・エイズである。

- 保健省非伝染性疾患局は、糖尿病、高血圧、虚血性疾患、脳卒中、下気道疾患、癌を優先課題としている。非伝染性疾患の他には、HIV・エイズも優先課題として取り上げている。
- 特に高血圧、糖尿病、HIV・エイズは治療費が高いため、特別に政府予算が配賦されている。

保健省の優先課題

疾患	新発見患者数(人) (2012)	有病率:人口10万人 (2008-2012)	2016年予防策・治療における政府予算 (百万バーツ)
高血圧	602,548	5,288	959
糖尿病	336,265	2,801	
癌	123,800	情報無し	No Policy
下気道疾患	24,927	177	No Policy
虚血性疾患	24,587	144	No Policy
脳卒中	20,675	105	No Policy
HIV・エイズ	9,700	情報無し	3,012

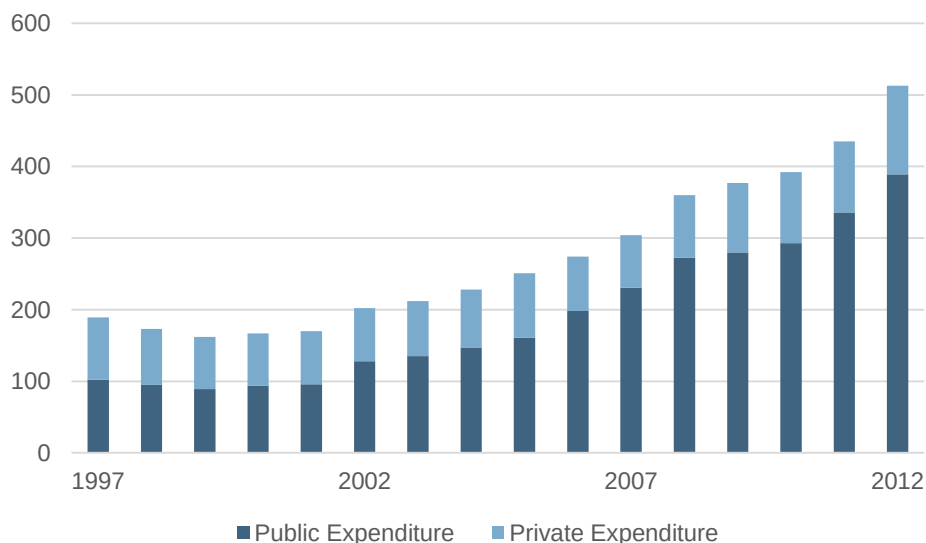
2. 保健医療政策・施策・予算-医療費支出

1997年から2012年で医療費総額が約2.5倍に増大。公的医療支出が全医療支出の8割弱を占めている。

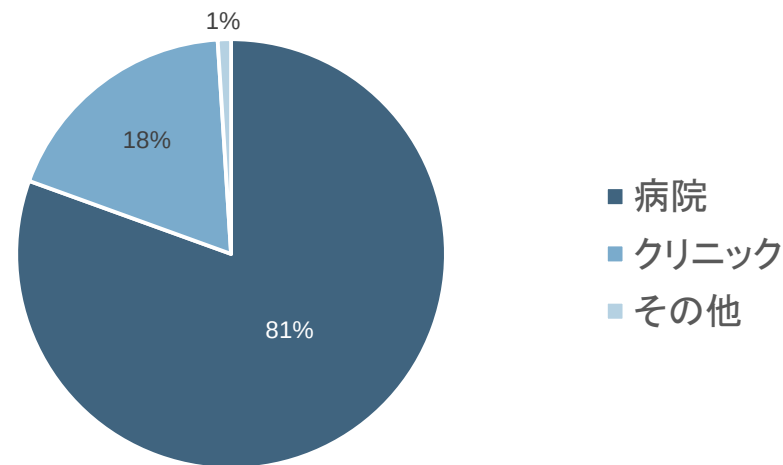
- 1997年から2001年にかけて、公的医療支出は全医療支出の5割強を占めていた。2002年のUniversal Coverage Scheme (国民医療保障制度) 開始以来、公的医療支出の総額および割合は上昇し続けている。
 - UCSは全国民に公平な医療アクセスを提供する保険制度で、予防・治療の両方を包含している。患者は1度の通院当たり30バーツを払うだけで、医療サービスを受けることができる。
- 医療機器の購入に関しては、病院が医療機関全体の80%を占めている。

公的・民間医療支出推移

(十億バーツ)



医療機関別 医療機器購入費割合 (2012年)



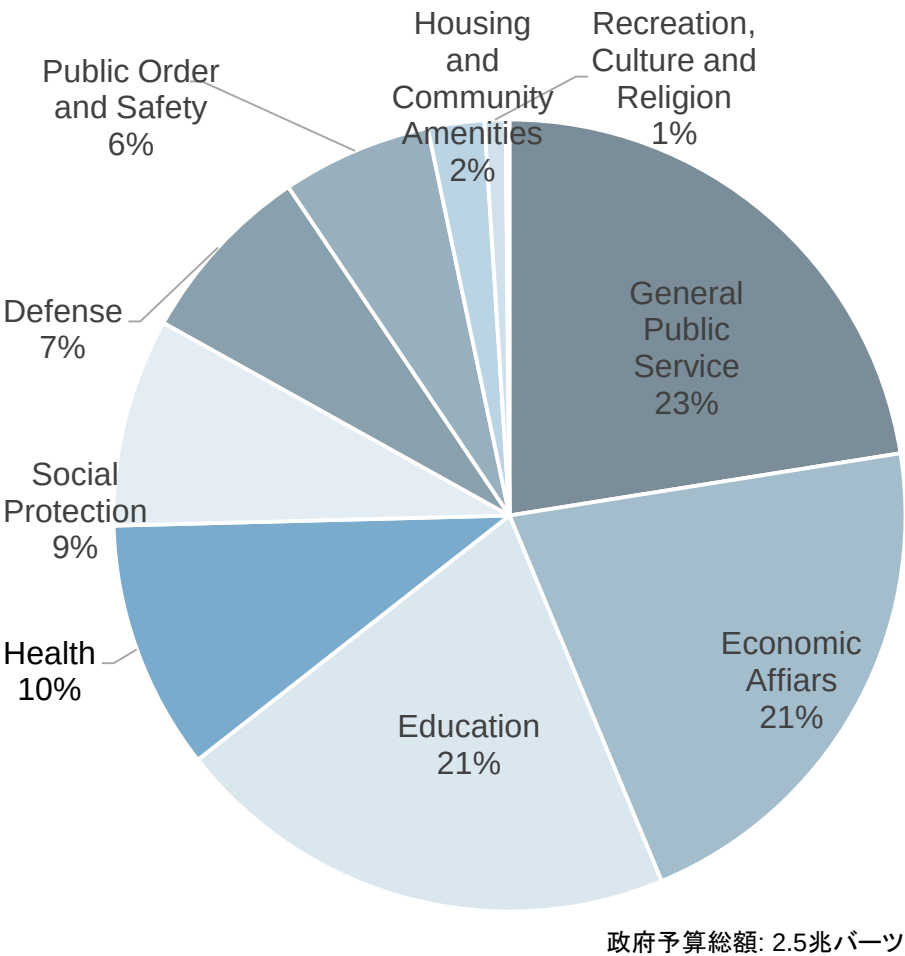
医療機器購入費総合計: 180 億バーツ

※市場規模は360億バーツ程度と想定されるが、保健省が集計できている範囲は180億バーツにとどまる。

2. 保健医療政策・施策・予算-保健・医療に関する主な施策-予算配分

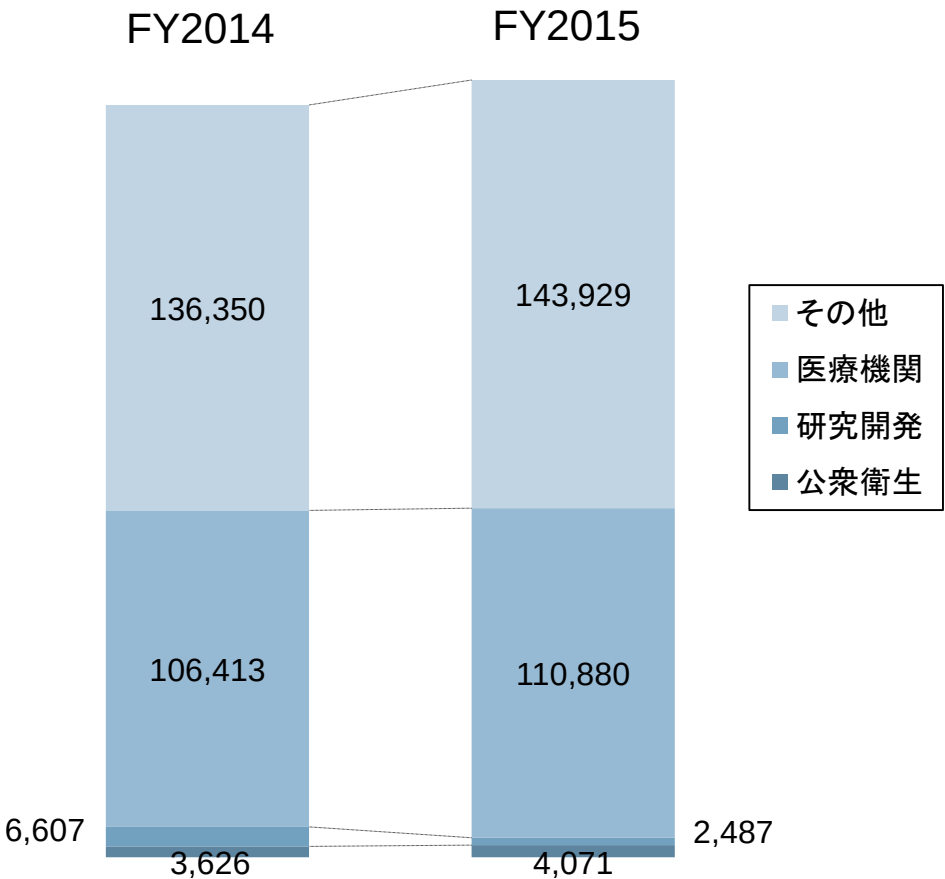
保健医療に対する政府支出は全体の1割を占める。保健医療の中で病院や公衆衛生向け投資が継続的に行われる一方、研究開発投資は減少傾向。

政府支出割合 (2014年)



保健医療支出割合 (左記Healthへの10%支出の内訳)

単位: 百万バーツ



2. 保健医療政策・施策・予算-保健・医療に関する主な施策-保健省の予算配分

保健省単独の予算では、病院運営に関わる次官事務局と医療局の割合が高い。

保健省内の局・関連機関毎の予算状況 (百万バーツ)

		FY2014		FY2015	
		金額	割合	金額	割合
事務	次官事務局	87,728	82.7	90,224	82.3
内部局	医療局	5,151	4.9	5,923	5.4
	疾病予防局	3,464	3.3	3,750	3.4
	タイ式医療・代替医療開発局	260	0.3	301	0.3
	医療科学局	1,069	1.0	1,192	1.1
	健康関連サービス推進局	1,112	1.1	1,040	1.0
	精神衛生局	2,788	2.6	2,651	2.4
	保健局	1,832	1.7	1,876	1.7
	食品・薬品委員会事務局	803	0.8	798	0.7
省関連の公共機関	公衆衛生システム研究所	94	0.1	85	0.1
	国家健康保険事務所	1,442	1.4	1,427	1.3
	タイ国立救急医療センター	178	0.2	186	0.2
Public Organization	Banphaeo Hospital	40	0.0	38	0.0
	Healthcare Accreditation Institute	78	0.1	98	0.1
	National Vaccine Institute	63	0.1	69	0.1
合計		106,102	100.0	109,658	100.0

2. 保健医療政策・施策・予算-保健・医療に関する主な施策-保健省の予算配分

政府予算は毎年10月に配布されるため、医療機器メーカーは前年の11月頃から病院にアプローチを始める。

■ タイ政府の会計年度は毎年10月に初め翌年9月に終わる。予算編成には5つのステップが含まれている。

Budget formulation process schedule

Budget Process	Procedure detail		Timing
	Responsible Unit	Procedure	
Budget Planning	The Ministry of Finance, the Bureau of the Budget, the Office of the National Economic and Social Development Board, and the Bank of Thailand	Hold a joint meeting for budget planning.	October to January following year
	The Bureau of the Budget (BB)	Compiles the proceedings of the meeting into the Guidelines on Annual Budget Allocation, and submits for cabinet approval.	
Budget Preparation	All government agencies and budget-dependent state enterprises	Submits budget requests to the Bureau of the Budget through the Office of the Permanent Secretary of the ministries according to the approved Guidelines on Annual Budget Allocation	February to April
	The Bureau of the Budget (BB)	Considers the budget requested and combines the allocation in the Annual Budget Proposal	
	The Cabinet of Thailand	Approves the Annual Budget Proposal which becomes the Annual Budget Bill after approval	
Budget Adoption	The House of Representatives.	Considers and approves the Annual Budget Bill in three stages: the first is consideration of the bill in principle; the second is consideration of the amendments; and the third is the final consideration	June to September
	Senate.	Approves the bill, which will be pronounced the Annual Budget Act by October 1.	
	Secretariat of the Prime Minister	Presents Act to the King for signing the Act into law	
Budget Execution	All government agencies	Submit operational plan and spending plan to BB for approval no less than 15 days before new fiscal year.	October
	The Bureau of the Budget (BB)	Approves the plans and allocates budget according to the plans	
	The Comptroller General's Department / Provincial Office of the Comptroller General	Transfers funds to government agencies periodically	
Budget Evaluation	All government agencies	Report their progress in spending their budgets every three months.	Every 3 months of fiscal year

2. 保健医療政策・施策・予算-保健・医療に関する主な施策-保健省の予算配分(予算執行率)

Siriraj病院では政府予算のほぼ100%が執行されるが、非政府予算の執行はその年の運営状況によって異なる。政府予算を優先して執行されると思われる。

■ 2011年-2013年Siriraj病院の医学部は配分された予算をほぼ100%執行している。

Faculty of Medicine Siriraj Hospital Budget and utilization rate

Budget Type	2011		2012		2013	
	Budget (million Baht)	Utilization Rate (%)	Budget (million Baht)	Utilization Rate (%)	Budget (million Baht)	Utilization Rate (%)
Government Budget	4,419	99	5,805	100	3,716	99
Non-Government Budget (faculty revenues including medical fee, tuition fee and donation)	12,090	94	9,994	84	9,405	87
Overall budget utilization rate	16,509	95	15,800	89	13,121	90

出所: Siriraj Annual Repot (2013)

2. 保健医療政策・施策・予算－保健・医療に関する主な施策－内務省の予算配分

パタヤ市の2014年度ヘルスケア関連予算には医療機器調達予算が総予算の9割程を占める一方、バンコク都ヘルスケア予算には医療機器調達が含まれていない。

- 内務省からの特別地方自治体に配分されるヘルスケア関連予算は、地方自治振興局を通らずに直接バンコク都とパタヤ市へ配分される。
- バンコク都の2014年ヘルスケア関連の総予算は、306.01Millionバーツであり、内医療機器調達関連予算は配分されていない。
- パタヤ市の2014年のヘルスケア関連総予算は、104.6Millionバーツであり、内94.6Millionが医療機器調達に配分されている。
- なお、各地域の病院における医療機器調達に関しては、各地の委員会が判断した上で、保健省に調達予算の申請をかける形になる。(後述:P64)

Healthcare-related budget allocated to Special Administrative Areas (Bangkok and Pattaya) for fiscal year 2014

Budget Type by Program	Program Detail	Budget Amount (million Baht)	
		Bangkok	Pattaya
Healthcare Development	• To support remuneration for the village health volunteers (VHV) to practice proactive health promotion, prevention, problem solution, and infrastructure development	108.00	-
Narcotics Control	• To prevent recurrence by helping restore and develop drug addict and drug dealer	10	10
LAO Decentralization Support	• To support Navmindrahiraj University, under supervision of Bangkok, in producing medical practitioners and public health staff	188.01	-
	• Renovation and decoration of international health check-up center and medical device procurement for the fully opening and operation of Pattaya City Hospital	-	94.60
Total Healthcare Budget (3 plans)		306.01	104.60
Total Bangkok / Pattaya Budget		15,068.00	1,499.00
Percentage of total healthcare-related budget to total of Bangkok/Pattaya budget (%)		2.03%	6.98%

2. 保健医療政策・施策・予算－保健・医療に関する主な施策－内務省の予算配分

バンコク都とパタヤ市と同様に、他地方のヘルスセンター建設及び医療機器調達予算はヘルスケア関連予算の1%未満。保健省と比べると影響力は高くないと考えられる。

- ヘルスケア関連予算はヘルスケア改良プログラム、麻薬取締プログラムそして地方自治体分権支援プログラムの3つの活動を対象に大きく分けられる。
 - ・ 地方自治体分権支援プログラムにはヘルス関連活動の他にも、様々な活動が含まれている。
- 内務省のヘルスケア関連予算の大半は地方自治振興局へ配分され、残りは内務省傘下他の部局が実行している麻薬取締り活動に配分される。
- 2014年にDepartment of Local Administration(DLA)に配分されたヘルスケア関連予算の総額は14.18Millionバーツ。その大半は市町村ヘルス支援のボランティア活動とDLA公務員の医療費で使用。

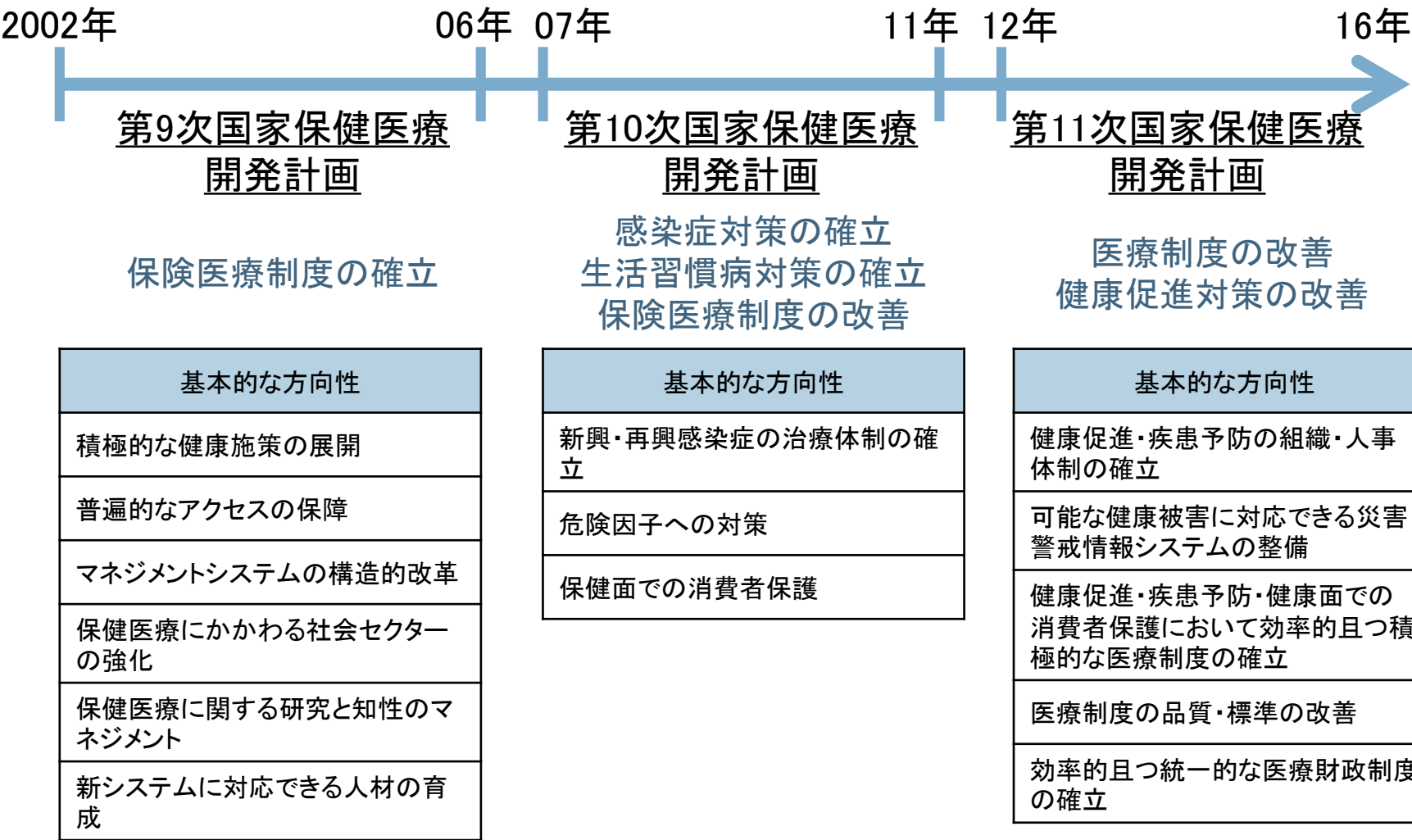
MOI's Healthcare-related budget allocation to general administrative region for fiscal year 2014

Budget Program	Program Detail	Budget (million Baht)
DLA's Healthcare Development	• To increase potential of LAOS in supporting proactive operation of the village health volunteers for the whole country, except Bangkok.	7,544.16
DLA's Narcotics Control	• Supporting budget for drug addict's therapy as well as vocational training for cured patients	1,752.50
DLA's LAO Decentralization Support	• General Support Budget for health service support (15,000 Baht/ sub-district)	700.88
	• General Support Budget for medical expense of officers under LGOs	4,061.95
	• Special Supporting Budget for durable article procurement of health stations under LGOs	40.22
	• Health station construction and renovation	84.84
Total DLA's healthcare-related budget (3 programs)		14,184.55
Narcotics Control Program of other departments		250.43
Total healthcare-related budget of MOI		14,434.98
Total MOI budget		323,604.63
Percentage of total healthcare-related budget to total MOI budget (%)		4.46%

2. 保健医療政策・施策・予算－保健・医療に関する主な施策：現状と今後について

生活習慣病予防のキャンペーンのように先進国と同様の施策も掲げられている。

医療従事者の質・量両面での増強も喫緊の課題となっている。



2. 保健医療政策・施策・予算-優先課題に対する保健省の政策と予算配分

**がんや心臓病患者の増加に伴い、
政府は地方のがん・心臓病治療センター拡大・改良投資に着手している。**

がん治療センター: Buddhachinaraj Hospital

タイプ: 公立医療機関

病床数: 1,032

医療カテゴリー: 三次医療 (Regional HP)

機能改良における予算額: 120 百万バーツ

プロジェクト発表年: 2015

カバー地域: 北部

設置されているがん治療医療機器:

- 遠隔療法、外部放射線治療機器
- CTシミュレータ
- 小線源治療機器



がん・心臓病治療センター: Sawanpracharak Hospital2

タイプ: 公立医療機関

病床数: 653

医療カテゴリー: 三次医療 (Regional HP)

機能改良における予算額: 1,500 百万バーツ

プロジェクトタイムライン: 2014-2017

カバー地域: 中部

主な疾患領域:

- 心臓病・冠状疾患
- がん(放射線治療のみ)
- 小児科
- 救急治療



2. 保健医療政策・施策・予算－民間医療保険方向性

診療費高騰および少子高齢化に伴う健康不安に伴い、 民間医療保険加入者、そして保険料は増加を続けている。

- Thai Life Insurance Vice President、Dr. Apirak Thaipatanakul氏によれば、診療費が年平均10%のペースで増加していおり、それが原因でタイ国民も健康保険の重要性を認識し始めている。
 - 社会保険(UC、SS等)加入者は無償で医療が受けられるが、特別な治療や個室などを希望した場合は個人負担となる。民間医療保険に加入することで、これら個人負担を軽減できる。
 - 進む少子高齢化の影響で、将来の健康問題に不安を抱えるタイ人も多い。
- 上記要因により、健康保険加入件数が著しく増加した他、民間健康保険の保険料は2010年の329億バーツから2014年には538億バーツまで増加した。
 - 民間健康保険の保険料の多くは生命保険付帯のタイプ。

医療保険加入件数の推移 2009-2014

(件)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014
医療保険加入件数	286,642	485,060	795,709	795,737	754,549	776,415
前年比増減(%)	-	69.2	64.0	0.0	-5.2	2.9

民間医療保険料の推移 2010-2014

(百万バーツ)

	2010	2011	2012	2013	2014
生命保険付帯の医療保険	28,693	31,792	36,143	40,927	46,802
医療保険のみ	4,202	5,079	5,796	6,155	7,051
計	32,895	36,871	41,939	47,082	53,853

2. 保健医療政策・施策・予算－民間医療保険

**タイの経過保険料トップ20保険会社には海外からの出資が入っているタイ企業が11社。
20企業の中の2社が外資企業。**

Top 10 life insurance company by earned premium (2014)

#	企業名	経過保険料 (billion THB)	市場 シェア (%)	メジャー 株主	外資	
					企業名	シェア
1	American International Assurance Co., Ltd.	113.06	22.55	No Data	Foreign Juristic Company	
2	Muang Thai Life Assurance PCL	75.23	15.01	Thai	Ageas Insurance International NV (Dutch)	24.99%
3	Thai Life Insurance PCL	63.06	12.58	Thai	Meiji Yatsuda Life Insurance Japan	15.00%
4	Bangkok Life Assurance Co., Ltd.	51.81	10.33	Thai	None	None
5	Krungthai Axia Life Insurance PCL	48.82	9.74	Thai	National Mutual International PTY Limited (AXA Group)	45.00%
6	SCB Life Assurance PCL	48.61	9.70	Thai	None	None
7	Allianz Ayudhya Assurance PCL	26.72	5.33	Thai	Allianz Se (German)	24.99%
8	Prudential Life Assurance Public (Thailand) Co., Ltd.	15.66	3.12	Thai	Prudential Corporation Holdings Limited (English)	48.72%
9	Ocean Life Insurance PCL	14.39	2.87	Thai	The Daiichi Life Insurance Co., Ltd. (Japan)	24.00%
10	FWD Life Insurance PCL	14.11	2.81	Thai	FWD Group Financial Services Pte. Ltd. (Singapore)	24.99%

Top 10 non-life insurance company by health insurance earned premium (2014)

#	企業名	経過保険料 (billion THB)	市場 シェア (%)	メジャー 株主	外資	
					企業名	シェア
1	Bupa Health Insurance (Thailand) PCL	2.52	35.79	Thai	Bupa Holdings (Guernsey) Limited (Channel Islander)	24.99%
2	Cigna Insurance PLC	0.75	10.64	No Data	Cigna Walnuts Holdings, Ltd	24.99%
3	Bangkok Insurance PCL	0.54	7.73	Thai	Aioi Insurance Co., Ltd (Japan)	2.81%
4	Dhipaya Insurance PCL	0.41	5.75	Thai	None	None
5	The Siam Commercial Samaggi Insurance PCL	0.35	5.00	Thai	None	None
6	Viriyah Insurance PCL	0.30	4.29	Thai	None	None
7	AXA Insurance PCL	0.29	4.20	France	AXA Asia SAS (France)	99.32%
8	Safety Insurance Public Co., Ltd.	0.27	3.88	Thai	IAG International Pty Limited (Australian)	48.96%
9	Mitsui Sumitomo Insurance Co., Ltd. (Thailand)	0.24	3.38	Japan	Foreign Juristic Company	
10	Thai Health Insurance PCL	0.22	3.16	Thai	None	None

2. 保健医療政策・施策・予算－保健・医療に関する主な施策：現状と今後について

タイで診療を行うに当たって国家試験に合格する事が義務付けられている。国家試験最終試験はタイ語で行われるため、合格するにはタイ語の能力が必要となる。

■ 外国人医師がタイで診療を行う際には、4つの条件を満たす必要がある。

- ① 医療評議会が認める医大で学位を取得すること
 - ② 医療評議会が認める国での臨床資格を持っていること
 - ③ 医師会のメンバーとして登録すること
 - ④ 国家試験に合格すること※1
- ※1 なお、④の国家試験を受けるには、①、②の条件が必要となる。

■ 日本では、3人の医師がタイでの診療を認められている。

- 日本では、鹿児島大学にタイでの診療が認められている外国人医師がいる。

■ 国家試験は3段階に分けられ、最終段階の客観的臨床能力試験はタイ語で実施され、タイ語のコミュニケーション及び読み書き能力が求められる。

国家試験各段階の内容と言語

段階	内容	試験の形式	言語
1	Basic Medical Science (Pre-Clinic): 基礎医学	筆記試験	英語
2	Clinical Science: 臨床医学	筆記試験	
3	Objective Structured Clinical Examination : (OSCE) : 客観的臨床能力試験	実技試験	タイ語

タイでの診療が認められている外国人医師の出身地

出身	人数
アメリカ	90
イギリス	37
フィリピン	24
インド	13
オーストラリア	10
日本	3

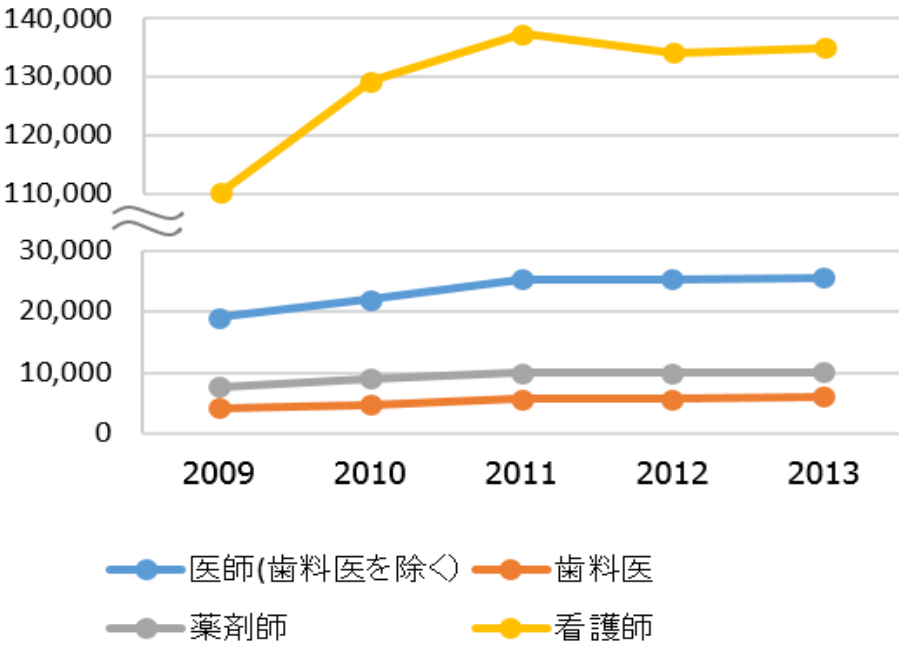
出所：日本型透析医療海外展開コンソーシアム「KITASAITOパッケージ透析海外展開事業プロジェクト報告書」(2014)、タイ医療評議会HP

2. 保健医療政策・施策・予算-保健・医療に関する主な施策：現状と今後について

医療従事者の数は近年横ばいであり、約20%の医師がバンコクに集中しているため医療人材不足と人材の偏在が医療問題になっている。

- 民間医療機関に勤めている医療従事者は全体の14%。
- 医師免許取得者の数は2009年：1,377人、2010年：1,814、2011年：1,888、2012年：2,228人、2013年：2,298人。2011年に医師免許取得者が前年と比べ高い原因は医大が3大学増えたためである。

公立医療機関医療従事者数（2009-2013年）



医療機関区分別医療従事者数(2010年)※1

	公的医療機関	民間医療機関	合計	人口1,000人当たり		
				タイ	ナムト	日本
医師 (歯科医を除く)	21,550 (82.1%)	4,694 (17.9%)	26,244	0.41	0.71	2.4
歯科医	4,725 (47.4%)	5,221 (52.6%)	11,847	0.19	情報なし	0.8
薬剤師	7,173 (82.4%)	1,527 (17.6%)	8,700	0.13	0.46	2.2
看護師	122,460 (89.7%)	13,987 (10.3%)	138,710	2.15	1.04	8.0

※1 ()内は、構成比を示す。

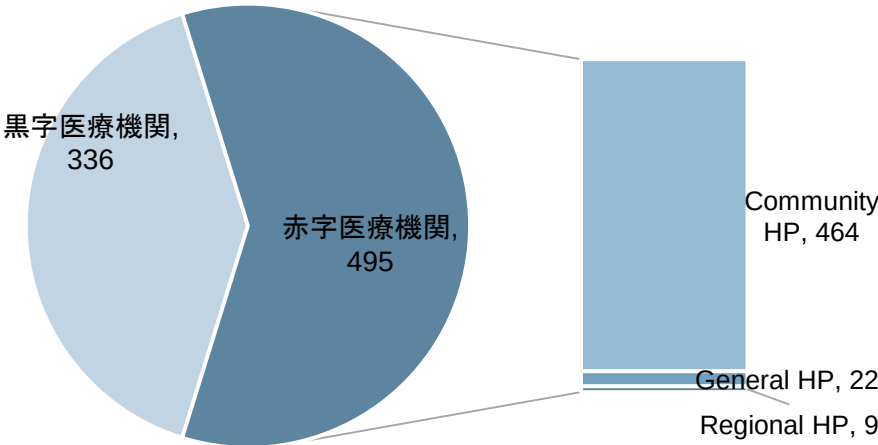
出所：Office of the National Economic and Social Development Board “Public Health Resources”, 明治大学国際総合研究所「新興国マクロヘルスデータ、規制・制度に関する調査」(2014)、Medical Association of Thailand、General Statistic Office of Vietnam、平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査の概況 - 厚生労働省、平成 24 年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況

2. 保健医療政策・施策・予算－政策動向・公立病院の採算性

半数以上の公立医療機関は赤字。コスト削減のために、医療機関の合併や地域内リファラルシステムの構築などの対策が挙げられたが、結論・実行には至っていない。

- 2012年時点で、次官事務局所属地方医療機関832軒のうち、496軒が赤字（59.6%）。
- 2015年2月にMongkol Na Songkhla氏（元保健省大臣）は公立病院の赤字問題に対し対策案を述べた。
 - 人口が2万人未満の地域にあり、Regional HPからの距離が10km以内にある小規模Community HPを閉鎖する
 - Community HPが地域内にあるより大きな医療機関（General HP、Regional HP）と合併し、その医療機関の外来センターとしての役割を果たす
- 保健省大臣の意見に対しNarong Sahamethapat氏（保健省事務次官）やIttaporn Kanacharoen氏（Medical Council 副長官）など多くの医療関係者が反対した。

公立医療機関数(2012年 ※2015年時点で最新)



医療機関種類別業績(2012年 ※2015年時点で最新)

医療機関タイプ	病院数 *2015年	赤字 病院数	赤字額 (mil baht)	一軒当たり 赤字額 (mil baht)
Regional HP	28	9	-696	-77
General HP	88	22	-672	-31
Community HP	775	464	-3,135	-7

2. 保健医療政策・施策・予算－政策動向・患者保護（1）

私立医療機関は自由に医療費の設定が可能。しかし、私立医療機関の高額な治療費に対する患者からの苦情が報道で取り上げられ、政府も対策を検討。

高額治療費に関する報道記事

- The Thai Medical Error Networkによると、2013から2014年に患者から私立医療機関の高額医療費に対する苦情が10件ほど挙がった。
- The Thai Medical Error Networkは患者保護を目的に、私立医療機関の治療費抑制の署名活動を実施、2015年4月28日時点で16,000人からの署名が集まった。

A surgery like a percutaneous coronary intervention can cost nearly Bt500,000 at a privately-run medical facility, many patients have warned.

Others have complained that medicine prices at private hospitals are much higher than the Public Health Ministry's standard prices.

A private hospital, for example, charges Bt117 per Ezetrol tablet, which helps to lower cholesterol levels, but patients can get the tablets for just Bt50 apiece at pharmacies.

The Thai Medical Error Network believes the pricing issue has now got to a point that Thailand needs to introduce the Price Control Committee for Private Hospitals.

"Her network has conducted an online signature campaign, via www.change.org, to garner support for its call for the establishment of the Price Control Committee for Private Hospitals. Launched on April 19, the campaign aims to gather 15,000 signatures. As of yesterday, more than 16,000 people had already signed their names in support of the campaign.

出所: National Multimedia (2015年4月28日)

- National Legislative Assembly主催の調査によると、私立医療機関の医療費は公立医療機関より5倍高い事が明らかになった。

The cost for treating five illnesses is about three times higher in private hospitals compared to prices charged by public hospitals, a study by a National Legislative Assembly (NLA) panel tasked with scrutinizing hospital pricing has found. Results of the study were due to be submitted to the NLA yesterday. As part of the study, 50 patients at each hospital were also interviewed to obtain an insight into how much people have to pay for treatment, and learned that:

- Treatment for a heart attack costs between Bt89,376 and Bt158,680 at state hospitals, while prices for the same treatment at general private hospitals are between Bt164,870 and Bt422,058. "Five-star" facilities, though, could charge up to Bt1.15 million for treatment, which may possibly include balloon heart valve surgery or emergency operations;

- An appendectomy can cost between Bt16,841 and Bt42,631 at state hospitals, while at general private hospitals prices could run from Bt57,683 to Bt102,150. Five-star facilities, meanwhile, can charge up to Bt211,765, with treatment possibly including additional CT scan and treatments for complications;

- Cataract surgery goes for between Bt19,468 and Bt44,740 at state hospitals, while general private hospitals charge between Bt59,263 and Bt113,238, though some five-star places charge up to Bt656,030;

- Knee surgery at state hospitals costs between Bt115,990 and Bt170,244, while at general private hospitals it costs from Bt182,542 to Bt295,727, though some five-star places charge up to Bt536,416.

- Treatment for flu costs between Bt490 to Bt1,252 at state hospitals, from Bt1,712 to Bt3,050 at general private hospitals and up to Bt3,940 at five-star facilities.

出所: National Multimedia (2015年5月24日)

2. 保健医療政策・施策・予算－政策動向・患者保護（2）

患者からの苦情に対応し、私立医療機関に対する患者保護に関する保健省省令が2015年5月に発表された。

2015年5月保健省省令による患者保護内容

	政策内容	実行期限
医薬品関連請求	1. 医薬品の請求額は「医薬品価格」と「医薬品準備に関するサービス料」の2項目の内訳で表示 1.1 医薬品販売価格: 製薬会社の設定価格を表示 1.2 医薬品準備に関するサービス料: 医薬品準備の各プロセスで生じた間接コストを表示	期限に関する 公開情報なし
	2. 医療機関で医薬品の請求額が高いと患者が考えた場合、病院から医薬品を購入せずに院外薬局で購入することが可能	
救急対応	1. 15分以内に緊急患者に対応するシステムを備える	2ヶ月
	2. 救急医療のクリティカル72時間の医療費支払機能を改善する(補助金の増額、支払プロセスの円滑化)	
	3. 救急医療のクリティカル72時間経過時点で、国家保険制度上で指定されている医療機関への患者転送の促進※1	
	4. 交通事故による救急患者の医療費をThe protection for motor vehicle accident victims Act B.E.2535 (1992)に基づき請求	
	5. 患者が民間保険に加入している場合、加入している民間保険および国立救急医療制度のどちらで医療費を請求するか選択する権利を与える	
治療費の情報公開	医療機関の待機手術77件の価格をまとめたWebサイトを作成する	1ヶ月

※1タイでは公務員医療保障制度以外国家保険制度を利用する場合、指定医療機関以外で治療を受けると、治療費は患者負担となる。

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等－保健省と直轄公立医療機関の構成・位置づけ

医療機関は公立と私立に区別され、公立医療機関は保健省、その他の政府省、公社・NGOそして地方自治体が管轄している。

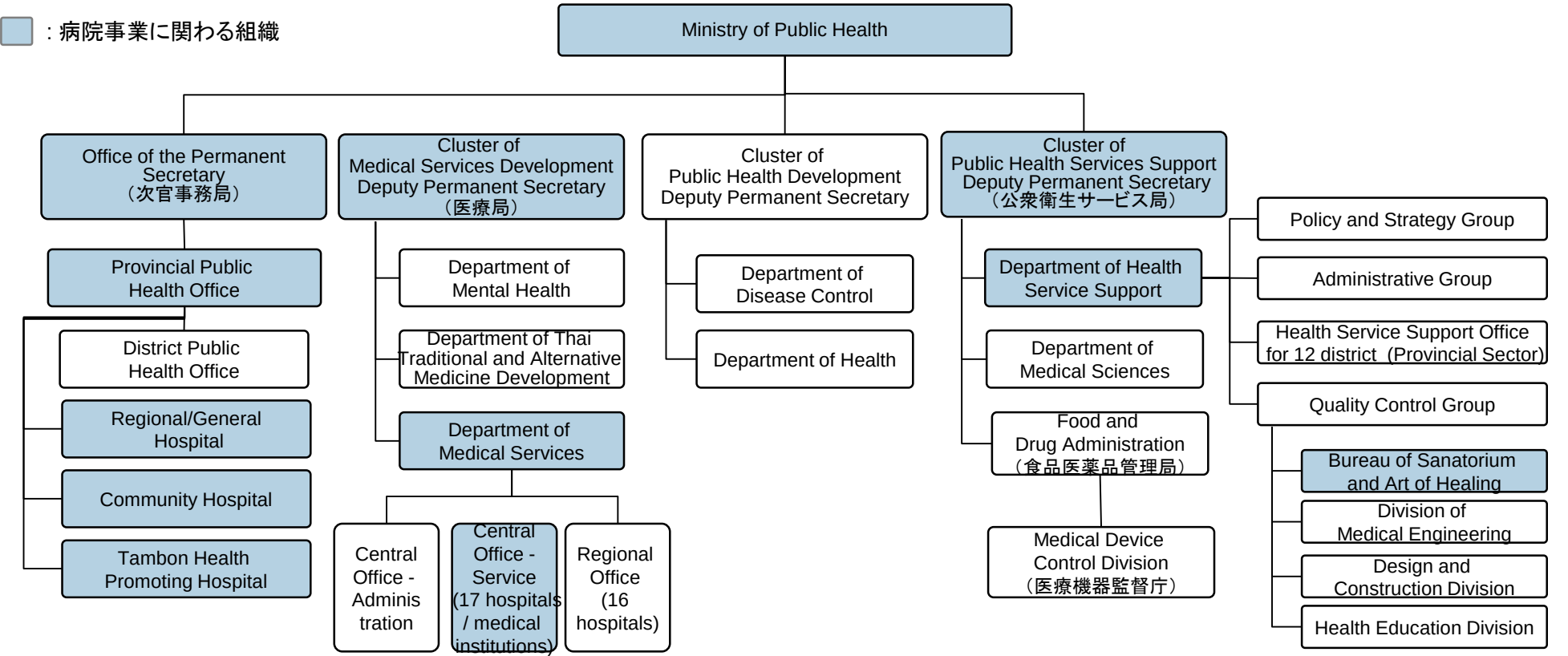
- 88%の公立医療機関は保健省運営であり、その96%が次官事務局運営の地方病院である。
- 保健省の他に国防省、教育省、赤十字社、バンコク都庁などに所属する公立医療機関もあり、どの医療機関も公的保険（国民医療保障、民間企業被用者社会保障、公務員医療保障）制度に対応している。
- 私立医療機関の許可・登録は保健省公衆衛生サービス局が管轄する。私立医療機関は営利団体で有り、上場している医療機関も存在する。経営及び運営は各医療機関が個別に実施する。

運営組織別入院可能医療機関軒数及びベッド数（※2015年時点で最新）

医療機関タイプ・所属		2006		2007		2008		2009		2010	
		軒数	病床数	軒数	病床数	軒数	病床数	軒数	病床数	軒数	病床数
公立		999	108,448	999	106,001	954	98,021	941	94,673	1,009	106,088
	1.保健省 （医療局・次官事務局）	890	88,038	880	88,643	831	84,006	824	82,245	888	91,351
	2.その他政府省 （国防省、法務省、教育省等）	90	15,551	119	17,658	123	14,016	117	12,428	121	14,737
	3.公社・NGO （タイ発電公社、タイたばこ公社、赤十字社等）	9	2,265	7	791	8	871	2	86	6	942
	4.地方自治体 （バンコク都庁、地方自治振興局）	10	2,594	10	2,369	5	991	1	594	10	2,417
私立		291	26,315	317	30,554	272	25,982	235	22,215	261	24,658

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等-保健省と直轄公立医療機関の構成・位置づけ

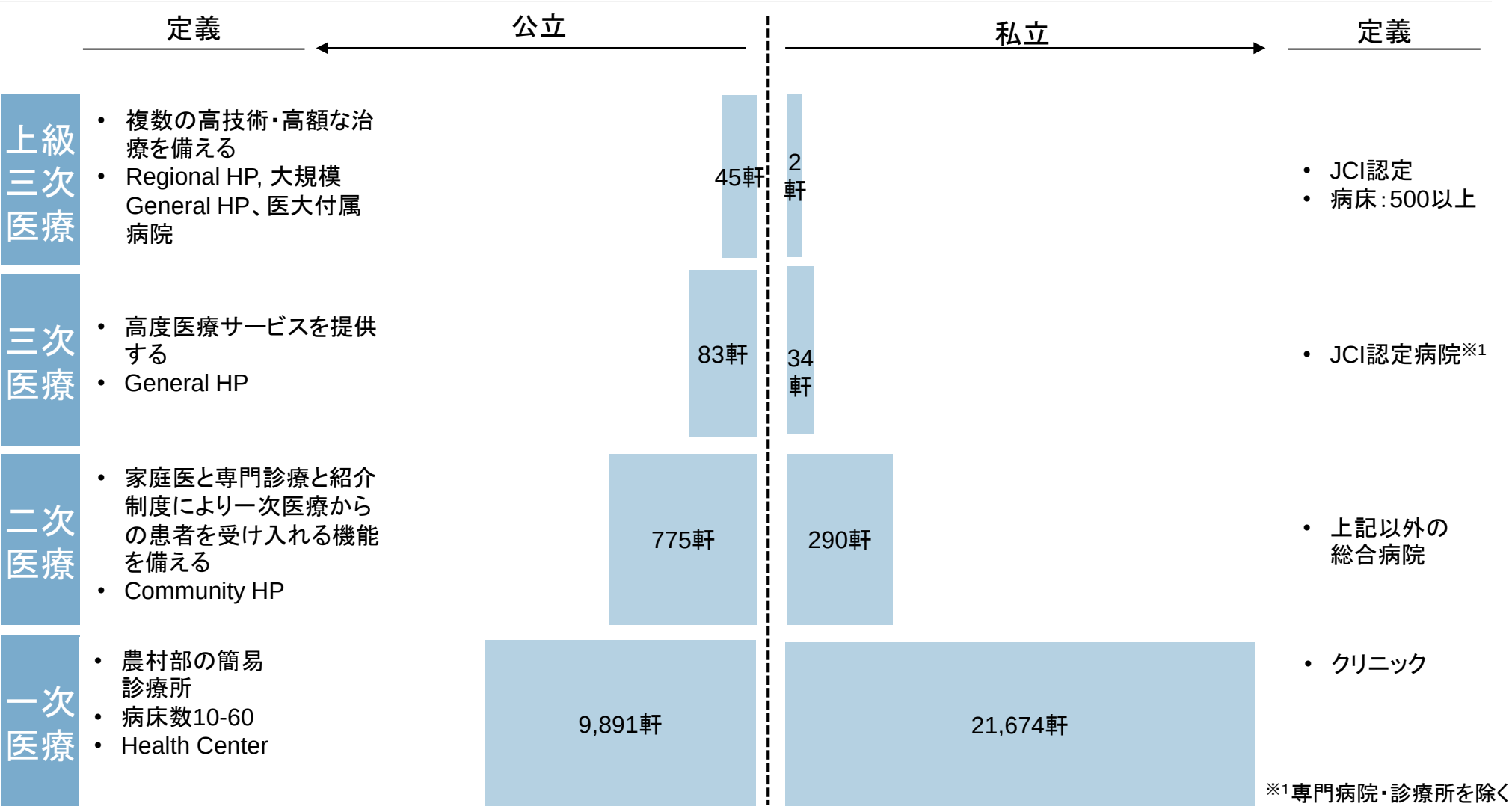
病院事業に関わる保健省の部局は次官事務局・医療局・公衆衛生サービス局である。



保健省部局	担当医療機関	役割
医療局	バンコク都内公立一般と専門医療機関 地方公立専門医療機関	政策設定・運営
次官事務局	地方公立一般医療機関	政策設定・運営
公衆衛生サービス局	私立医療機関	監査・登録・許可

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等－保健省と直轄公立医療機関の構成・位置づけ

9割の医療機関が一次医療機関である。公立の一次医療機関が農村部に多くある一方、私立一次医療機関は都市部に集中している。



出所：保健省 (Bureau of Policy and Strategy、2013国家公衆衛生統計)
,Bureau of Sanatorium and Art of Healing (2013), JCI

※1 専門病院・診療所を除く

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等－保健省と直轄公立医療機関の構成・位置づけ

保健省の次官事務局傘下の地方公立医療機関は、12エリアに区分される。リファラルシステムに基づいて1次から3次医療機関を整備し、エリア内の患者搬送を実行している。

- 各エリアには地方保健事務所が存在する。エリア内では医療機関がA・S・M・F・Pの順にランク付けされており、エリア全体の医療需要と、医療従事者・専門家など医療機器を使用する人材の有無を踏まえて、医療機器の購買計画が策定される。（後述: P.64）

Referral Systemによる医療機関区分

	ランク	医療機関タイプ	病床数	役割	必要な医療人材
3次	A (Advance-Level Referral Hospital)	Regional Hospital General Hospital	規定無し	- エリア内4-8県の患者搬送をカバー - 高技術が必要な高額治療を提供	全領域の専門医師
	S (Standard-Level Referral Hospital)	General Hospital	規定無し	- 最低1県の患者搬送をカバー - 複雑な治療を提供	特定領域の専門医師
2次	M 1 (Mid-Level Referral Hospital)		規定無し	エリア内の2次医療機関からの患者搬送をカバー	- メジャー分野専門医:産科医、外科医、内科医、小児科医、整形外科医、麻酔医 - マイナー分野専門医:眼科医、耳鼻咽喉科医、放射線医師、精神医、リハビリテーション、救命救急診療
	M 2 (Mid-Level Referral Hospital)	Community Hospital	120以上	1次医療機関を支援 - 一般家業医及び家庭医がいる	メジャー分野専門医:産科医、外科医、内科医、小児科医、整形外科医、麻酔医
	F1 (First-Level Referral Hospital)		60-120	1次医療機関を支援 - 基礎的な治療	- 一般開業医及び家庭医 - 特定分野の専門医師
	F2 (First-Level Referral Hospital)		30-90	1次医療機関を支援 - 基礎的な治療	一般開業医及び家庭医
	F3 (First-Level Referral Hospital)		10	1次医療機関を支援 - 基礎的な治療(手術設備無し)	一般開業医及び家庭医
1次	P1 (Health Center)	Health Center	外来のみ	地域の病気予防・治療・リハビリテーションを支援	家庭医
	P2 (Health Center)			住民の健康支援	看護師

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等-私立病院の動向 -M&A

**私立病院に目を向けると、4つの大手私立医療機関グループが存在する。
一部グループは継続的なM&Aにより事業拡大・コスト競争力強化を図っている。**

- タイには、Bangkok Dusit Medical Services Group (BDMS)、Thonburi Group、Bangkok Chain Hospital
そしてBangpakok Groupの4つの大手医療機関グループが存在する。
- 一部グループは継続的なM&Aを行い、疾患領域、患者層や展開地域の非連続な拡大、調達力の強化を
図っている。
 - Siam Commercial Bankによる調査では、グループ調達を実施する病院は、個別調達を行う病院より医薬品・医療機
器購入コストの割合が低いという結果が出ている。

大手私立医療機関グループ施設数・直近のM&A動向

グループ名	病院数			直近5年のM&A実績(タイ国内)
	バンコク	バンコク 以外	合計	
BDMS	21	14	35	• 2011年、Phyathai Hospital GroupやPaolo Hospital Groupを運営するHealth Network PCLを買収 • 2014年、Phuket International Hospitalを運営するPhuket International Hospital Co., Ltd.,を買収
Thonburi Group	2	16	18	• -
Bangkok Chain Hospital	5	5	10	• 2013年、Pathumthani、Ayudhayaにある2病院を運営するNavanakorn Medicare Co., Ltd.,を買収 • 2015年、ChachoengsaoにあるSotaravej Hospital を買収
Bangpakok Group	4	0	4	• -

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等-私立病院の動向- 海外事業展開(1)

タイの大規模グループ病院は、海外の医療機関との提携を通して海外事業展開を狙う。

- ThonburiグループとBDMSグループは海外に病院を設立して海外事業展開を進めている。
- BDMSグループは病院設立の他にミャンマーとネパールの病院への経営サービスも提供している。

Oversea hospital expansion and management

Hospital	Expansion Method	Location/ country	Investment fund	Others
Thonburi Hospital	Building new hospitals	• Myanmar (Yangon, Mandalay, Htan, Tabin)	• 5 billion Baht	• For Myanmar project: 150 beds for each hospital
		• China (Nanjing, Suzhou, Wu Qi)	• 20 billion baht	• For China project: 300 beds for each hospital, targeting high income Chinese people and foreigners
		• Vietnam (future plan)	• 1.5 billion Baht	• 250-bed hospital • Still under negotiation with local partner (Thonburi Hospital will hold 40% shares)
	Building new clinics	Myanmar (Yangon, Madalay, Tan, Tabin)	No information	• 5 clinics in Yangon • 3 clinics in Mandalay • 1 clinic in Htan • 1 clinic in Tabin
	Hospitality management services	Vietnam and Cambodia	No information	• 200 bed hospital in Vietnam • 120 bed hospital in Cambodia
BDMS	Building new hospitals	Cambodia	No information	• Royal Angkor Hospital (21 beds) • Royal Phnom Phen Hospital (100 beds) • Both are already operated
	Hospitality management services	Myanmar and Nepal	No information	• Victoria Hospital in Myanmar • Grand International hospital in Nepal

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等-私立病院の動向- 海外事業展開 (2)

BDMSとBangkok Chain Hospitalグループは、海外の医療機関との提携を通して海外からの患者搬送、医療従事者の交換、ノウハウ共有など様々な活動を実施している。

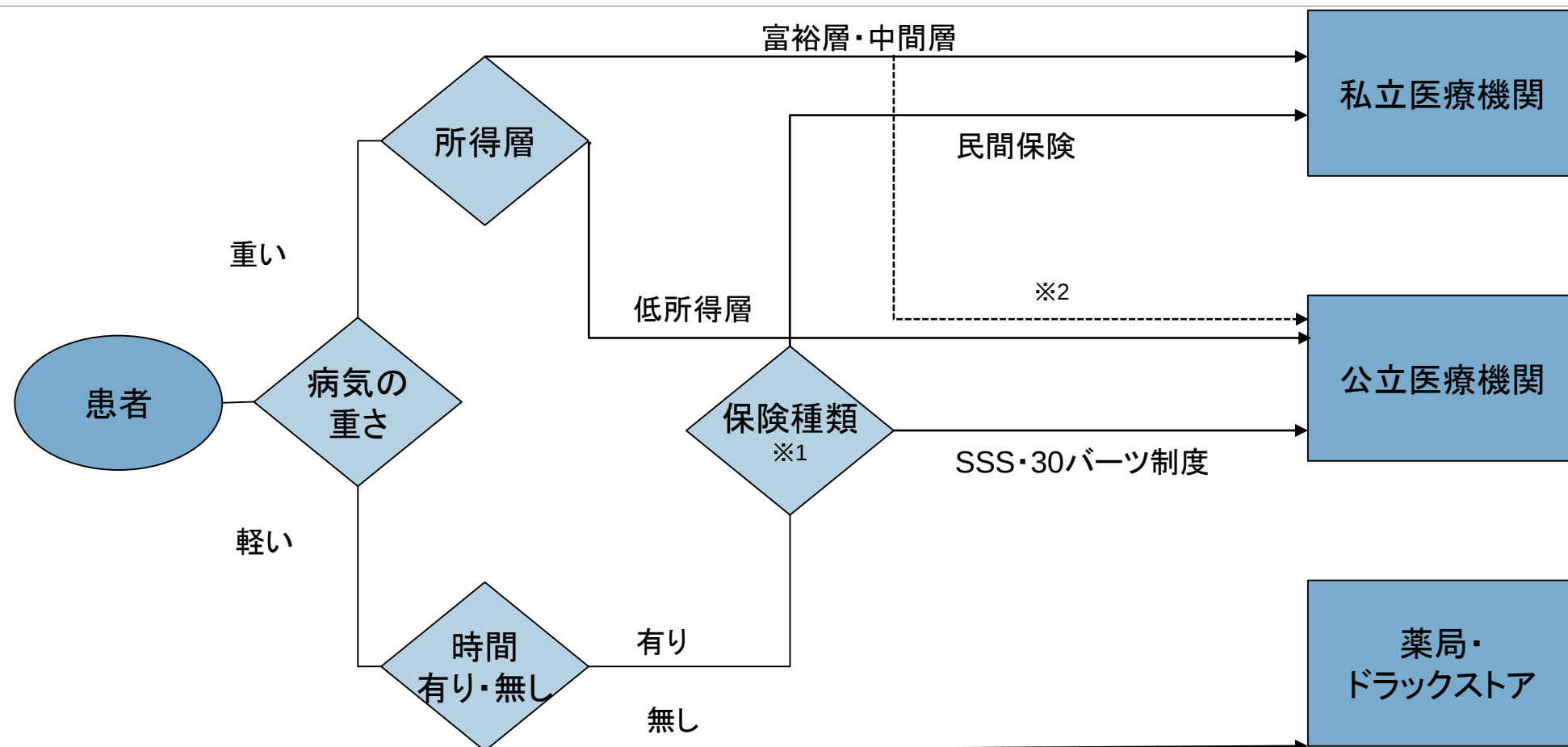
- バンコクチェーン病院 (BCH) グループは病院設立の海外展開事業は展開していないものの、ミャンマーにある病院とのアライアンスを通して患者搬送と医療従事者の交換を行っている。
- 加えて、タイ・ミャンマー国境にあるメイサイ郡にクリニックを建て、バンコクチェーングループ病院であるチャンライ県のKasemraj Sriburi病院とネットワークをつくり、100病床の規模でミャンマーからのクロスボーダー患者を迎える。
- 一方、ラオスからのクロスボーダー患者向けにはラオス国境周辺にあるチェンコン群とチェンサン郡に、第4タイ・ラオス友好橋と共にクリニックを立てる予定。当クリニックの設立を機会に中国人患者へのより良いアクセスが期待されている。

Collaboration with overseas alliances

Hospital	Collaboration Method	Overseas Partner	Alliance Detail
BDMS	Patient/doctor transfer	• Nagoya University • Sano Hospital	• Exchange resources such as medical care staff, physician, knowledge, etc. • Transfer patients to BDMS group hospitals
Bangkok Chain Hospital (BCH)	Patient/doctor transfer	Mandalay family hospital, Myanmar	• BCH would send a team of specialists to provide medical examinations and treatments at Mandalay hospitals in Mandalay. • For complicated diseases or critical cases, BCH will bring Myanmar patients to its own facilities in Thailand by air ambulance. These may include cases of heart disease, brain ailments and cancer. • VDO conference with Mandalay Family hospitals as a consultation service to enhance medical efficiency and accuracy.

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等-患者の医療機関選択パターン

タイの人は病状と時間制限によって治療・薬購入パターンが異なる。軽い病気及び時間がない場合、薬局を利用する。



※1 社会層によって加入する保険が異なる

- 富裕層・中間層 ⇒ 民間保険(個人・グループ)
- 低所得層 ⇒ SSS・30パーツ制度

※2 富裕層・中間層はより良いサービスを求め、一般的に私立病院に行くが、大学病院など公立医療機関に有名な医師がいるため、その先生を相手に公立病院へ行く富裕層・中間層もいる。

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

主要公立病院は以下の通り。バンコク内では1,000病床以上を持つ病院、バンコク以外の都市では主要都市の3次医療機関を抽出している。

名称 (所属、所在地)	所属	概要	診療科 数	病床 数	医師数 (歯科医 を含む)	年間 外来患者 数 (万人)	年間 入院患者 数 (万人)
Siriraj Hospital (Bangkok)	教育省	1888年にラーマ5世王の私財により設立された。Siriraj病院が設立された2年後に医学部が創立、それ以来Siriraj病院はMahidol大学医学部の付属医大として位置付けられている。タイの中で最も歴史が長く規模が大きい病院である。現在ラーマ9世王がSiriraj病院で治療を受けている。	情報無し	2,111	1,800	287	8.4
Rajavithi Hospital (Bangkok)	保健省	1951年にWomen's Hospitalとして設立されたが、現在女性患者に限らず三次医療サービスを提供している。	15	1,097	200程度	93	4.4
Chulalongkorn Hospital (Bangkok)	赤十字社	1914年にラーマ6世王の私財により赤十字社病院として設立された。病院名の「Chulalongkorn」はラーマ5世王の名称にちなんで名付けられた、現在Chulalongkorn大学の付属医大として位置付けられている。	21	1,479	196	146	4.9
Pranakorn Sri Ayutthaya (Ayutthaya)	保健省	1912年設立されたAyutthaya県の初近代病院。現在は保健省運営下の三次医療機関として位置づけられている。	12	528	82	36	4.0
Khon Kean Hospital (Khon Kean)	保健省	1947年に設立された。現在Koen Kean大学医学部のMedical Education Centerとして指定され、Koen Kean県内の他に東北地方にある周辺町のRegional HPとして位置付けられている。	16	867	272	70	7.7
Nakorn Ping (Chiang Mai)	保健省	1990年にGeneral HPとして設立され、患者Referral Systemの面ではChaing Mai、Lam PoonそしてMae HongsonネットワークのNew Born Referral Centerシステムを開発し、Referralプロセスが円滑に進められるように計画を作成している。プロセス調整センターとして機能している。	14	585	146	53	4.9
Hat Yai (Song Kla)	保健省	1958年に設立された。Referralシステムにおいて3次医療を提供している南部のRegional HPとして位置付けられている、	情報無し	640	188	20	2.6

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

主要私立病院は以下の通り。バンコクにあるJCI認定病院と、バンコク以外の主要都市の中で病床数の多い病院を抽出している。

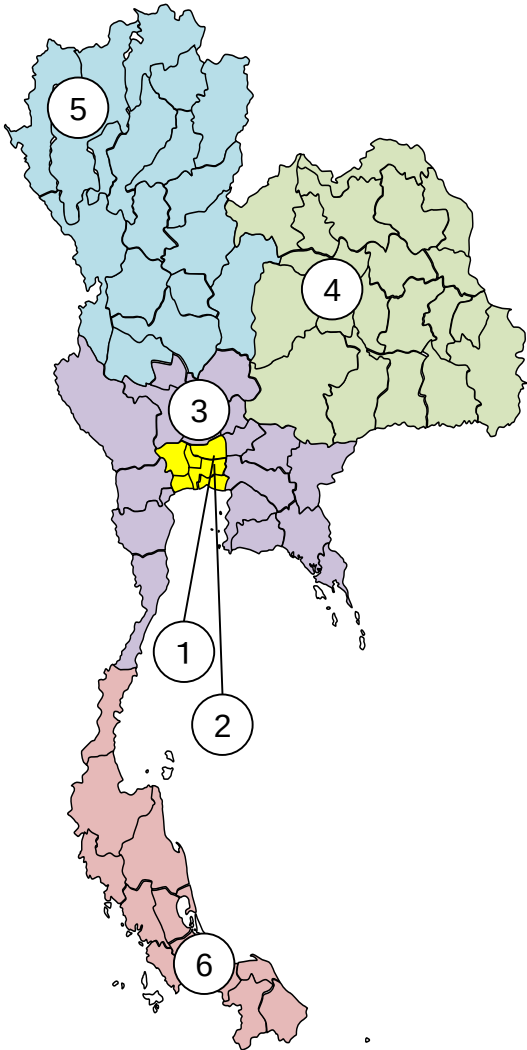
名称 (所在地)	概要	診療科 数	病床数	医師数 (歯科医を 含む)	年間 外来患者数 (万人)	年間 入院患者数 (万人)
Bumrungrad Hospital (Bangkok)	1980年に設立されたバンコク中心にある病院。患者の約4割が外国人。外国人・タイ人の富裕層をターゲットしている病院。JCI認定:2002年2月	32	580	988	109	3.1
Bangkok Hospital (Bangkok)	1972年に設立された。現在タイ最大病院グループ(Bangkok Dusit Medical System)の基幹病院であり、全国病院ネットワークを40軒所有している。JCI認定:2007年6月	10	343	632	61	2.3
Vejthani (Bangkok)	1994年に設立された。医療機器で高技術なものを導入し、インフラの設備を前面にアピールしてる。JCI認定:2010年3月	36	263	486	46	1.4
Samitivej Sukhumvit Hospital (Bangkok)	1979年に設立された。現在バンコク病院グループ傘下病院であり、1999年にUNICEFの”Mother and Baby Friendly Hospital”と認定された。JCI認定:2007年1月	29	275	583	43	15
Aikchol Hospitak (Cholburi)	1978年にChonburi県初の私立病院として設立された。	26	262	131	30	1.9
Khon Kean Ram Hospital (Khon Kean)	Ramkhamheang Hospitalグループのグループ病院として1995年に設立された。タイ東北部及びメコン川近隣国の最先端メディカルセンターを目指す。JCI認定:2014年3月	17	184	27	20	1.7
McCoemic Hospital (Chiang Mai)	American Mission Hospitalの名で1888年にアメリカ人宣教師より設立された。	22	400	76	23	2.6
Rajyindee Hospital (Songkla)	1988年に設立され、Thonburiグループに所属する病院である。現在Songklaと周辺町及び外人旅行者の患者へ治療を提供している。	13	196	30	26	2.1

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等－主要病院の機器・医療機器設置状況(公立)

**全国の大都市にある3次医療機関の中では、
医大病院であるSiriraj病院が最も病床数が多く医療機器の種類も豊富。**

医療機器	① Siriraj	② Rajavithi	③ Pranakron Sri Ayutthaya
	病床数 : 2,265	病床数 : 1,097	病床数 : 528
CT Scan	2	1	1
MRI	2	1	情報無し
Percutaneous Nephro-lithotomy/Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy for Kidney Stones	13	情報無し	情報無し
Gamma Knife	42	情報無し	情報無し
Ultrasound	58	12	5
Hemodialysis Machine	89	11	22
Ambulance	9	4	5

医療機器	④ Khon Kaen	⑤ Nakorn Ping	⑥ Hat Yai
	病床数 : 867	病床数 : 585	病床数 : 577
CT Scan	1	1	1
MRI	情報無し	情報無し	1
Percutaneous Nephro-lithotomy/Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy for Kidney Stones	1	1	情報無し
Gamma Knife	情報無し	情報無し	情報無し
Ultrasound	20	8	15
Hemodialysis Machine	20	9	情報無し
Ambulance	9	5	8

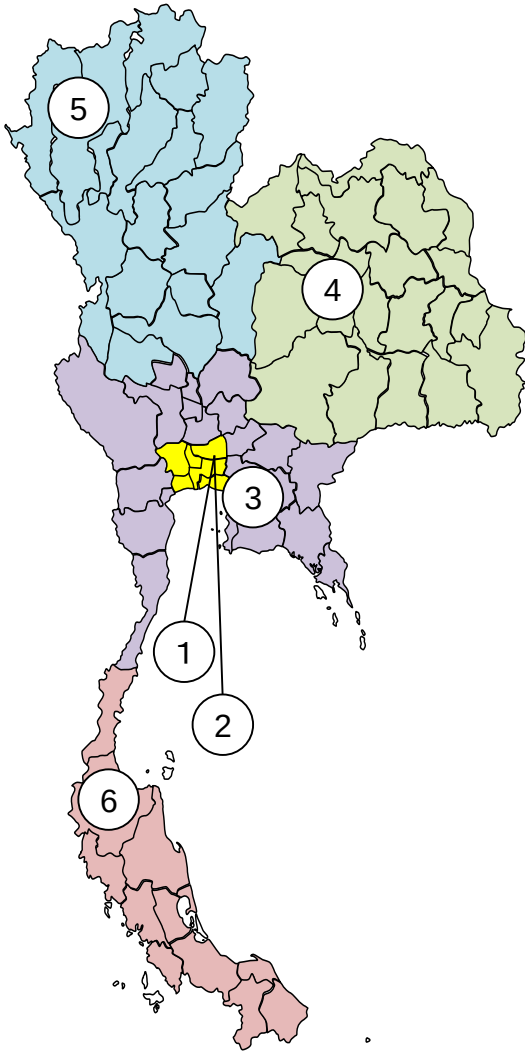


3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等－主要病院の機器・医療機器設置状況(私立)

私立病院のデータは以下の通り。なお、本データベースは各医療機関が任意に入力するものであるため、実態を表していない可能性が高い。

医療機器	①Vejthani	②Bangkok	③Aikchol
	病床数：263	病床数：343	病床数：262
CT Scan	1	情報無し	1
MRI	1	情報無し	情報無し
Percutaneous Nephro-lithotomy/Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy for Kidney Stones	情報無し	情報無し	1
Gamma Knife	情報無し	情報無し	情報無し
Ultrasound	情報無し	情報無し	2
Hemodialysis Machine	11	情報無し	10
Ambulance	4	情報無し	4

医療機器	④Khon Kaen Ram	⑤McCoemic	⑥Taksin
	病床数：184	病床数：400	病床数：200
CT Scan	1	1	1
MRI	1	1	情報無し
Percutaneous Nephro-lithotomy/Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy for Kidney Stones	2	情報無し	情報無し
Gamma Knife	情報無し	情報無し	情報無し
Ultrasound	5	4	7
Hemodialysis Machine	24	21	16
Ambulance	1	5	2



3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等－主要病院の機器・システム設置状況

患者の待ち時間短縮・院内情報共有の円滑化を目的として、院内ITシステムを導入する医療機関が多い。

Siriraj Hospital	Bangkok Hospital (BDMS Group)	Vejthani Hospital
タイプ: 公立医大病院 病床数: 2,221	タイプ: 私立 病床数: 343	タイプ: 私立 病床数: 263
システム導入日: 2009年3月 設置されたシステム: Enterprise Healthcare Information System システム内容: ▪ eHIS Patient Administration System and Billing ▪ eHIS Pharmacy ▪ eHIS Clinical and Maternity ▪ eHIS Blood-bank ▪ eHIS Dental	システム導入日: 2013年3月 設置されたシステム: Enterprise Healthcare Information System システム内容: ▪ RFID Triage (Radio Frequency Identification Triage) ▪ EMR (Electronic Medical Record) eHIS Clinical	システム導入日: 2012年4月 予算: 30百万バーツ 設置されたシステム: Intersystem Trakcare システム内容: ▪ Clinical Pathways ▪ Drug Information Management System
		システム導入日: 2012年9月 予算: 20 百万バーツ 設置システム内容: ▪ Smart Dispensing Robot EV 220

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等 - クリニック

Ministry Regulation on Characteristic of Sanatorium and its serviceによるとクリニックは12分類に分けられる。全国23,054軒のクリニックの中36.52%はMedical Clinic。

Clinic Classification and numbers

No.	Type	Definition	Numbers of Clinics
1	Medical Clinic	Sanatorium where general medical practice is provided by medical	8,420
2	Medical Specialty Clinic	Sanatorium where general and specialty medical practice are provided by practitioner who obtain certificate from Medical	2,484
3	Dental Clinic	Sanatorium where general dental practice is provided by dental practitioner	4,171
4	Dental Specialty Clinic	Sanatorium where general and specialty dental practice is provided by dental practitioner who obtain certificate of such field from Dental Council	73
5	Nursing and Midwifery Clinic	Sanatorium where nursing and midwifery, excluding obstetrics, are provided by first class practitioner of nursing and midwifery profession	5,513
6	Physiotherapy Clinic	Sanatorium where Sanatorium where physiotherapy service is provided by practitioner of the art of healing in physiotherapy	316
7	Medical Technology Clinic	Sanatorium where medical technology service is provided by practitioner of the art of healing in medical technology	528
8	Thai Traditional Medicine	Sanatorium where Thai traditional medical practice is provided by practitioner of the art of healing in Thai traditional medicine	804
9	Applied Thai Traditional Medicine	Sanatorium where applied Thai traditional medical practice is provided by practitioner of the art of healing in applied Thai traditional medicine	109
10	United Clinic	Sanatorium where at least 2 types of (1) to (9) practice are provided by practitioner of such fields	364
11	Secondary Dental Clinic	Sanatorium where dental practice is provided by second class practitioner of conventional art of healing who gets dental training from hospital or public school and meet satisfaction of Art of Healing Control Committee	32
12	Secondary Midwifery Clinic	Sanatorium where midwifery practice is provided by second class practitioner of conventional art of healing who gets midwifery training from hospital or public school and meet satisfaction of Art of Healing Control Committee	242

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等 - クリニック

一般診療所は一人の医師とアシスタントで診療を行うような個人運営の小規模クリニックが主流である。

- 全国のクリニックの大半を占めるメディカルクリニックの中には、診療所がメインであるが、美容クリニック、眼科、小児科などの専門クリニックも含まれている。
- 診療所は病院で働きながらパートタイムとして医師個人が運営している近所の患者向けの診療所が主流である。
- 診療所の多くはレントゲンのような医療機器はなく、聴診器、血圧計などベーシックな医療機器で最低限の診療を行っている。

Image of clinic in Thailand



3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等 - クリニック

美容クリニックは継続的な成長を実現し、市場規模が大きい医療分野である。従って、一般診療所よりも美容クリニック向けの医療機器への需要も今後増加すると思われる。

- 美容クリニックはMedical ClinicもしくはMedical Specialty Clinicとして登録される。
- 2015年の時点で全国3,000軒ほどの美容クリニックが健康関連サービス推進局に登録されている。2010年より1,000軒増加。
- 美容クリニックの市場規模はおよそ200億-300億バーツであり、年間市場成長率が15-20%を想定されている。市場はマスを対象とするチェーンクリニックに支配されている。

Top 5 beauty clinics by the number of branches

Clinic Name	Revenue 2014 (MB)	No. of Branch	Established Year
Wuttisak Clinic	2,922	118 (and 12 overseas)	2002
Pan Clinic	752	66 (and 1 overseas)	1983
Rajthevee Clinic	439	48	1977
Nitipon Clinic	332	145	1991
Pornkasem Clinic	No Information	33	1985

Example of medical devices used in beauty clinic

No.	Device	Purpose
1	Duo Yellow Laser	skin rejuvenation
2	V-Beam Laser	Rejuvenation (reds & browns) and Vascular Lesions
3	Fraxel Laser	reduce fine lines and wrinkles, surface scarring, pigmentation, sun damage, actinic keratosis
4	Gentle Yag Laser	permanent hair reduction, leg veins, facial veins, wrinkles and skin tightening.
5	Thermage	remodels collagen in pesky wrinkled skin
6	Ultrashape	non-surgical fat removal

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等 - クリニック

Wuttisak Clinicはタイ美容クリニック市場においてリーディングポジションを獲得しているチェーン美容クリニック。

Company profile

Item	Detail
Company name	Wuttisak Clinic Intergroup Co.,Ltd.
Location	35/65 M.2 Ngam Wong Wan Rd. Bang Khen, Muang, Nonthaburi 11000
Authorized capital	1,533,950 Baht
Revenue (2014)	2.92 billion Baht
Type of business	Specialized medical practice activities

Shareholders

No.	Name	% of shares	Amount of shares (Baht)
1	WCI Holding Co.,Ltd.	.99.9987	1,533,930.00
2	Mr. Kosol Woraritnapa	0.0007	10.00
3	Mr. Preecha Nannaruemit	0.0007	10.00

Clinic Factsheet

Item	Detail
No. of branches	118 branches for domestic and 12 branches for overseas
Service	Acne, Melasma Whitening, Age Reverse, Body Care
Laser service offered	IPL, fixel rejuvenation, hair removal laser, pigment laser, dual yellow laser, etc.
Main shareholder	WCI Holding is subsidiary of E For L Aim Public Company Limited, an authorized medical device distributor for various brands such as GE Healthcare, Nihon Koden, Hamilton Medical, Omron, etc. It bought shares from previous shareholder in 2014.

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等-主要学会

Thai Medical Device Technology Industry AssociationとMedical Association of Thailandが医療機器に関わる学会であるが、医療機関の医療機器調達には影響がない。

Thai Medical Device Technology Industry Association



President

Mr. Preecha Bhandtvej (Techno Medical Co., Ltd.)

Profile:

- ASEAN Federal of Medical Device Industry, Chairman
- Medical Device Committee Expert, FDA, Ministry of Public Health
- Techno Medical Co., Ltd., Vice President

役割

1. 医療機器法などの各省庁提出の法案・告知の草案・修正
2. 医療機器に関する規制環境を管轄する国際機関(AHWP、GHTF、ADVAMED、EUCOMEDなど)のメンバーとなり、各機関との連携を図る

Medical Association of Thailand



Vice President

Prof. Saranatra Waikakul (Orthopaedic Surgery, Siriraj Piyamaharajkarun Hospital)

Profile:

- Thai Board of Orthopaedic Surgery, Faculty of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University 1980
- Fellow in Hand and Microsurgery, UIC, UAS 1987

役割

1. 医療関連の教育・研究活動のサポート
2. 会員機関の福祉の確保
3. 国際水準を維持するための他の医療関連団体との連携
4. 国民への健康関連知識の周知
5. 医療・公衆衛生の国際水準を維持するための世界的医療団体との連携

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

タイの医師会・学会等一覧(1/4)

名称(タイ語)	名称(日本語)	略称	住所	TEL
The Royal College of Anesthesiologists of Thailand	麻酔医師会	RCAT	5th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkok, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716-7220
The Royal College of Family of Physicians of Thailand	内科医師会	RCFPT	11th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkok, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716 6651-2
The Royal College of Neurological Surgeons of Thailand	脳神経外科医師会	R.C.N.S.T.	11th Floor, Royal Golden Jubilee Building 2 Soi Soonvijai, New Petchburi Road, Bangkok, Huaykwang Bangkok 10310	02-354-7600 Ext. 93381
The Royal Thai College of Obstetricians and Gynaecologists	産科医師会	RTCOG	8th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkok, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716-5721-22
The Royal College of Ophthalmologists of Thailand	眼科医師会	RCOPT	10th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkok, Huaykwang, Bangkok 10310	02-718-0715-6
The Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand	整形外科医師会	RCOST	4th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-5437
The Royal College of Otolaryngologists-head And Neck Surgeons of Thailand	耳鼻科医師会	RCOT	Department of Otolaryngology, Phramongkutklao Hospital , Rachavithee Rd., Ratchathevee, Bangkok 10400	02-354-7711 Ext. 93685, 93073
The Royal College of Pathologists of Thailand	病理医師会	R.C.Path. (Thailand)	Sirindhorn School of Prosthetics and Orthotics, Faculty of Medicine Siriraj Hospital	02-419-3450
The Royal College of Pediatricians of Thailand	小児科医師会	RC Ped T.	9th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkok, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716-6200-2

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

タイの医師会・学会等一覧(2/4)

名称(タイ語)	名称(日本語)	略称	住所	TEL
The Royal College of Physiatrists of Thailand	物理療法医師会	RC Physiatr T	10th Floor,Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6808
The Royal College of Physicians of Thailand	内科医師会	RCPT	7th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6744
The Royal College of Psychiatrists of Thailand	精神病医師会	RCPsych T.	Department of Psychiatry, Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, 270 Rama VI Road, Ratchatewi, Bangkok, Thailand 10400	02-201-1478
The Royal College of Radiologists of Thailand	放射線医師会	RCRT	9th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkokapi, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716-5963
The Royal College of Surgeons of Thailand	外科医師会	RCST	Golden Jubilee Building, 2 Soonvijai New Petchburi Road , Bangkok 10310	02-716-6141-3
Dermatological Society Of Thailand	皮膚科専門医師会	DST	9th Floor,Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6857
Diabetes Association of Thailand under The Patronage of Her Royal Highness Princess Maha Chakri Sirindhorn	糖尿病学会	DAT	10th Floor, Royal Golden Jubilee Building,2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-5412
Medical Association of Thailand	医師会	MAT	4th Floor, Royal Golden Jubilee Building 2 Soi Soonvijai, New Petchburi Road, Bangkokapi, Huaykwang Bangkok 10310	02-314-4333
Pediatric Society of Thailand	小児科学会	No Data	9th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkokapi, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716-6200-2
Pediatric Infectious Disease Society of Thailand	小児感染症学会	PIDST	9th Floor, Royal Golden Jubilee Building 2 Soi Soonvijai, New Petchburi Road, Bangkokapi, Huaykwang Bangkok 10310	02-716-6534

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

タイの医師会・学会等一覧(3/4)

名称(タイ語)	名称(日本語)	略称	住所	TEL
Reproductive Health Association (Thai)	生殖保健学会	RHST	Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-7227
Society Of Aesthetic Plastic Surgeons of Thailand	美容外科学会	THSAPS	9th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716- 6214
Thai Association for the Study of Pain	疼痛学会	TASP	5th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-7010
Thai Association of the Study of Liver	肝学会	THASL	1575/1 Chaisanguan Building, 4th floor, New-Petchburi Rd., Makkasan, Ratchatevi, Bangkok 10400	02-255-3051
Thai Medical Informatics Association	医療情報学会	TMI	Bureau of Policy and Strategy, Office of the Permanent Secretary, Ministry of Public Health, Nonthaburi 11000	02-590-1492
Thai Rehabilitation Medicine Association	リハビリテーション医学 学会	TRMA	10th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6808
Thai Rheumatism Association	リウマチ学会	No Data	9th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6524-5
Thai Transplant Society	移植学会	No Data	4th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6181
The Association of Occupational and Environmental Diseases of Thailand	職業・環境アレルギー 学会	AOED	Nopparatrajathane Hospital, 679 Ramintra Road, Kannayao, Bangkok 10230	02-517-4270- 9 Ext.1658
The Endocrine Society of Thailand	内分泌学会	EST	10th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New-Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6661-4 Ext.1041
The Gastroenterological Association of Thailand	消化器病学会	GAT	Pa-ob Building 1st floor, Department of Gastrointestinal Disease, Siriraj Hospital, Bangkoknoi Bangkok 10700	02-412-0586

3. タイにおける主要医療機関と医師会・学会等

タイの医師会・学会等一覧(4/4)

名称(タイ語)	名称(日本語)	略称	住所	TEL
The Heart Association of Thailand under the Royal Patronage of H.M. the King	心臓協会	HAT	5th Floor,Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-718-0060
The Infectious Disease Association of Thailand	感染症学会	IDAT	7th Floor,Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-6874
The Nephrology Society of Thailand	腎臓学会	NST	4th Floor, Royal Golden Jubilee Building 2 Soi Soonvijai, New Petchburi Road, Bangkok, Huaykwang Bangkok 10310	02-716-6091, 0-2716-7450
The Neurological Society of Thailand	神経学会	NST	5th Floor, Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchaburi Road Bangkok, Huaykwang, Bangkok 10310	02-716-5901
The Psychiatric Association of Thailand	精神神経学会	PAT	Phramongkutklo Hospital, 315 Phayathai Road, Ratchathewi Bangkok 10400	02-640-4488
The Thai Medical Women's Association Under The Royal Patronage of Her Majesty The Queen	女医会	TMWA	980/2 Sukhumvit Road, Prakanong, Klongteoy, Bangkok10110	02-391-0400
The Thai Society of Critical Care Medicine	集中治療医学会	TSCCM	5th Floor,Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-718-2255
The Thai Society of Hematology	血液学会	TSH	10th Floor,Royal Golden Jubilee Building, 2 Soi Soonvijai, New Petchburi road, Bangkok 10310	02-716-5977
The Thai Society of Vascular & Interventional Radiology	インターベンショナル ラジオロジー学会	TSVIR	Suanbua School, 16/1 Soi Phaholyotin 5, Phaholyotin Road, Samsennai, Phyathai Bangkok 10400	088-901-3311
Thoracic Society of Thailand under Royal Patronage	呼吸器学会	T.S.T.	1281, Phaholyotin Road, Samsennai, Phyathai, Bangkok10400	02-619-8907

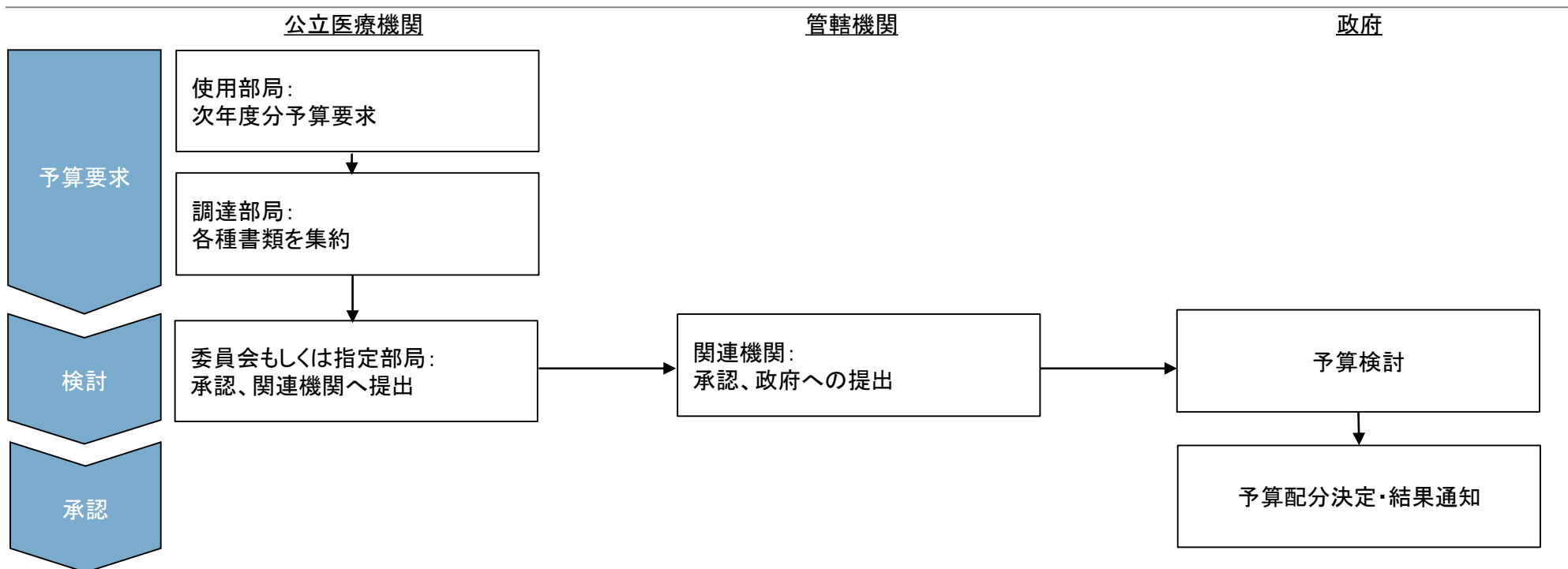
4. 調達プロセス

4. 調達プロセス-公立医療機関 - 一般プロセス

公立医療機関の予算策定は、医療機関単独でなく、管轄機関も巻き込んで実施される。

- 政府の会計年度は10月1日から次年度の9月30日。
- 各医療機関を管轄する機関があり、政府への予算要求の前に承認を実施する。
 - 管轄範囲についてはP.40参照

政府予算の承認プロセス



4. 調達プロセス-公立医療機関 - 一般プロセス

12の医療地域ごとに、保健省の目標を達成するためにどのような医療機器が必要なのかを議論したあと、地域内の病院における全体的な医療機器購入計画を作成する。

- タイでは12の医療地域があり、それぞれに80から100の病院が所属する。各地域には1-2ヶ所のA class の病院が存在する。
- 医療地域の委員会は人員や医療機器を含む調達計画を策定する。
 - なお、策定した計画は保健省が設定したサービス計画の目標に達していなければならない。
- 計画策定後、各地域の委員会から保健省に予算が申請される。
- 次官事務局傘下医療機関の医療機器調達予算は保健省から配分される。

次官事務局管理下であるバンコク外の病院の機器購入詳細

項目	詳細
購入権限	・ A とS 病院: 医療機器購入は自身の権限で実施できる。 ・ 小さい病院: 地方保健事務所が責任を持つ。
予算承認権限	・ 200万バーツ以下の機器: 各病院 ・ 200万から500万バーツの機器: 医療地域委員会 ・ 500万バーツ以上の機器: 国の委員会
予算割当	・ 低額機器: 病院収入 ・ 高額機器: 政府予算(100万バーツ以上)
予算消化期限	・ 病院収入によって購入された機器: 病院によって異なるが、購入は1年のうちいつでもできる。 ・ 政府予算で購入された機器: 契約は会計年度の11月30日までにサインしなければならず、支払いは翌年の9月30日までに完了しなければならない(同じ会計年度)。
調達公募	7月-9月

4. 調達プロセス-公立医療機関 - 一般プロセス

**予算承認後、使用部局は購入の都度、機器の購入申請を提出する。
機器の金銭的価値に応じて4種の調達プロセスが存在する。**

機器毎の調達プロセス

	機器の価値が10万パーツ未満 (Agree on Price Method)		機器の価値が 10万パーツ以上200万パーツ未満 (Price Comparison Method)		機器の価値が200万パーツ以上 (E-Auction Method)		機器の価値が200万パーツ以上かつe- auctionが不可能 (Bidding Method)	
	実行主体	実行プロセス	実行主体	実行プロセス	実行主体	実行プロセス	実行主体	実行プロセス
1	使用部局	購入申請	使用部局	購入申請	使用部局	購入申請	使用部局	購入申請
2	調達部局	承認済み予算内で 価格・ベンダーを 合意	調達部局	入札調達を行う旨 公表	使用部局	仕様書をWeb上で 公表	調達委員会	入札調達を行う旨 公表
3	-	-	調達部局	ベンダーから入札 書類集約(手渡し ないしは郵送)	使用部局／会計 局	E-auction委員会 を選定	入札書類委員会	ベンダーから入札 書類集約(手渡し のみ)
4	-	-	価格検討委員会	スペックが要求に 見合う中で最低価 格のベンダーを選 定	E-auction委員会	電子調達を行う旨 公表、ベンダーの 初期スクリーニン グ実施	入札検討委員会	スペックが要求に 見合う中で最低価 格のベンダーを選 定
5	-	-	-	-	外部事業者 (E- auctionプロバイ ダー)	初期スクリーニン グに通過したベン ダーが入札参加	-	-
6	-	-	-	-	E-auction委員会	最低価格のベン ダーを選定	-	-

4. 調達プロセス-公立医療機関の収入源

**医療機器購入のための予算は、一般的に、
病院収入、政府予算、寄付の3つが主な収入源となっている。**

- これら3つの割合は病院ごとに異なっている。
 - 政府予算と病院収入が主な収益源となっている場合でも、割合としては小さいながらも寄付も代替的な収益として考えられている。
- 医療機器は一般的に病院収入を使って購入するが、高額な機器に関しては政府予算によって購入する。

Siriraj病院とRajvithi病院の予算配分と支払用途

予算	割合		支払用途	購入金額別	
	Siriraj	Rajvithi		大規模病院	小規模病院
政府割当 予算	80%	50%	- 職員給料 - 麻薬中毒処方などの保険適用外の費用 - 投資予算(建築物, 工事, 高価な医療機器)	5千万バーツ以上	1百万バーツ以上
病院収入	20%	50%	上記以外の費用	5千万バーツ未満	1百万バーツ未満
寄付	少量		-		

4. 調達プロセス-公立医療機関の収入源(Siriraj病院・Rajavithi病院の場合)

Siriraj病院と Rajavithi 病院は異なった政府省庁に属している公立病院だが、機器購入は政府の規則に従わなければならないため、その調達状況は類似している。

- 病院と政府の間に協力体制がある場合や共同研究を実施する場合を除いて、販売会社は公式な機器購入プロセスに従わなければならない。
- Siriraj病院とRajavithi病院はどちらも共同調達を実施している
 - Siriraj: p.108に示されているMahidol 大学管理下の2つの病院と共同で購入。
 - Rajavithi: 保健省所属の医療局傘下病院と共同で購入。しかしほとんどが医薬品である。

Siriraj 病院と Rajavithi 病院の購入プロセス

購入ステップ	Siriraj 病院	Rajavithi 病院
購入計画開始	• 少なくとも2会計年度前	• 1会計年度前
購買依頼	• 使用者部局	• 一般機器: 調達部 • 専門的機器: 使用者部局
検討	• 使用者がメンバーである購入委員会	• 使用者がメンバーでない購入委員会（委員会は決定のために、使用者の意見を求める場合もある。）
承認	• 学部長 ⇒ 学長 ⇒ 大学院長	• 病院長
予算消化期限 (ガイドライン)	• No Data	• 会計年度の第1四半期

4. 調達プロセス-公立医療機関-新政府調達システム(1)

業者選定・入札の透明性を確保することを目的とし、公務員と入札者の接点を限定するために、2015年4月10日に中央会計局が新しい政府調達方法を発表。

旧と新政府調達方法の違い

	旧	新	変更背景
	E-Auction	E-Market & E-Bidding	
入札担当局	品物を調達する政府局	中央会計局	調達部局公務員への入札参加業者リストの非表示と公務員と業者の対面機会を減らすことで、談合を防ぐため
参加登録	担当局から入札パッケージを購入	銀行から入札パッケージを購入	
入札詳細	品物を調達する政府局にて受け取る	ポータルサイトにログインし、必要な情報をダウンロード	
入札方法	調達する政府局に指定された場所にてコンピュータベースで入札を実施	オンラインポータルサイトに入札	業者間の入札談合を防ぐため
選定基準 (Bid Qualification Method)	価格評価のみ (Financial Qualification)	価格評価と技術評価 (Financialと Technical Qualification)	調達部局が求める品質及び技術を持っている商品・サービスの調達を図るため

新政府調達方法: E-marketとE-Bidding

	E-Market (E-Catalog)	E-Bidding
製品価格	- 見積依頼書(RFQ)に沿った見積提出方法: 100,000THB～5,000,000THB - オンラインオークション方法(Thai Auction): 5,000,000超	100,000THB超
製品特徴	Routine & Non-Strategic Goods and services 例 文法具、オフィス用品、日常用品 など	Strategic and sophisticated goods and services 例 パソコン、機械、建設サービスなど
入札方法	- 見積提出方法: 指定された日程にオンラインサイトにて見積提出(提出回数は1回のみ) - オンラインオークション方法: 指定された日程と時間にポータルサイトを通して30分ほどオークションを実施	- 指定された日程にPDF型の見積書をポータルサイトへアップロード(提出回数は1回のみ) - 提出後の修正は不可 - 必要に応じてVendorにProduct Testingを要求する事が可能

4. 調達プロセス-公立医療機関-新政府調達システム(2)

2015年10月1日以降、10万バーツ以上の調達は製品・サービス内容の複雑度によってe-Marketとe-Biddingの2つの政府調達システムを通して調達しなければならない。

■ 旧政府調達の区分は価格ベースであったものの、新システムは製品・サービスの特徴によって調達プロセスが異なる。

■ 新調達プロセスのe-Marketとe-Biddingは政府調達オンラインシステム上で実施される。

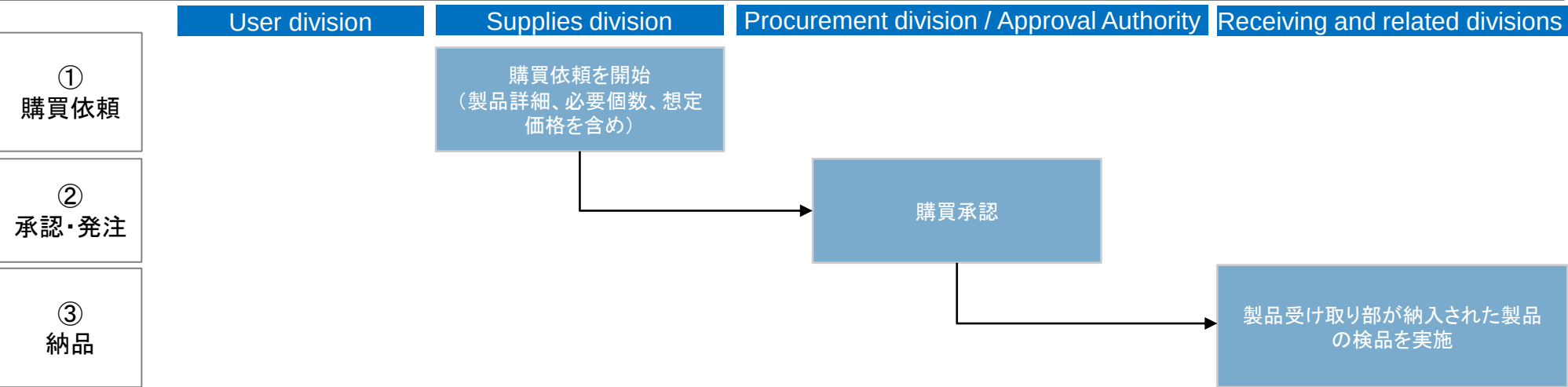
E-market and E-bidding process

Step	Me-thod	Durable article with uncomplicated characteristics, a general goods or service with standards as specified on e-catalog system (E-Market Method)				Durable article with complicated characteristics, or with technical specification, and the value is more than 100,000 Baht (E-Auction Method)	
		Durable article whose value is over 100,000 but not more than 5 million Baht (Bidding)		Durable article whose value is over 5 million Baht (Thai Auction)		Responsible unit	Procedure
		Responsible unit	Procedure	Responsible unit	Procedure		
1		User Department	User initiates purchase requisition	User Department	User initiates purchase requisition	User Department	User initiates purchase requisition
2		Procurement Department	Prepare procurement announcement draft and e-market procurement document to Head of Department for approval	Procurement Department	Prepare procurement announcement draft and e-market procurement document to Head of Department for approval	Procurement Department	Prepare procurement announcement draft and e-market procurement document to Head of Department for approval
3		Procurement Department	Make procurement announcement at the department an its website and at Comptroller General's Department (CGD)'s	Procurement Department	Make procurement announcement at the department an its website and at Comptroller General's Department's website	Head of Department	- For article value over 5 million Baht, announcement for public opinion is needed. - For articles below 5MB, public opinion is depended on the head decision
4		Bidder	- Submit RFQ via e-GP - One time bid	Bidder	- Bidding via e-GP within 30 minutes - Cannot see competitors price (will see only mark at the lowest bidder)	Bidder	- Submit RFQ via e-GP - Present bid security (e-bank guarantee with security value 5% of budget set)
5		Procurement Department	Award vendor by price	Procurement Department	Award vendor by price	E-bidding Committee	- Receive RFQ - Select bidder candidate whose product's quality and qualification meet requirement - Award to vendor by the criteria set - Report to Head of Department for approval - Present to authorized person to purchase - Announce the result to all candidates and on Department's and CGD's website

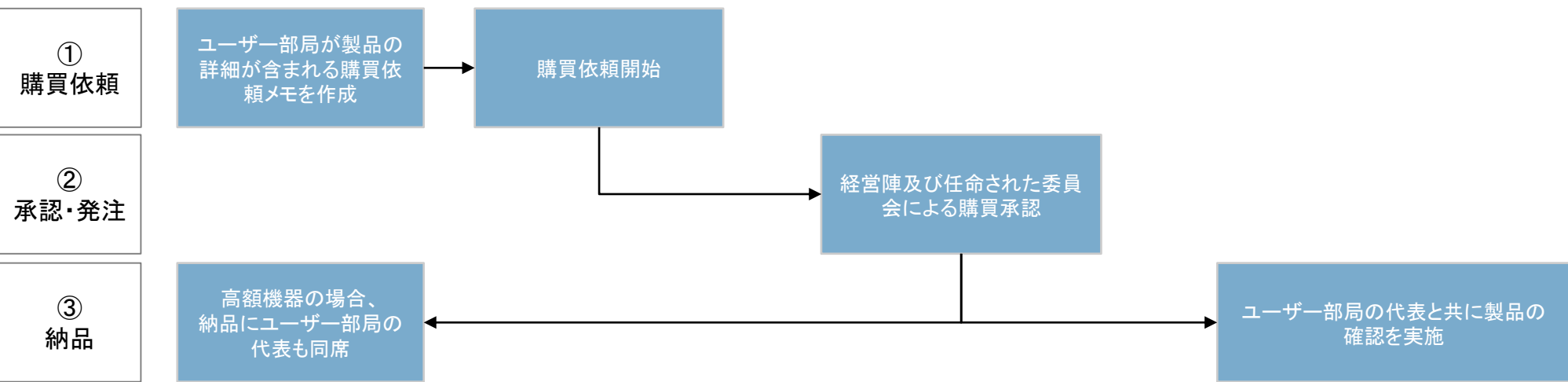
4. 調達プロセス - 私立医療機関 - 一般プロセス

私立医療機関の調達プロセスは機器の重要性によって異なる。重要性があり、高額な機器の調達には、より複雑な調達プロセスが必要となり、関連部局も多い。

Routine Procurement (products which are purchased regularly such as pharmaceuticals, consumable supplies, food ingredients)



Critical High Value Procurement (product which has technical specification, unique characteristic, or irregularly purchased)

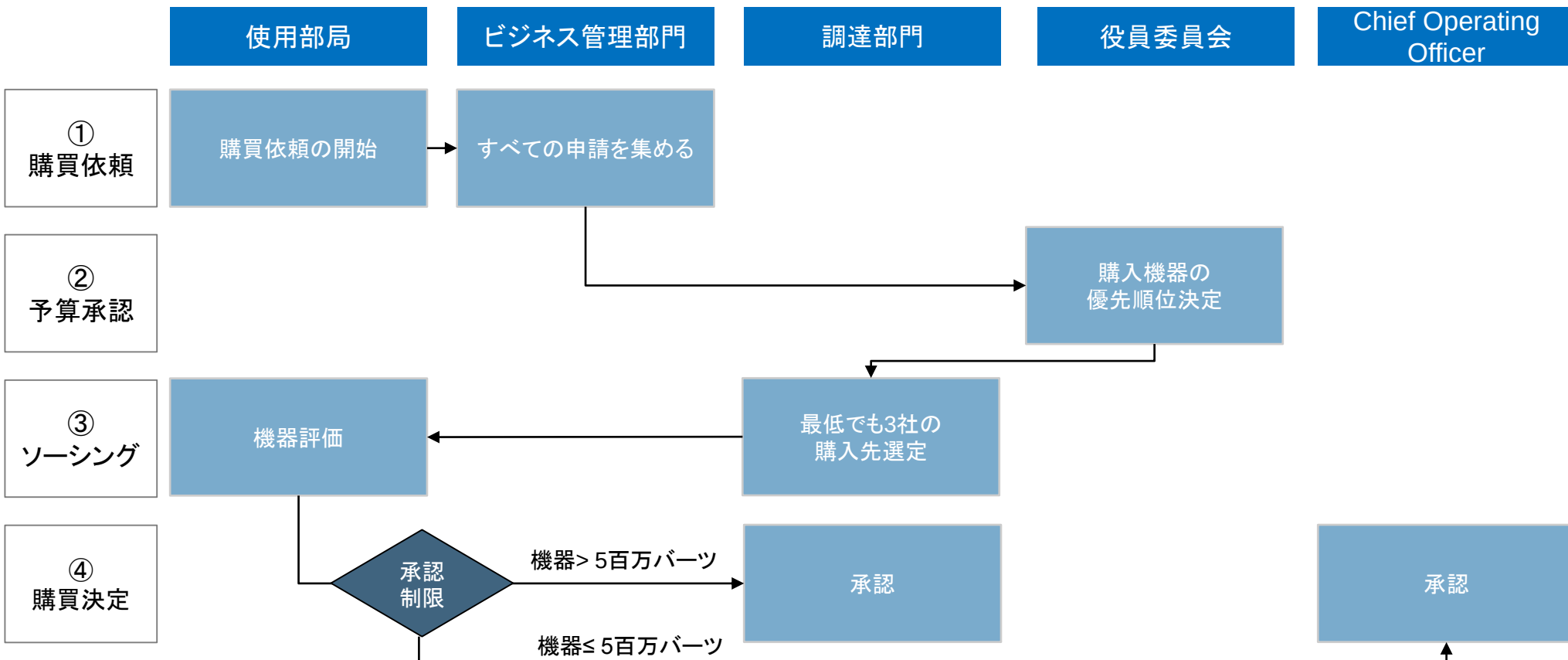


4. 調達プロセス - 私立医療機関 (Vejthani病院の場合)

Vejthani病院の購入プロセスには様々な部局が関与する。購入起案と機器評価は機器使用者(現場の医師)によってなされる。

- 機器評価時には、機器の性能以外にもトレーニング提供やナレッジの共有などサービス面も重視される。

Vejthani 病院の購入プロセス



4. 調達プロセス- 私立医療機関のセントラル調達

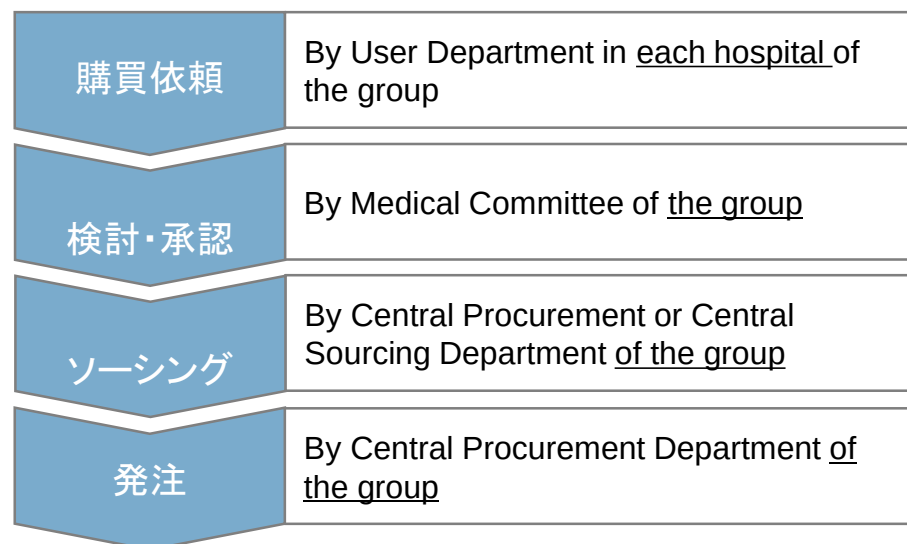
BDMS、Bangkok Chainなどタイの大規模医療機関グループはセントラル調達を行っている。

- 病院グループは、セントラル調達を通してグループ傘下病院の医薬品・医療機器・医療部材の調達を行っている。
- セントラル調達はスケールメリットを図り、価格及び支払に関するバイヤー側の交渉力を高める効果がある。その上、各病院に調達スタッフを置くよりもセントラルで調達活動を纏める事は人件費の削減にも繋がる。
- タイで最も大きい病院グループであるBDMSもNational Healthcare Systems Co., Ltd. (N Health)といった傘下企業を通してセントラル調達を実施している。

Example of hospital groups doing central procurement

No.	Hospital Name
1	Bangkok Dusit Medical Service Group (BDMS)
2	Bangkok Chain Hospital Group (BCH)
3	Mahachai Hospital Group (M-Chai)

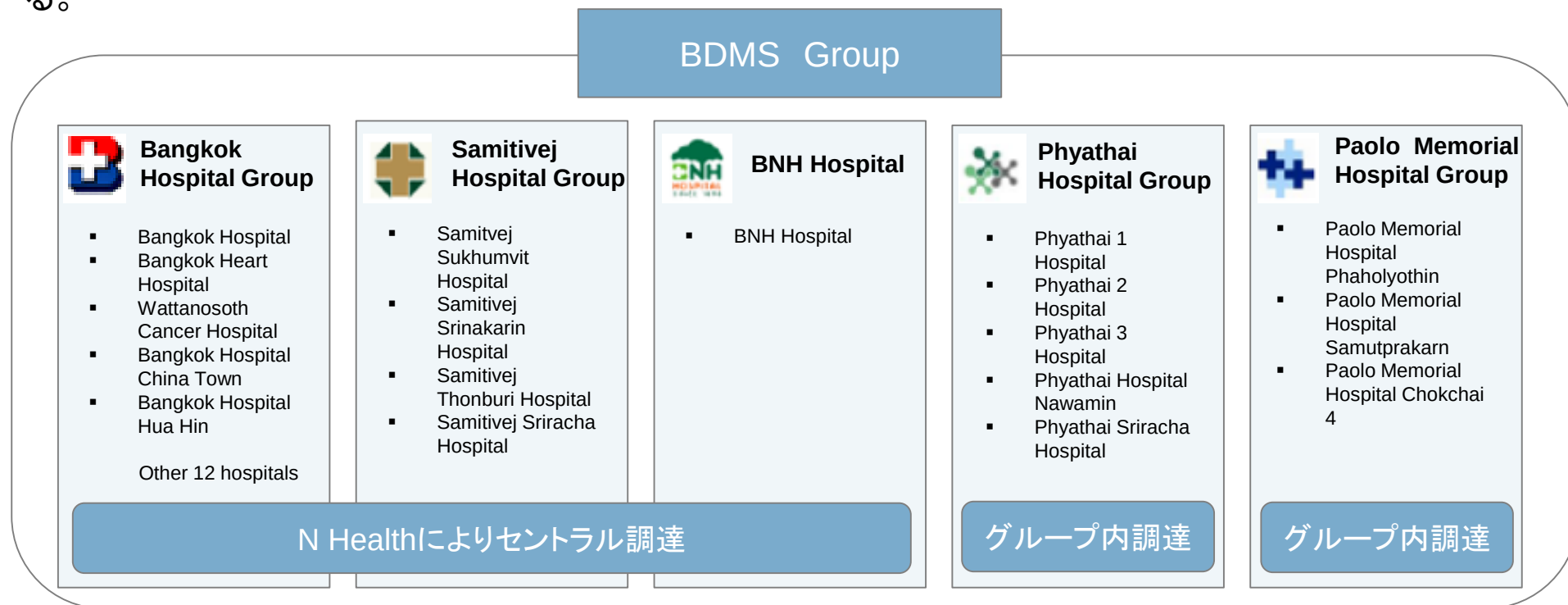
Central Procurement Process (Hypothesis)



4. 調達プロセス- 私立医療機関のセントラル調達

National Healthcare Systemはセントラル調達を担当するBDMSグループ会社。PaoloとPhyathai病院以外のBDMS傘下病院は、グループ内でセントラル調達を行っている。

- National Healthcare System (N Health)はBDMSグループ傘下企業であり、BDMSグループ病院の院内総合サービスプロバイダーとして勤める。セントラル調達を含めサプライチェーンマネジメントやラボサービスなど様々な院内サービスを提供している。
- PhyathaiとPaolo病院グループは自らの調達機能を生かしグループ内病院のグループ調達を実施しているが、N Healthを使用しているBDMS傘下他のグループ病院との情報共有や入札の共同開催などを行っている。



4. 調達プロセスー 私立医療機関のセントラル調達

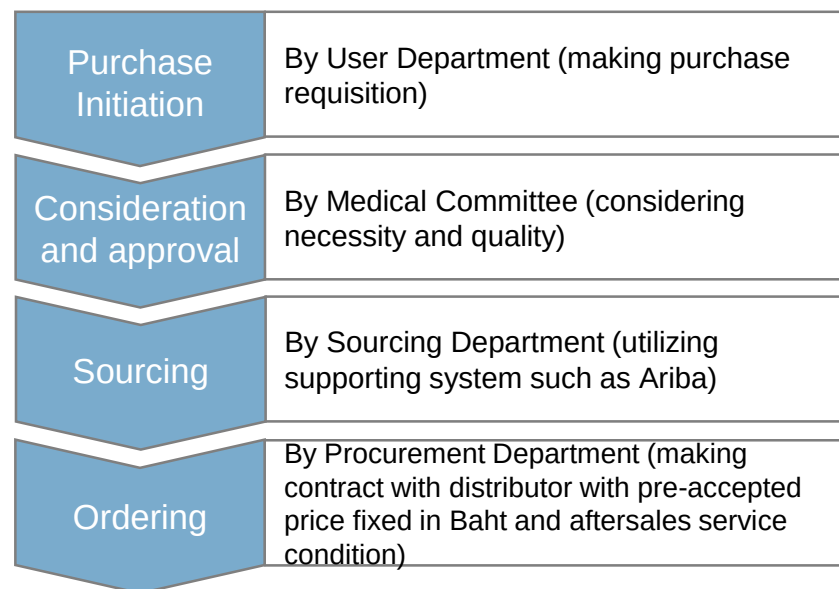
円滑な購買活動を図り、品質の高い商品を安価に仕入れるために、Nhealthの購買は機能別にソーシングと調達の二つチームに分担される。

- BDMS傘下病院は、以前は個別に予算を獲得し、それぞれの調達ソフトウェアとデータベースを通して調達を行ってきた。現在は、N Healthのセントラル調達システムを導入して依頼している。
 - BDMSグループ内の複数の病院グループは共通製品番号を使用し、同じソフトウェアとデータベース上で調達を実施している。ソーシングと調達業務も明確に分けられる。
- 承認ベンダーリストシステムも使用しており、N Healthの承認を取得してベンダーリストに載らない限りは、N Healthがセントラル調達を代行しているBDMSグループ病院には製品を販売する事ができない。
- BDMSの医療機器調達は、ユーザーからの購買依頼、承認、ソーシングと調達の4ステップに分けられる。

Supporting systems used by N Health

No.	System	Details	Benefit
1	E-Catalog	Online catalog with picture helps for procurement and user mutual understanding	Reduction of purchasing error
2	Ariba system (for international procurement)	Instead of going to see product abroad, a system shares product information of millions of vendor worldwide online.	- Time efficiency - Cost reduction

BDMS medical devices' procurement process (Hypothesis)



4. 調達プロセス - 医療機器調達に係わる行動とタイミング(総括)

私立病院の購入スケジュールは様々である一方、公立のスケジュールはほぼ同様である。会計年度の1-2ヶ月前に募集が始まり、契約は11-12月までに完了しなければならない。

医療機器購入に関するスケジュール

対象	2014					2015						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
購入者		★ 9/30 = 2014 年会計年度 終了	★ 10/1 = 2015年 会計年度開始									
	← 2015年会計年度向けベン ダー募集告知 →		← 機器購入プロセスと2015年 会計年度用機器購入のため のサイン →									
		● 2016年会計年度用の 予算計画開始	← 2016年会計年度用の予算申請を 保健省に提出する期間 →									
		← 機器購入プロセスと2015年会計年度用の機器購 入のためのサイン →										
			● 2015年会計年度用の予算計画開始									
販売者	← 定期的な病院訪問 →											
		← 2014年会 計年度終 了前に残 予算消化 の営業 →	← 2015年会 計年度用の 機器購入の 詳細・仕様 を提案 →									

4. 調達プロセス-関与する部局、キーパーソン

**各医療機関の中で調達に関与するのは、
医療機器を実際に使用する部局、調達部局、医療機器調達委員会の3部局である。**

医療機器調達に関与する部局

部局・キーパーソン	役割
使用部局	・ 購買依頼作成. ・ サプライヤー指名 ・ 仕様作成 ・ 医療機器長圧委員会への購買意図説明 ・ 技術評価
調達部局	・ サプライヤー検索 ・ 入札実施・管理 ・ 価格面の評価 ・ 注文書作製
医療機器調達委員会	・ 購買許可

4. 調達プロセス-Key Buying Factor

**医療機器のKBFは、機器の種類が低額・低機能か高額・高機能かで異なる。
高額な機器であるほど、質・技術の他にアフターサービスが求められることになる。**

医療機器のKBF

	相対的に見て低額な医療機器	相対的に見て高額な医療機器
定義	• 低額 • 低機能 • サプライヤーが多い製品	• 高額 • 高機能 • サプライヤーが少ない製品
製品例	• 血圧計 • 人工呼吸器 • 超音波 • 除細動器 • X線	• 3D腹腔鏡手術システム • 強度変調回転放射線治療システム • 光コヒーレンストモグラフィ • 低侵襲外科手術システム
KBF	1. 価格 2. 質・技術 3. アフターサービス	1. 質・技術 2. アフターサービス 3. 価格

5. 関連制度・規制

5. 関連制度・規制-医療保険制度の整備状況と今後の方針(1)

2002年より国民医療保障制度(Universal Coverage)が導入され、
 全国民が公的医療保障制度の対象となった。

タイの医療保険制度

	民間保険	公的保険		
		公務員医療保障制度 (CSMBS)	民間企業被用者社会保障制度 (SSS)	国民医療保障制度 (UC)
導入時期	—	1963年	1990年	2002年
対象者	主に富裕層や外国人	公務員・公務員退職者	民間企業の被雇用者	CSMBSとSSS以外の者
扶養家族	加入保険による	本人および家族 (子供は20歳未満3人まで)	本人のみ	個人単位で登録可能
加入者数	77万人	500万人(全人口の8%)	1,000万人(全人口の16%)	4,800万人(全人口の75%)
受療可能な 医療機関	登録医療機関のみ (民間)	全ての公立医療機関	登録医療機関のみ (主に公立)	登録医療機関のみ (主に公立)
財源	個人支出	税財源 (本人の保健料負担なし)	給与天引き(給与の約5%、 最高月払額750バーツ)	税財源 (本人の保険料負担なし)
予算 (2015年)	加入保険による	600億バーツ	政府: 279億バーツ 加入者(雇用者・従業員): 763億バーツ	1,407億バーツ
医療機関への 支払い	出来高払い	出来高払い	人頭払い 2,518バーツ/年・人	人頭払い 2,895バーツ/年・人
自己負担の 有無	加入保険による	民間病院での受療	出産・救急サービスの利用	30バーツ (低所得者は免除)
管轄	民間保険会社	財務省	労働省社会保障局	国民医療保障局

5. 関連制度・規制-健診に関する制度の整備状況と今後の方針（2）

タイでは健康診断は義務ではない。
しかし、医療費の削減を目的に、政府による健康診断パッケージが提供されている。

- 健康および予防を促進するために、健康診断パッケージがUCとCSMBSに提供されている。しかしながら、SSSにはまだ含まれていない。
- SSSの健康診断プログラムは検討中である。現在はUCの健康診断パッケージの利用が可能である。

保障制度別健康診断プログラム

保障	健康診断パッケージ	適用予算
国民医療保障制度	• 糖尿病、高血圧、子宮頸がんの検査 • 在宅訪問、在宅看護 • 歯科検査 • 子供のための予防接種、栄養、成長 発達 • 妊婦への健康検査 • 家族計画 • HIV検査: 年に2度 (すべてのタイ国民対象) • 子宮頸がん塗布検査:年に1度 * プログラムは年代によって異なっている。	• 297.70 バーツ / 1人
公務員医療保障制度	• <u>35歳以下:</u> プログラムは胸部X線、胸部X線集団検診, 尿検査、検便、全血球算定、膣検査, 子宮がん検査 • <u>35歳以上:</u> プログラムは35歳以下の人用のテスト全てと、追加のグルコース、コレステロール、中性脂肪、血中尿素窒素、クレアチニン、血清GOT (GOT)、血清GPT (SGPT)、アルカリフォスファターゼ、尿酸	• 450 バーツ/ 1人(35歳以下) • 910 バーツ / 1人(35歳以上)
民間企業被用者社会保障制度	• 社会保障には健康診断が適用されていない (UCのパッケージは利用することができる。)	

5. 関連制度・規制－健診に関する制度の整備状況と今後の方針（3）

健康上のリスクがある業務に従事する労働者に対しては、雇用者は健康診断を受けさせる義務がある。

健康診断に関する規制

規制名	• Ministerial Regulation on the Prescribing of Criteria and Method of Conducting Health Check Up of Employees and Forwarding the Results of Health Check Up to Labor Inspector B.E. 2547 (2004)
規制当局	• 労働省
健康診断の条件	• リスク要因に定義されるものを取り扱う業務に従事する労働者は、職業病医学を専門とする／職業病医学に関するトレーニングを受けている／政府が指定する要件を満たす医師による、健康診断を受ける義務がある。 • 初回の健康診断は雇用後30日以内に完了する必要がある。2回目以降は、年に1度行われる必要がある。
リスク要因の定義	1) 政府が指定する有害化学物質 2) 政府が指定する有害微生物: ウイルス、バクテリア、菌類など 3) 放射性物質 4) 政府が指定する有害と考えられる環境: 熱や冷温、振動、気圧、光、騒音など

5. 関連制度・規制-医療機器販売に関連する登録フロー 輸入事業者・製品登録

医療機器は、クラス1:特別管理医療機器、クラス2:通知制医療機器、クラス3:一般医療機器の3カテゴリに分類される。

医療機器輸入・販売に当たり必要な登録

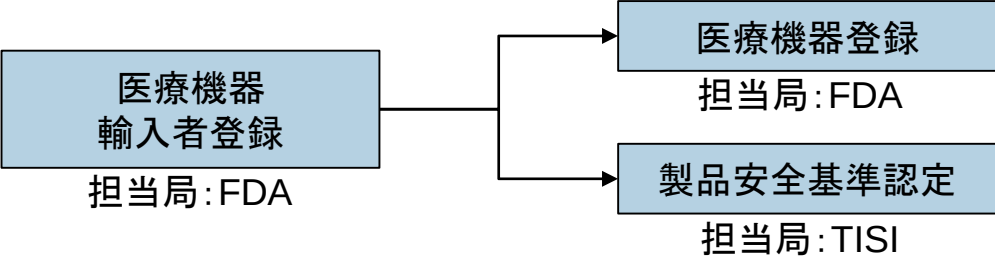
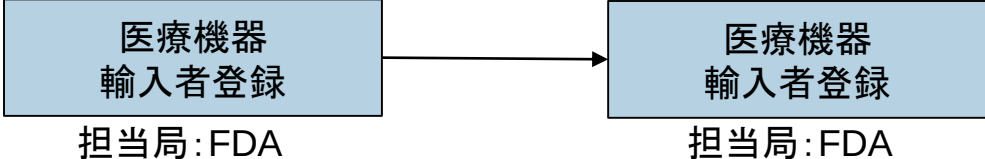
	対象機器	登録プロセス	製品	申請期間	手数料
輸入者登録	全医療機器	-	全製品	30日以内	1,000baht
医療機器登録	クラス1: 特別管理医療機器	FDAへの輸入許可申請→許可→医療機器輸入許可証を取得	- コンドーム - 検査手袋 - HIV診断検査キット - 消毒済み使い捨て皮下注射器 - 消毒済み使い捨てインシュリン注射器 - コンタクトレンズ	- 審査必要な場合:60日 - 審査不要な場合:25日	20,000baht
	クラス2: 通知医療機器	FDAへの医療機器詳細申告→審査→医療機器輸入内容申告受理証を取得	- 理学療法関連製品 - アルコール検知機 - インプラント胸部人工シリコン - 胸部増強具 - 研究目的HIVテストキット	35日(申請待ち期間を除く)	20,000baht
	クラス3: 一般医療機器	製造国内で販売されていることを示す文書を提示→審査→医療機器輸入証を取得	その他医療機器	1製品:1日 100製品以下: 4日 101製品以上: 5日	10製品以下: 1,000baht 11製品以上: 2,000baht

5. 関連制度・規制-医療機器販売に関連する登録フロー 安全認定

タイ工業製品規格事務局(TISI)が指定した4種の製品は、FDAでの登録とは別に、TISIから製品安全基準認定の取得が必要。

- TISIの製品安全基準認定が必要となる医療機器は、医療用亜鉛化窒素を含むもの、滅菌医薬品用プラスチック容器、医療用二酸化炭素を含むもの、医療用酸素を含むものの4種である。
- TISIの製品安全基準認定が必要な場合、FDAへの医療機器輸入者登録完了後、FDAでの医療機器登録とTISIでの製品安全基準認定は同時平行で進行可能。

医療機器登録プロセス

医療機器	プロセス
安全認定が必要な下記4種の機器 1. 医療用亜酸化窒素を含むもの 2. 滅菌医薬品用プラスチック容器 3. 医療用二酸化炭素を含むもの 4. 医療用酸素を含むもの	 <pre>graph LR; A[医療機器 輸入者登録 担当局: FDA] --> B[医療機器登録 担当局: FDA]; A --> C[製品安全基準認定 担当局: TISI]</pre>
安全認定が不要な機器(上記4種除く)	 <pre>graph LR; A[医療機器 輸入者登録 担当局: FDA] --> B[医療機器 輸入者登録 担当局: FDA]</pre>

5. 関連制度・規制－政策動向・医療機器関税

タイ国民の健康上必要、かつタイ国内で製造されていない高度医療機器25種類が、2012年1月6日タイ財務省官報により輸入免税対象と発表された。

■ 対象医療機器は輸入の際に自動的に免税となり、特別な申請は不要。

免税対象医療機器

#	機器名	#	機器名
1	Cardiac Stress Exercise or Physiological Monitor System, Stress exercise cardiac	14	Intra-Aortic Balloon Pump
2	Cardiac Ultrasonic Scanners	15	Hypothermia Unit
3	Ambulatory ECG or Holter ECG or Ambulatory Recorders or Holter Monitor	16	Cardiac Output Unit
4	Electrocardiograph or ECG Machine	17	Electrosurgical Unit (ESU) or Cauteries or Electrosurgical Coagulator
5	Bedside Monitor	18	Thoracotome
6	Defibrillator	19	Blood Gas/ph Analyzers
7	Pacemaker or Artificial Cardiac Pacemaker	20	Ultrasonic Lithotripters
8	Polygraphic Recorder or Polygraph	21	Lithotripters
9	Oxygenator	22	Ultrasound Computed Tomography
10	Cardiac Catheterization Kit	23	Magnetic Resonance Image (MRI) Unit
11	Invasive Blood Pressure Monitors	24	Hemodialyzers or Hemodialysis Unit or Dialysis Unit or Artificial Kidneys or Artificial Kidneys Machine
12	Electrocardioscope or ECG Monitor or Cardiac Monitor	25	Gamma Camera System
13	Heart-Lung Machine or Heart-Lung Bypass Units		

5. 関連制度・規制-医療機器ハーモナイゼーションの取り組み状況

タイのFDAは、2015年4月からAMDDと同じ医療機器分類を使用している

- 2014年11月に、タイ含むASEAN諸国は医療機器の登録・管理における基準を統一すべく、ASEAN Medical Device Directive (AMDD)に署名した。
- Medical Device ActとAMDDに内容の相違はなく、Medical Device Actの下位法規の内容をAMDDに合致させる活動が為されている。
- 2015年4月にFDAから、AMDDの分類に従い医療機器を4つの分類に分類し直す旨の告示が発表された。当分類は実際にはまだ適用されておらず、適用開始時期も未定である。

AMDD医療機器分類

分類	体外診断用 (IVD)		非体外診断用 (Non-IVD)	
	Risk Level	例	Risk Level	例
クラスA	個人および公衆に対する危険性低	一部試薬、標本容器、洗浄液	低リスク	simple wound dressings, stethoscopes for diagnosis, magnetic resonance equipment
クラスB	個人に対する危険性中程度、および／または公衆に対する危険性低	妊娠検査キット、尿検査用試験紙、受胎検査	やや低リスク	muscle stimulators, electrocardiographs, suction equipment, washer disinfectors,
クラスC	個人に対する危険性高、および／または公衆に対する危険性中程度	血糖値検査、HIVウイルス量管理	やや高リスク	Haemodialysers, urethral stent, surgical adhesive, maxilla-facial implants, lung ventilators, infusion pumps,
クラスD	個人および公衆に対する危険性高	HIV、HCV、HBV検査試験	高リスク	neuro-endoscopes, neurological catheter, prosthetic heart valves, Porcine heart valves,

5. 関連制度・規制-外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況（1）

**タイでは、外国人事業法(FBA)に基づき、
外国人が営むことが規制されている事業が存在する。**

■ FBAにおける外国人の定義:

- 1) タイ国籍を有していない自然人(外国籍の者)
- 2) タイ国内で登記していない法人(外国法人)
- 3) タイ国内で登記している法人(タイ法人)ではあるが、
 - (a) 外国籍の者又は外国法人が資本株式の50%以上を保有する法人
 - (b) 外国籍の者が経営者又は共同経営者となっている有限責任パートナーシップ又は登記済みパートナーシップ
- 4) タイ国内で登記している法人(タイ法人)ではあるが、上記1、2又は3に基づく外国人が資本株式を50%以上保有する法人

■ List2, 3については当局の許可を得れば外国人による事業運営も可能だが、認められることは稀。

規制対象事業

カテゴリ	事業例
List 1 特別の理由により外国人が営むことのできない業種	・ 新聞、ラジオ放送、テレビ放送事業／稲作、畑作、園芸／タイ薬草の加工／営林および自然林の木材加工など
List 2 国家の安全、または芸術伝統、民芸品、天然資源、環境に影響を与える事業	・ 銃器、弾丸、火薬、爆発物の製造・販売・補修修理業／古物、美術品すなわちタイ国の芸術、工芸品の取引／金製品、銀製品、細工品、象眼金製品、漆器の製造／爆破、砕石を含む鉱業など
List 3 外国人との競争力がまだついていない事業	・ 精米、製粉／植林／会計サービス／建築設計サービス／観光業／最低資本金1億バーツ未満または一店舗あたり最低資本金2,000万バーツ未満の小売業／一店舗あたり最低資本金1億バーツ未満の卸売業／その他サービス業など

5. 関連制度・規制-外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況（2）

医療機器製造はFBAによる規制対象外。医療機器卸・小売や病院サービスはFBAのList3において規制業種とされ、外国人の過半株式保有が制限されている。

■ 医療機器卸・小売や病院サービスは、下記ケースを除き外国人が過半株式を保有することはできない。

- 卸業：払込済み資本金が1億バーツ以上
- 小売業：払込済み資本金が1億バーツ以上（店舗数5以下）、店舗当たり払込済み資本金が2000万バーツ以上（店舗数6以上）
- 商務省に対して個別にForeign Business License（事業ライセンス）を申請・取得

FBA List3に規定される規制業種

1	精米・製粉	11	代理・仲介業（ただし、証券・農産物の先物取引、金融商品売買に関するサービス、同一グループ内の生産に必要な財取引、外国人資本1億バーツ以上の国際貿易仲介、その他省令で規定された代理・仲介業を除く）
2	漁業（養殖）	12	競売（骨董品・美術品以外の国際間競売、その他省令で定める競売）
3	植林	13	伝統的な国内農産物または法令で禁止されていない農産物の国内取引（ただし、農産物の先物取引を除く。）
4	ベニア板・チップボード・ハードボード製造	14	最低資本金1億バーツ未満または一店舗あたり最低資本金2,000万バーツ未満の小売業
5	石灰製造	15	建設業（ただし、外国人投資が5億バーツ以上で特殊な技能を要する建設（インフラ通信等）、その他の省令で規定された建設業を除く）
6	会計サービス	16	広告業
7	法律サービス	17	ホテル業（ただし、マネージメントを除く）
8	建築設計サービス	18	観光業
9	エンジニアリングサービス	19	飲食物販売
10	一店舗あたり最低資本金1億バーツ未満の卸売業	20	植物の繁殖・品種改良
		21	その他サービス業（省令で定めるものを除く）

5. 関連制度・規制-外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況（3）

タイには投資促進を司るタイ投資委員会（BOI）が存在。

タイ経済・社会の発展に資すると認められた事業に対して、恩典が与えられる。

■ 投資促進対象事業は7分野に分けられ、異なる税的恩典・非税的恩典等が与えられている。

投資促進法概要

規制当局	Thailand Board of Investment, under the Prime Minister's Office
目的	タイ経済に持続的成長をもたらし、「中所得の罠」(Middle Income Trap)を乗り越え、競争力を高める為に国内および海外での高度な価値のある投資を促進すること
恩典概要	恩典は下記の4種類が存在： ・ 税的恩典： 法人税免除、機械や原材料の輸入関税免除、など ・ 非税的恩典： 土地の所有許可、外貨の外国への送金許可、FBAのList 2, List 3に明示される投資プロジェクトは、 <u>外国人に株式の大多数あるいは全数の所有を認める(但し、他の法令により規制される場合にはこの限りではない)、など</u> ・ 保証： 国は奨励事業を国有化しない、など ・ 保護： 奨励事業が製造するものに類似した製品に対し、そのCIF価格に輸入手数料最大50%を最長1年間課す
恩典の分類	・ 業種に基づく恩典： 活動の重要度に応じ恩典を6レベルに分類 ・ メリットベースの恩典措置： 国または産業に有益な活動に更なる投資を促進するため、特定プロジェクトに恩典を付与
投資促進対象事業	(1) 農業および農作物, (2) 鉱業、セラミックス、基礎金属, (3) 軽工業, (4) 金属製品、機械、運輸機器, (5) 電子・電気機械産業, (6) 化学、紙、プラスチック, (7) サービスおよび公共施設

5. 関連制度・規制-外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況 (4)

2015年1月1日より産業の高付加価値化を目的に、BOIの投資奨励対象が変更された。旧投資奨励では地域別に設定されていた恩恵が、業種別となった。

- 旧投資奨励では地域別に設定されていた恩恵 (zone-base incentive) は、産業の重要性による恩恵 (activity-base incentive) へと変更された。
- 旧投資奨励と同様に、税に関する恩恵 (tax incentive) とその他恩恵 (non-tax incentive) の二種類が存在する。

新旧投資奨励比較

	旧投資奨励 (2000)	新投資奨励 (2015)
対象セクター	7分野 243プロジェクト 農業と農産物、鉱物、セラミックスと基本金属、軽工業、金属製品、機械および輸送用機器、電子・電器産業、化学薬品、紙やプラスチック、サービスおよび公益事業。	同7分野 231プロジェクト 対象プロジェクトは高度な技術を必要とするプロジェクトや高付加価値プロジェクトのほか、研究開発や環境に優しいプロジェクトとされた。
恩恵	- ゾーンベースのインセンティブ: プロジェクトの実施場所に基づいて提供される。所得レベルと各県のインフラ利用状況によって3ゾーンが定義されていた。 - アクティビティベースのインセンティブ: 国に特別な重要性と利点があるとして指定されている場合、追加のインセンティブを付与する。	- アクティビティベースのインセンティブ: プロジェクトの重要性に基づいて付与される。重要度の高い順にA1-B2までの6種類のグループが存在する。 - メリットベースのインセンティブ: 追加インセンティブとして、国に利益をもたらす投資を促進することを目的に、3種類のメリットインセンティブが設定された。 - 競争力強化に寄与するプロジェクト - 投資促進地域に位置するプロジェクト - 工業地域の開発に寄与するプロジェクト

5. 関連制度・規制-外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況 (5)

投資奨励の中でも、特別重要かつ国益をもたらす業種と認められたプロジェクトは、インセンティブとして上限なく法人所得税が免除される。

- 「特別重要かつ国益をもたらす業種」として、R&Dや技術革新に加え、高付加価値プロジェクトが指定されている。旧投資奨励には当該業種が34プロジェクト存在し、医療機器製造も含まれていた。しかし、新投資奨励では15プロジェクトに削減され、医療機器製造も対象外となった。

新旧投資奨励対象比較(2000年 対 2015年)

	旧投資奨励 (2009)	新投資奨励 (2015)
特別重要かつ国益をもたらす業種	- 農産品からのアルコールあるいは燃料の製造 - 燃料電池の製造 - 電力およびスチームの製造 - 環境にやさしい化学品の製造 - 環境にやさしい製品の製造 - メディカル・フーズの製造 - 天然繊維あるいは人口繊維の製造 医療用器具、機器の製造 - 科学機器の製造 - 農業および食品加工用の機械、備品の製造 - 金型の製造あるいは修理 - 航空機および部品備品の製造、修理、改造 - 乗り物の部品の製造 - 工業用の電子機器の製造 - 電気通信用の電子機器の製造 - 半導体の製造 - 記憶装置の製造 - 電気通信機器部品の製造 医療用の電子機器部品の製造 - 乗り物用電子部品の製造 - 太陽電池あるいは太陽電池原材料の製造 - 電子の設計 - 人材開発 - バイオテクノロジー事業 - 研究および開発サービス - 計測器校正サービス - 他 8種類	- 商用材木の植林(ユーカリを除く) - 創造的製品デザインサービスと開発センター - 航空機の機体、航空機部品、その他の基幹部品の製造 - 電子設計(マイクロエレクトロニクス設計、組込みシステム設計) - 組込みソフトウェア開発 - ゴミ燃料による電力製造 - エネルギーサービス - 工業地区または工業団地 - クラウドサービス - 研究開発 - バイオテクノロジー - エンジニアリングデザインサービス - 科学研究所 - 計測器校正サービス - BOI 認可の研修センター

5. 関連制度・規制-外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況（6）

現在は、医療機器製造のみが投資奨励対象業種。

病院運営は2011年2月以降、投資奨励対象から外れている。

- 医療機器関連の投資奨励対象業種は、下記3種類存在する。
- 2011年2月以前は病院運営に対して法人税や機械の輸入関税を免除する恩典が存在したが、現在投資奨励対象ではなくなっている。

投資奨励対象の医療機器関連3業種

業種	条件	恩典
3.11.1 ハイリスクまたはハイテク医療用機器（X線装置、MRI装置、CTスキャン装置、人体インプラントなど）あるいは、公的機関による研究成果もしくは官民共同の研究成果から商品化された医療用器具・機器の製造	-	・ 8年間の法人税免除 ・ 機械の輸入関税の免除 ・ 輸出向けの製造に使用される原材料および必要資材の輸入関税の免除 ・ その他非税的恩典
3.11.2 その他の医療用器具・機器の製造（布・繊維から作られた医療用器具・機器を除く）	・ ガーゼや脱脂綿を製造する場合、原綿や綿糸から開始する	・ 5年間の法人税免除 ・ 機械の輸入関税の免除 ・ 輸出向けの製造に使用される原材料および必要資材の輸入関税の免除 ・ その他非税的恩典
3.11.3 布や様々な繊維からの医療用器具・機器の製造（ガウン、ドレープ、帽子、マスク、グロス、ガーゼ、脱脂綿など）	・ ガーゼや脱脂綿を製造する場合、原綿や綿糸から開始する	・ 3年間の法人税免除 ・ 機械の輸入関税の免除 ・ 輸出向けの製造に使用される原材料および必要資材の輸入関税の免除 ・ その他非税的恩典

5. 関連制度・規制－外資規制や外国企業誘致に関する取り組み状況（7）

医療機器製造は外国人の過半株式保有が可能、医療機器卸・小売は資本金を積むことで過半株式保有が可能、病院は過半株式保有不可。

医療機器に関する事業のFBAによる規制およびBOI恩典

事業活動	FBAによる規制状況		BOI恩典の付与状況	
	規制対象	外国人の株式保有	申請可否	条件
医療機器製造	非対象	100%保有が可能	可	前頁記載の3種類に該当する医療機器のみが対象
医療機器卸	対象	100%保有が可能だが、払込済み資本金が1億バーツ以上の必要あり	不可	-
医療機器小売	対象	100%保有が可能だが、払込済み資本金が1億バーツ以上（店舗数5以下の場合）か1店舗当たり払込済み資本金が2000万バーツ以上（店舗数6以上の場合）の必要あり	不可	-
病院	対象	50%以上の保有は不可	不可	-

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況- 日本企業の参入状況(主要プレーヤー、規模感など)

日本企業も多数参入済み。なお、医療機器製造は外国人が過半の株式保有で事業運営が可能だが、輸入販売の場合は外資規制対策を検討する必要有り。

No.	会社名	創業年	売上 百万THB (2014)	タイでの主要製品	バリューチェーン			ディストリビューション	株主国籍 (>50%)	BOI奨励
					生産	販売	保守			
1	NIPRO (THAILAND)	1988	6,318	- 腎臓関連 - 注射および輸液関連	タイ	タイ	タイ	自社	日本	無し
2	KAWASUMI LABORATORIES (THAILAND)	1978	2,709	- 血液透析 - 血漿交換	タイ	タイ	タイ	Namsin Trading Company Limited	日本	取得
3	TERUMO (THAILAND)	1994	2,211	- 総合病院向け - 自動採血システム	日本	タイ	タイ	自社	シンガポール	無し
4	OLYMPUS (THAILAND)	2000	1,329	- 内視鏡 - 活性内視鏡用処置具	日本	タイ	タイ	自社	香港	取得 (貿易ならびに 投資支援事務所)
5	M.E. NIKKISO	1994	944	- 透析機器 - 使い捨て医療部材	タイ	タイ	タイ	自社	タイ	取得
6	MIZUHO (THAILAND)	2007	173	- 手術台 - 外科関連	タイ	情報無し	情報無し	情報無し	日本	取得
7	OMRON HEALTHCARE (THAILAND)	2012	112	- ヘルスケア製品全般	日本	タイ	タイ	DKSH	シンガポール	無し
9	PARAMOUNT BED (THAILAND)	2010	100	- ベット	タイ	タイ	タイ	DKSH	タイ	無し
10	M.E. MEDITEK	1971	289	- 輸液・輸血セット - 各種チューブセット	タイ	タイ	タイ	自社	タイ	無し
11	HORIBA (THAILAND)	2004	231 (2013)	- 血液関連	タイ	タイ	タイ	自社	タイ	無し
12	CARTON OPTICAL (SIAM)	1988	64	- 顕微鏡	タイ	タイ	タイ	自社	日本	取得

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況－ ODA実績(JICA支援事業)、今後の見通し

2010年以降の主なODA実績は以下の通り。

No.	事業時期	事業名	事業費 (億円)	事業形態	関係者	
					日本側	タイ側
1	2010～2013	アフリカ向けマラリア予防対策	－	個別案件 (国別研修)	－	保健省
2	2012～2015	HIV/AIDS予防対策に係る政策・戦略と実施	－	個別案件 (国別研修)	－	マヒドン大学
3	2013～2014	診療報酬制度	－	個別案件 (国別研修)	厚生労働省	国民医療保障局
4	2013～2016	大腸がん早期発見・治療プロジェクト	－	草の根技協※1 (地域提案型)	東京医科歯科大学、文京区	チュラロンコン大学
5	2014～2016	タイにおける妊産婦管理及び糖尿病のためのICT遠隔医療支援プロジェクト	－	草の根技協※1 (地域提案型)	香川県、香川大学、e-HCIK、BHN テレコム支援協議会、ミトラ、ネット ワンシステムズ	チェンマイ大学
6	2015～2019	効果的な結核症対策のためのヒトと病原菌のゲノム情報の統合的活用プロジェクト	3.5 (日本側)	技術協力 (科学技術)	東京大学大学院医学系研究科、理 化学研究所、複十字病院	保健省、マヒドン大学
7	2013～2014	透析技術ネットワーク開発計画におけるCDDS(多人数用透析液供給装置)技術普及促進事業	－	民間技術 普及促進※2	旭化成、旭化成メディカル、日機装	－
8	2014～2015	アドバンス内視鏡外科手術普及促進事業	－	民間技術 普及促進※2	オリンパスメディカルシステムズ	タイ中核国立病院関係者
9	2015～2016	透析技術トレーニングセンター開発計画における水浄化およびアセアン諸国を対象とした透析技術普及促進事業	－	民間技術 普及促進※2 (健康・医療特別枠)	メディキット、旭化成株式会社、川 澄化学工業株式会社	透析医療関係者

※1 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の事業の一つ。開発途上国の地方公共団体や途上国において活動しているNGO等が現地において実施する比較的小規模なプロジェクト(原則1,000万円以下の案件)に対し、資金協力を行うもの。開発途上国の草の根レベルに直接裨益するきめの細かい援助であり、また、機動的な対応が可能な「足の速い援助」とあるという特徴を有している。

※2 開発途上国の政府関係者を主な対象に、日本での研修や現地でのセミナー、実証活動等を通じ、日本の民間企業等が持つ優れた製品・技術・システムの理解を促す事業。1件当たりの上限額は2,000万円(健康・医療特別枠のみ5,000万円)。

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況-インタビュー先医療機関と日系組織間の協力

保健省と公立病院は民間企業との直接協力について公平な調達に反する可能性があるため消極的であった。政府機関などの仲介が入る形での協力を求めている。

- 昨今は公立機関の調達に関する監査も厳しく、特定民間企業との技術協力は難しくなっている。よって、政府機関などの公的機関の仲介が入る形での協力が求められている。
- しかし、他のメーカーでは扱えない最新の技術を搭載している機器や大幅な割引などの特別なオファーがある場合などは、直接協力も可能である。

保健省、タイの病院と日本の機関との今までの協力例

機関タイプ	機関名	活動	日本パートナー
政府省庁	保健省	・高齢者のための長期間ケア	・JICA
公立病院	Siriraj 病院	・スタッフの相互派遣	・東京医科歯科大学
		・その他の小さな協力	・日本の小規模病院
	Rajvithi 病院	・腎臓透析のトレーニングと計画	・JICA
		・手術室のリノベーションのための特別な割引とサポート	・日系医療機器メーカー
		・Rajavithiによって主催された医療技術のトレーニング	・日系医療機器メーカー
私立病院	Vejthani 病院	・なし	・なし

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況ータイ医療機関が期待している協力
保健省とタイの病院は日本との医療機器等の共同開発、リソース共有、教育、投資、視察などの協力関係を期待している。

保健省とタイの病院が期待している日本との将来の協力関係

協力関係	例	機関
共同開発	テスト研究施設を設立するための公立、もしくは私立パートナーシップ	保健省
	高齢者ケア分野における協力	
	タイの大学との生体医療工学分野における協力	
	RajavithiとKing Mongkutの技術研究所によって共同で行われている生体医療工学のトレーニングプロジェクトへの協力	Rajavithi病院
	義手、義足を作るための人工装具と矯正機器のSirindhorn学校開発への協力	Siriraj病院
	マネキンロボット開発への協力	
	日本は蘇生法といった基礎科学が優れているため、日本とSiriraj前臨床部門での協力	
リソース共有	研究開発技術の共有とエキスパートの人事交流	保健省
教育	修理やメンテナンス知識を病院のエンジニアと共有	Siriraj病院、 Vejthani病院
	タイの医師へ日本でのトレーニング、短いコースや高度な教育の機会	Siriraj病院、 Rajavithi病院、 Vejthani病院
投資	機器への投資として使えるタイ政府の予算が限られている為、あらゆる機器投資への支援	Rajavithi病院
	リハビリセンターや癌センターといった「プロフィットシェアセンター	Vejthani病院
視察	日本製品についてもっと学ぶため病院の担当者を日本の医療機器フェアへ連れていく	Vejthani病院

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況-海外の医療機器メーカ、医療機関の参入状況

Siemens、Philips Electronics、GEなど国際的な大手プレイヤーが進出済み。

#	企業名	設立年	主要株主国	本社所在地	売上高 (Million THB) *2014	事業領域	タイでの事業活動
1	SIEMENS LTD.	1994	オランダ	ドイツ	12,677	electrification, automation and digitalization. It is one of the world's largest suppliers to the healthcare industry and a trendsetter in medical imaging, laboratory diagnostics, and medical information technology	輸入販売
2	PHILIPS ELECTRONICS (THAILAND) LTD.	1952	オランダ	オランダ	8,721	advanced molecular imaging, Clinical informatics, Computed tomography, Diagnostic ECG, Fluoroscopy, Magnetic resonance	情報無し
3	JOHNSON & JOHNSON (THAILAND) LIMITED	1970	アメリカ	アメリカ	5,388	Sutures, Meshes, Absorbable, Urological Surgery Devices, Electrophysiology Mapping Systems, Radiofrequency Generator	輸入販売
4	ABBOTT LABORATORIES LTD	1966	ルクセンブルク	アメリカ	4,928	pharmaceuticals, medical food, infant and child food, and medical device	輸入販売
5	ROCHE DIAGNOSTICS (THAILAND) LTD.	1992	オランダ	アメリカ	3,716	(In Vitro Diagnostics Test Kit), Analyzers, Pre-Analytical, Analyzers laboratory, Blood Gas, PH, Electrolytes, Clinical Chemistry	輸入販売
6	BAXTER HEALTHCARE (THAILAND) CO.,LTD.	1994	アメリカ	アメリカ	2,821	pd machine, infusion pump, iv set, biosurgical glue, filter, needle, biosurgery product, fibrin glue, กระโหลกศีรษะเทียม, Implantation port} Syringe, Blood bag, Duramatter (Artificial), HD machine, antiadherent product,	輸入販売
7	ALCON LABORATORIES (THAILAND) LIMITED	1996	スイス	アメリカ	1,983	eye care: surgical equipment and devices, pharmaceutical products, contact lenses and lens care products	輸入販売
8	GE MEDICAL SYSTEMS (THAILAND) LIMITED	1993	アメリカ	アメリカ	1,407	medical imaging and information technologies, medical diagnostics, patient monitoring systems, drug discovery, biopharmaceutical manufacturing technologies, performance improvement and performance solutions services	情報無し
9	MEDTRONIC (THAILAND) LIMITED	2001	アメリカ	アメリカ	1,179	Defibrillator, Automated External Defibrillation, permanent pacemaker, Mechanical Aortic Valve, Oxygenator	輸入販売
10	FRESENIUS KABI (THAILAND) LTD..	1995	ドイツ	ドイツ	1,039	blood processing system, autotransfusion system, apheresis device and disposable sets,	輸入販売

※医療機器がメイン事業ではない企業の売上には医療機器以外の事業の売上も含まれる

6. 日本・欧米企業の進出状況、ODAの状況-海外の医療機器メーカー、医療機関の医療協力状況

海外の医療機器メーカーとタイ医療機関・組織との間の協力はリストに含まれている物以外にも実際行われていると思われるが、公開されている情報は限定的である。

医療機器メーカー	主要株主国	タイ医療機関・組織	発表日付	協力内容
Siemens (Thailand)	ドイツ	Chulabhorn Hospital	2015年4月9-10日	講義テーマ: Advanced MRI of Prostate & Abdominal : From Lectures to Workshop
		Ramkhamheang Hospital	2013年7月12日	工場見学 Ramkhamheang病院グループへ低額でのSiemens製医療機器の導入支援
Philips Electronic (Thailand)	オランダ	The Cardiac Children Foundation Thailand	2014年9月5日	Echocardiography(CX50)の寄進
Abbott Laboratories	アメリカ	Theptarin Hospital	2007年11月10日	講義テーマ: 糖尿病予防策
				血糖値計Body Composition製品試し会
Medtronic (Thailand)	アメリカ	Siriraj Hospital	2013年5月27日	高技術血管形成術訓練センター (Therapy Certification Centers of Excellence : TCCE)の共同設立

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題- 日本企業にとってのビジネスチャンス タイの社会変化は日本と類似しており、日本の強みが生かせると考えられる。

少子高齢化に伴い「疾病の変化」「医療費増大」「医療の高度化」が予想される

- 日本が既に経験した社会変化であり、解決策を含めた販売戦略に繋げることでビジネスチャンスを見出せる可能性有り。タイの中でも上記課題については日本が課題先進国と認識されている。

AEC発足を見据え、タイ医療機関の周辺国進出が増加している

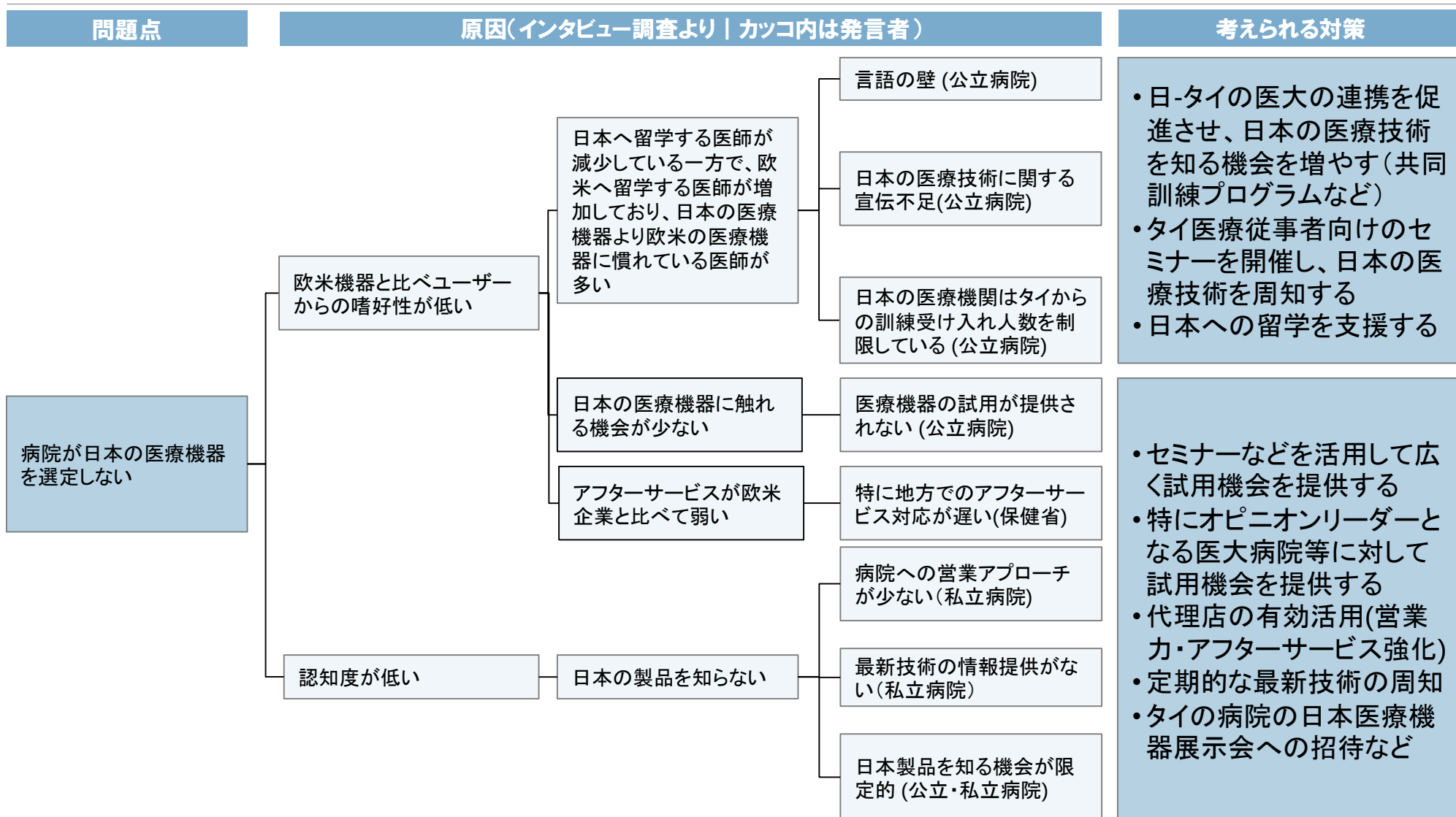
- タイの医療機関は周辺国進出を進めている。また、ASEANの中で医療に関するタイのプレゼンスは高い。タイで販売する道筋を立てることができれば、タイ医療機関のASEAN展開と共に販売地域を拡大できる。

日本留学経験医師が多く存在し、また一般的にも日本に対する好感度が高い

- 昨今は欧米への留学が増加しているが、いまだ日本へ留学する医師が一定量は存在する。彼らが日本の技術に慣れ親しみ、日本ならでの品質を求めるのであれば、日本の医療機器の力強いサポーターとなる可能性がある。

7. 日本企業のビジネスチャンスと課題- 日本医療機器の課題と提案

一方で、現在タイの病院が使っている医療機器の大半は欧米企業製。ユーザー嗜好性と製品認知度によって選定される中、日本の医療機器メーカーはやや分が悪い印象。



7. 日本企業のビジネスチャンスと課題- 日本企業にとってのビジネスチャンス タイ市場進出済み日系企業は自社営業型と現地卸委託型の2つの販売モデルがあり、 モデル別に異なる課題を抱えている。

■ 自社営業型

- 現地に販売拠点を構築し、自社のセールスリソースを用いて営業・販売を行うモデル。
- 自社販売網を持ち、タイに関する知識やネットワークを保有する企業が該当するが、現時点でこれに該当する日系医療機器メーカーは多くない。
- このような企業の課題は、更なる拡販やASEAN周辺国への拡大にあると考えられる。

■ 現地卸委託型

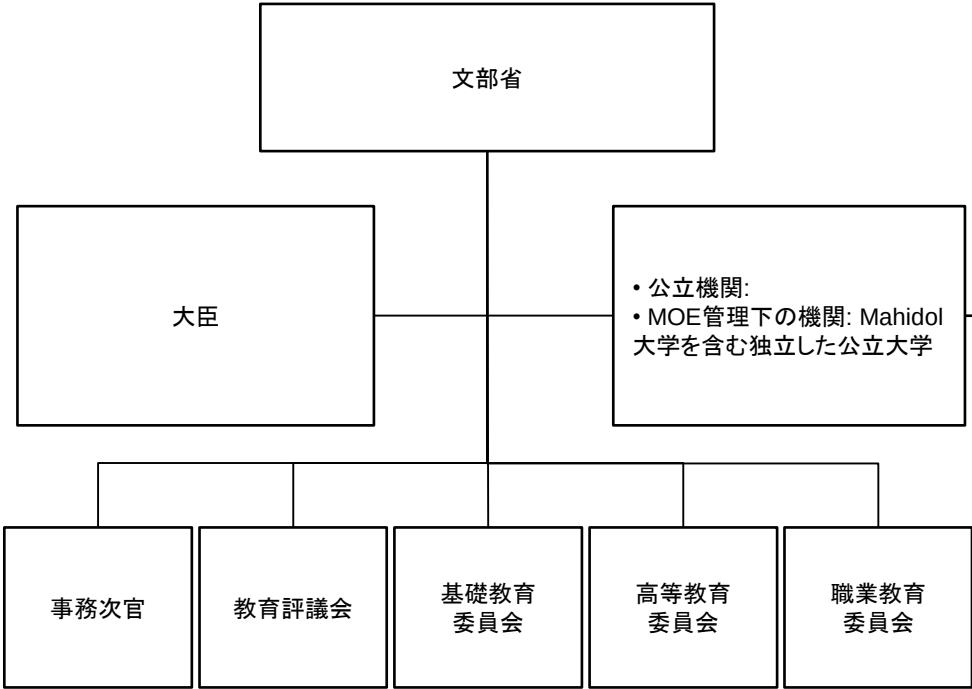
- 現地の代理店と契約をし、営業・販売を委託するモデル。
- 競争力のある製品を保有するが、自社でセールスリソースを保有するほどではない企業が多いためが多い。
- このような企業の課題は、まず現地代理店との連携強化にあると考えられる。より信頼性のある代理店の見極めなども課題となってくるであろう。
- なお、自社セールスリソースへの移行に伴う自社営業型モデルへの転換も、このような企業の課題の一つであると思われる。ただし、必ずしも全ての企業が自社営業型モデルに転換する必要はないと考えられるため、自社の戦略や保有リソースによっては、代理店を継続的に有効活用していくモデルを維持するという選択もありえる。

付録1. 主要病院の情報

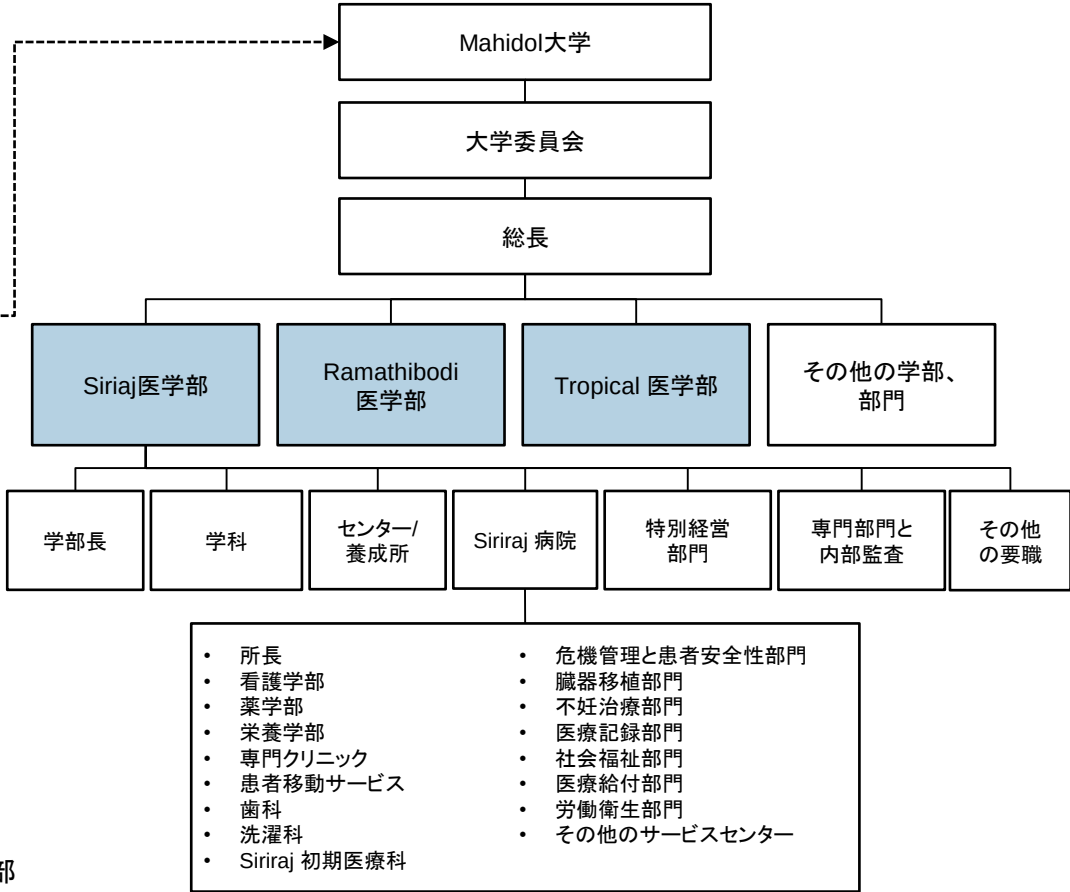
付録1. 主要病院の情報-Siriraj Hospital

公立大学は教育省の監督下にあり、Siriraj病院を傘下に抱えるMahidol大学も含まれる。

教育省の監督下にある公立大学



Mahidol大学とSiriraj医学部の組織構造



自身の病院を通して医療サービスを提供するMahidol 大学の学部

付録1. 主要病院の情報-Siriraj Hospital

Siriraj病院はMahidol大学の医学部の1つであり、タイで初めて三次医療を提供した医学
校である。

病院概要

	詳細
病院名	Siriraj Hospital
設立年	26 April 1888
病院タイプ	Medical school of Mahidol University
所在地	Faculty of Medicine Siriraj Hospital, Mahidol University 2 Wanglang Road, Bangkoknoi, Bangkok 10700

主要数値 (2013)

	数
ベッド数	2,111床
職員数	・医師および研修医 1,800人 ・登録看護師 2,994人 ・准看護師 2,163人 ・准看護師アシスタント 23人 ・管理部門 259人 ・その他 462人
外来患者数	2,878,575人
入院患者数	83,747人

財源構成 (2011-2013)

単位: 百万バーツ

	2011	2012	2013
事業収入	12,090	9,994	9,405
政府および政府予算に由来する ファンド	4,419	5,805	3,716
計	16,509	15,799	13,121

売上構成 (2011-2013)

単位: 百万バーツ

	2011	2012	2013
医療サービス	9,735	8,936	9,946
その他	480	349	572
計	10,214	9,286	10,518

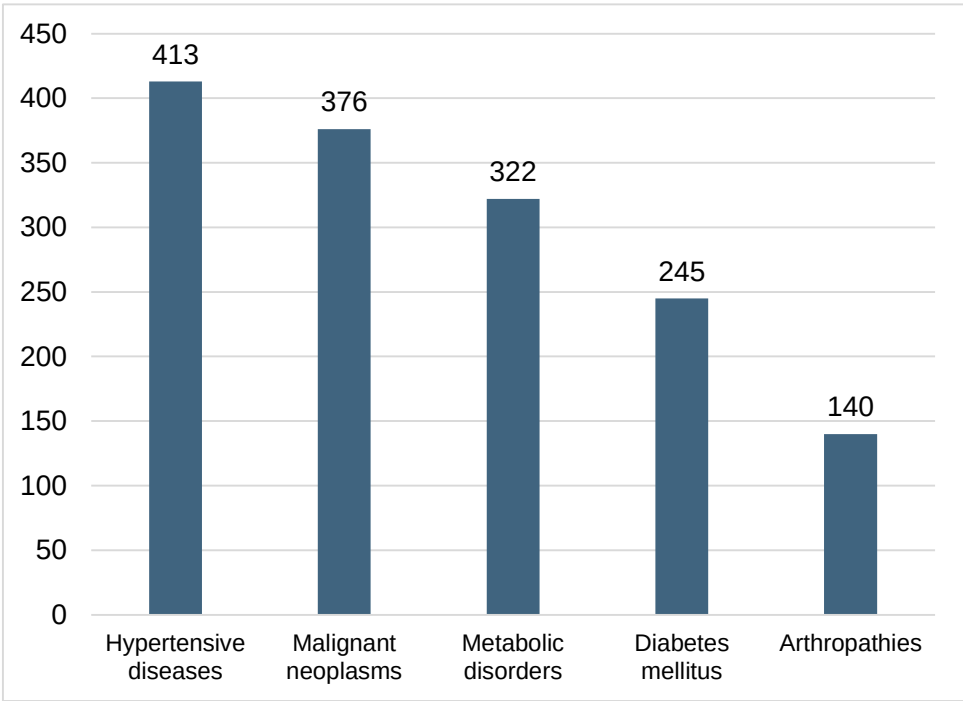
付録1. 主要病院の情報-Siriraj Hospital

外来患者の来院理由で最も多いのは高血圧である。

入院患者は癌による入院が最も多い。

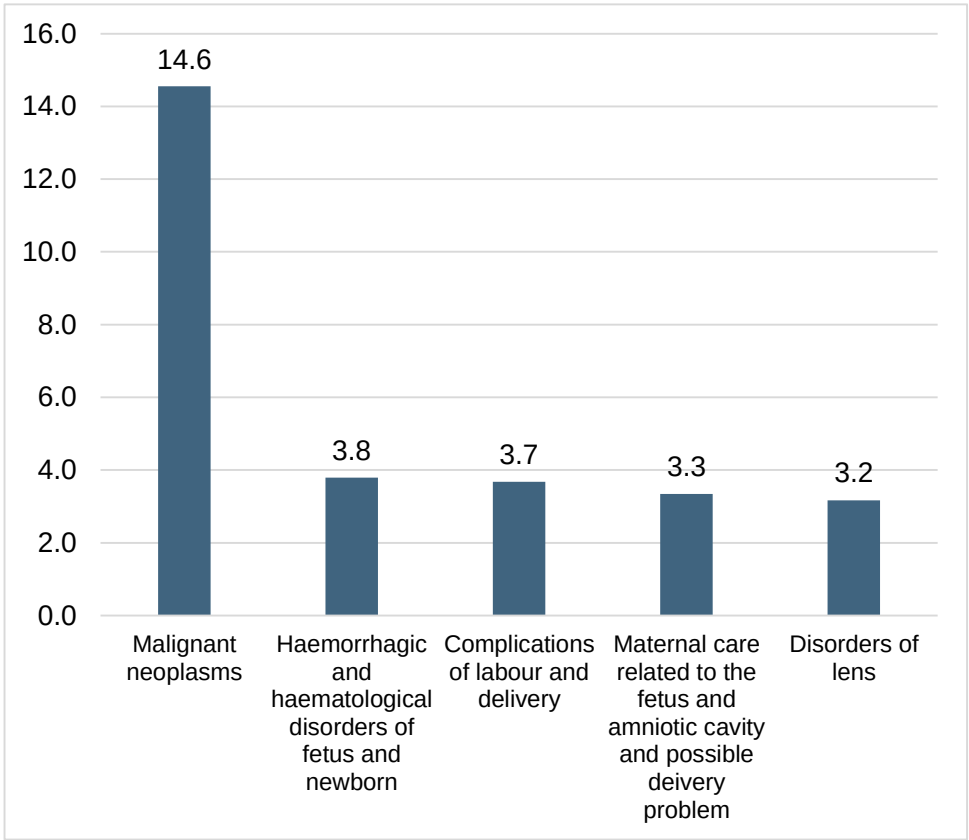
外来患者の来院理由 Top 5 (2013)

来院患者数(単位:千人)



入院患者の入院理由 Top 5 (2013)

来院患者数(単位:千人)



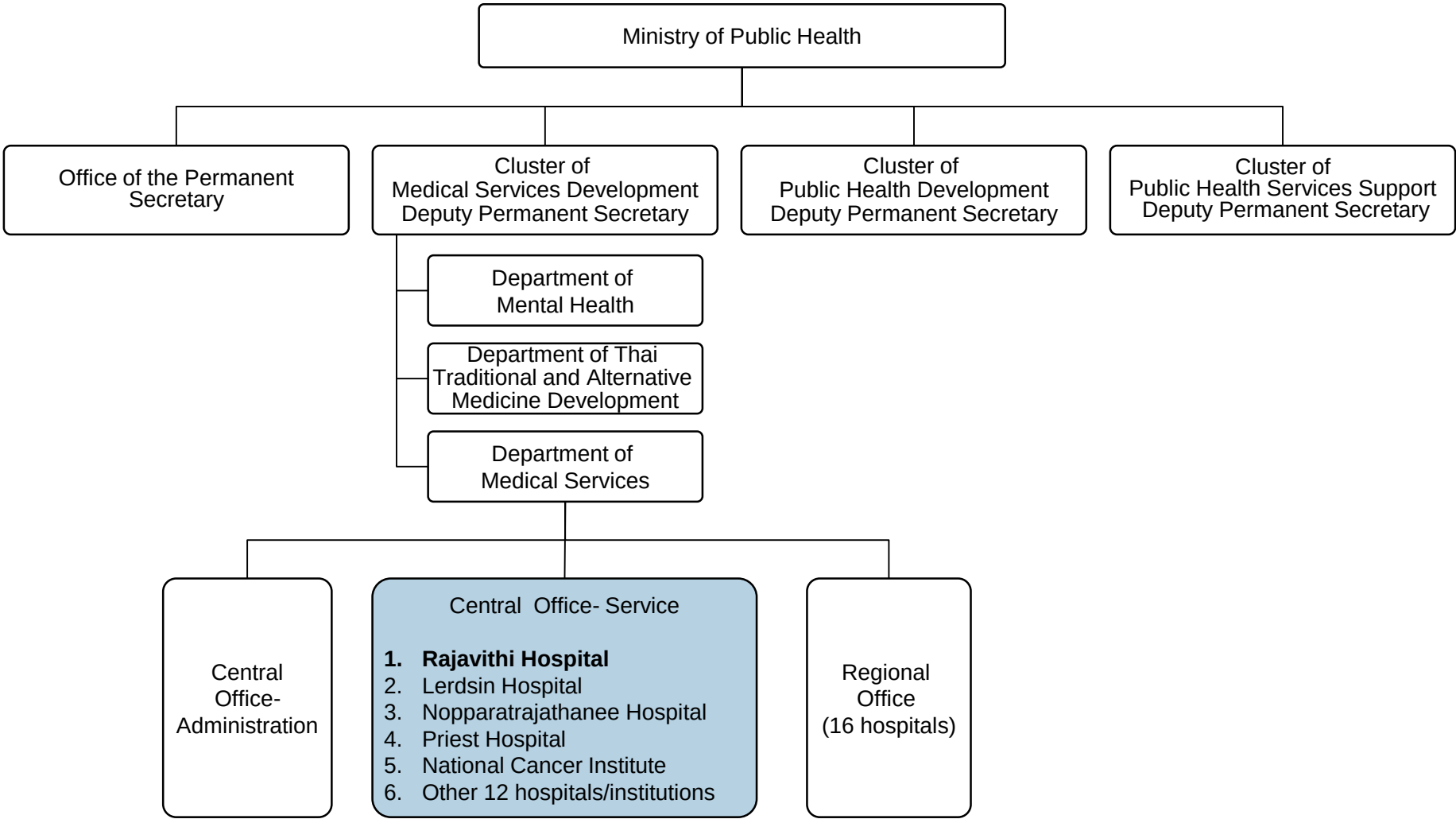
付録1. 主要病院の情報-Siriraj Hospital

Siriraj病院の他にRamathibodi病院とTropical Disease病院もMahidol大学傘下病院であり、3病院で共同購買を行う事もある。

Mahidol大学傘下医大病院情報

	Siriraj Hospital	Ramathibodi Hospital	Hospital For Tropical Disease
病床数	2,111床	1,350床	250床
設立年	1888年	1965年	1960年
設立背景	タイ初医学部として設立	タイ第2次国家経済開発計画 (1964-1966) の医療従事者増加政策に応じて設立	熱帯病専門家・専門医師の育成 (Post-Graduationのみ)
学部名	Faculty of Medicine Siriraj Hospital	Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital	Faculty of Tropical Medicine
医師免取得卒業者数 (2014年)	247人	153人	No Data
Center of Excellence	- The Heart by Siriraj - Thai-German Endoscopy - Siriraj GI Endoscopy Center - Breast Center - Organ Transplantation Center - Bone Marrow Transplantation Center - Bangkok Biomaterial Center - Siriraj Robotic Surgery Center	- Advanced Diagnostic Imaging Center - Skin Laser Center - Cardiovascular & Metabolic Center Ramathibodi Hospital - Lasik - Breast Center - Ramathibodi Poison Center - Hemodialysis Center - Cancer Center - Stroke Center - Organ and Bone Marrow Transplantation Center - Sleeping Disorder Center - Hemophilia Center - Cyber Knife Center - Neuro-intervention Center	- Department of Clinical Tropical Medicine - Department of Helminthology - Department of Medical Entomology - Department of Biology and Immunology - Department of Protozoology - Department of Social and Environmental Medicine - Department of Tropical Hygiene - Department of Tropical Nutrition and Food science - Department of Tropical Pathology - Department of Tropical Pediatrics - Department of Molecular Tropical Medicine and Genetics

Rajavithi病院は保健省医務局傘下の公立病院である。



付録1. 主要病院の情報-Rajavithi Hospital

Rajavithi病院は保健省傘下の病院の中では最大の病床数を誇る。
いくつかの公立病院が赤字となっている中で、数少ない黒字の公立病院である。

病院概要

	詳細
病院名	Rajavithi Hospital
設立年	16 April 1951
病院タイプ	Public Hospital under Department of Medical Services, Ministry of Public Health
所在地	2, Phayathai Road, Ratchathewi District, Bangkok 10400

主要数値(2013)

	数
ベッド数	1,097床
職員数	・ 医師 200人以上 ・ 看護師、専門スタッフ 800人以上 ・ その他サポートスタッフ 4,000人以上
外来患者数	934,054人
入院患者数	43,757人

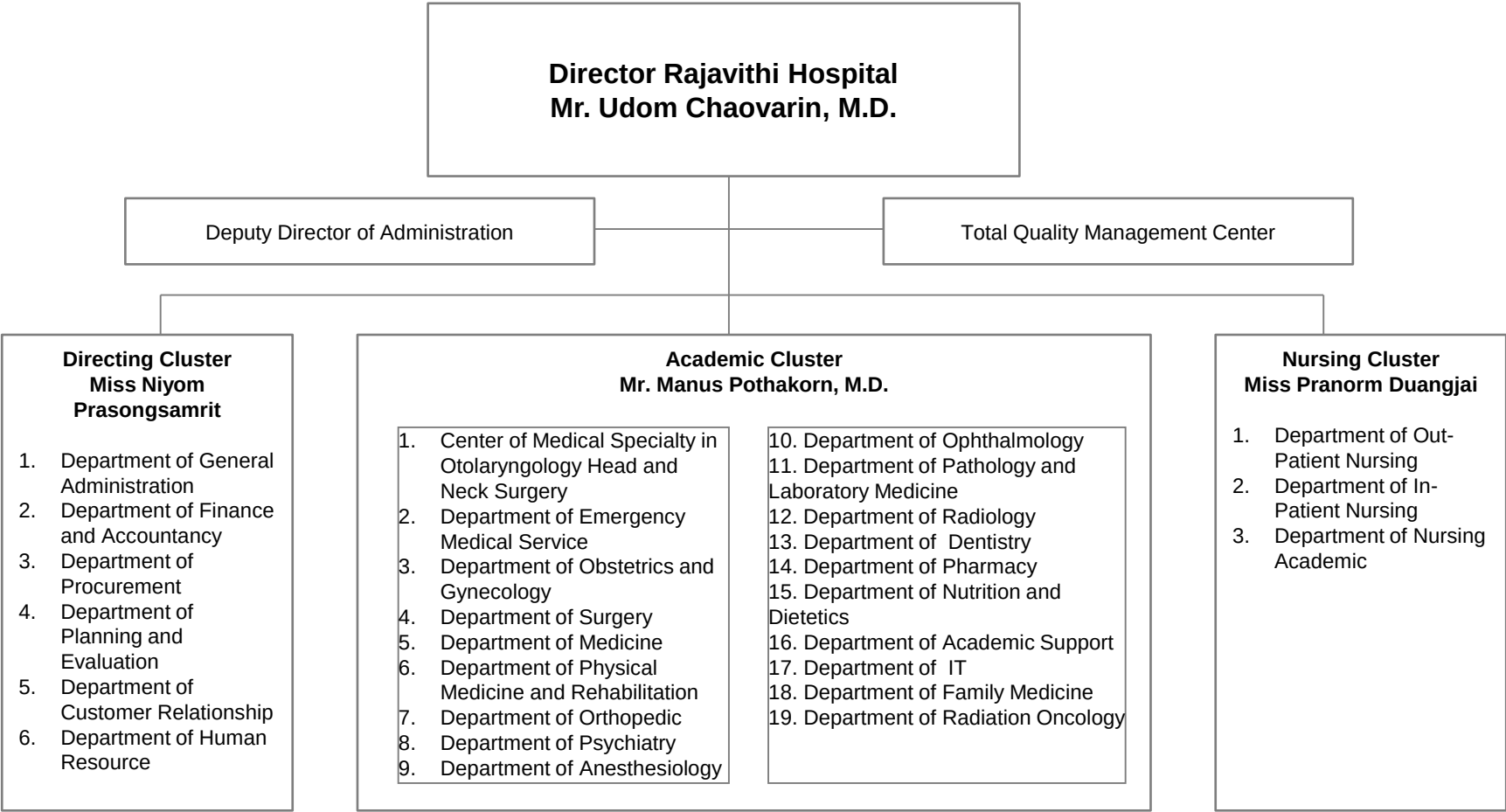
損益計算書 (2012-2013)
単位: 百万バーツ

	2012	2013
営業収入	3,869	4,231
営業収入(政府)	967	1,016
営業収入(その他収入源)	2,902	3,215
営業費用	3,331	3,632
営業利益	538	599
営業外収入(費用)	-0.1	-0.7
純利益	537	598

貸借対照表 (2012-2013)
単位: 百万バーツ

	2012	2013
総資産	7,683	8,477
流動資産	6,519	7,223
非流動資産	1,165	1,254
負債＋純資産	7,683	8,477
総負債	2,256	2,451
流動負債	364	415
非流動負債	1,892	2,036
純資産	5,427	6,025

付録1. 主要病院の情報-Rajavithi Hospital
組織はDirecting Cluster, Academic Cluster, Nursing Clusterの3つに分けられ、
調達部門はDirecting Clusterに属する。

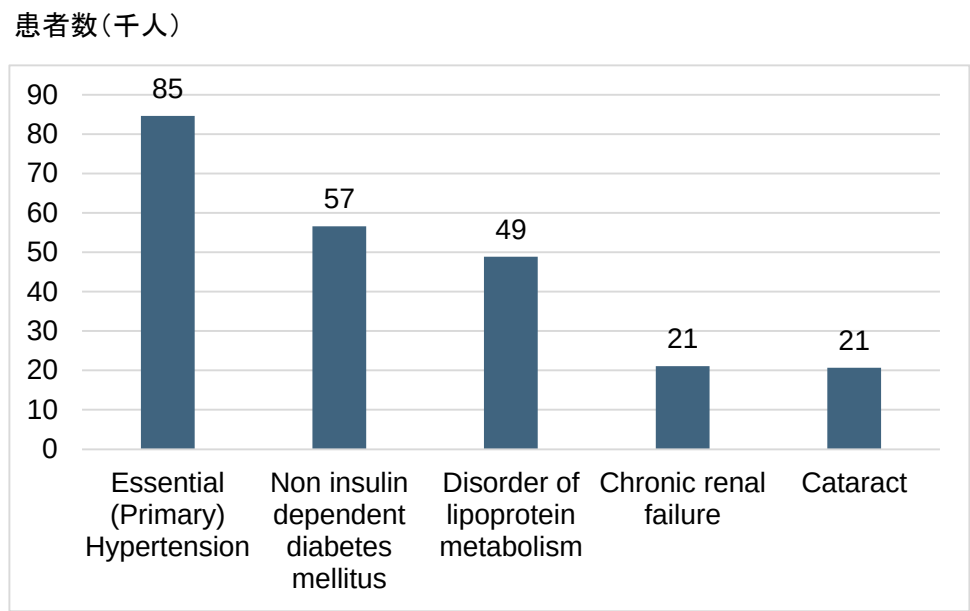


付録1. 主要病院の情報-Rajavithi Hospital

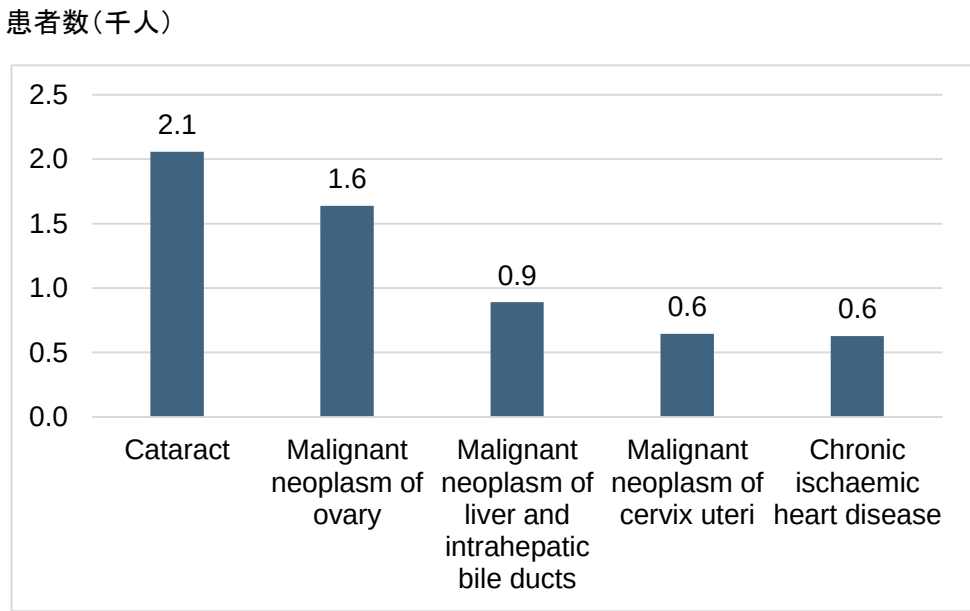
外来患者の来院理由で最も多いのは高血圧である。

入院患者は白内障による入院が最も多い。

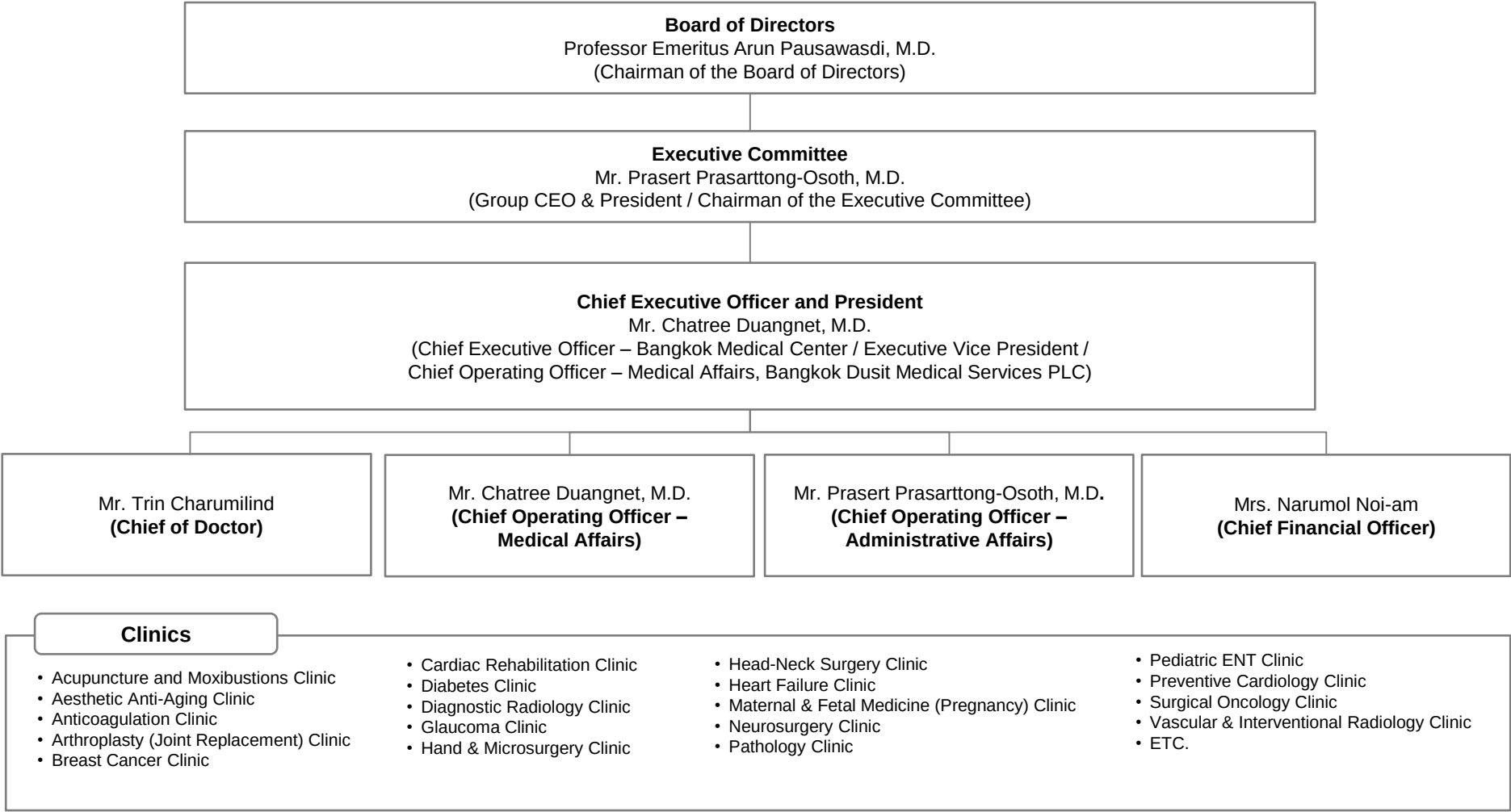
外来患者の来院理由 Top 5 (2013)



入院患者の入院理由 Top 5 (2013)



Bangkok Dusit Medical Services (BDMS) はバンコク病院を運営するグループである。



付録1. 主要病院の情報-Bangkok Dusit Medical Services Group

BDMSは傘下に5つの病院グループを抱えており、4つはタイ国内、1つはカンボジアで展開している。

- BDMSの主要事業は病院事業であり、2014年時点でグループ全体で37病院を運営している。また、4病院にマイノリティ出資を行っている。

病院事業

BDMSグループがマジョリティ出資・運営も行う病院

- Bangkok Hospital Group (19 hospital)
- Samitivej Hospital Group (4 hospital)
- Phyathai Hospital Group (5 hospitals)
- Paolo Memorial Hospital Group (3 hospitals)
- Royal Hospital Group (2 hospitals in Cambodia)
- BNH Hospital (1 hospital)
- Other hospitals (2 hospitals in Nakhon Pathom and 1 hospital in Phuket)

BDMSグループがマイノリティ出資・運営は行わない病院

- Ramkamhaeng Hospital. (38.2% shareholding)
- Bamrungrad Hospital. (23.9% shareholding)
- Aek Udon International Hospital (25.1% shareholding)
- Muang Ratch Hospital (25.0% shareholding)

その他医療サービス関連事業

- 生理食塩水・医療機器製造
- ドラッグストア(Save Drug)
- 検査ラボ、シェアードサービス
- 生物分子ラボ
- グループ内向けIT
- 医療救助
- グループ内向け販売促進
- グループ内向けケータリング
- 健康保険
- カンボジアにおける土地保有
- 医療スタッフ訓練
- 等

付録1. 主要病院の情報-Bangkok Dusit Medical Services Group
BDMSグループは幅広い国籍の患者にサービスを提供している。
日本人向けには日本語を解する医師が常駐し、診療にあたっている。

企業概要

	詳細
企業名	Bangkok Dusit Medical Services PCL
設立年	03 January 1994
資本金	1,650 百万バーツ
事業内容	Hospital activities
所在地	2 Soi Soonvijai 7, New Petchaburi Road, Bangkok, Huay Kwang Bangkok
投資奨励業種区分	Hospital

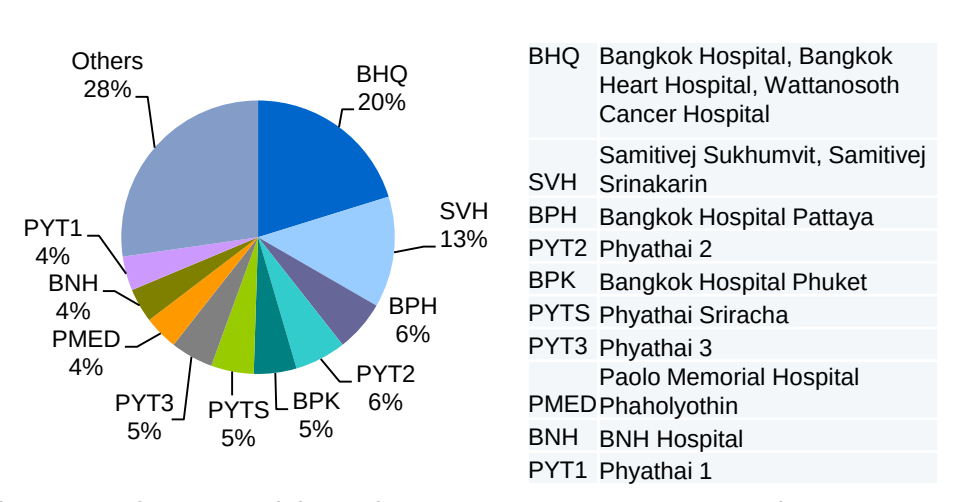
主要株主 (Main shareholders)

株主名	株式保有割合	国籍	保有株式数
Mr. Prasert Prasarttong-Osoth	19.11%	THAI	2,960,930,240
Mr. Wichai Thongtaeng	6.71%	THAI	1,039,916,550
Bangkok Airways PCL	6.51%	THAI	1,008,418,690
The Viriyah Insurance PCL	6.12%	THAI	948,283,830
Miss Poramaporn Prasarttong-Osot	2.71%	THAI	419,705,980

主要数値

	2013	%	2014	%
医業収入 (百万バーツ)	49,170.00	100%	54,341.00	100%
外来／入院別				
外来収入 (百万バーツ)	22,126.50	45%	24,453.45	45%
入院収入 (百万バーツ)	27,043.50	55%	29,887.55	55%
国別				
タイ人患者収入	35,402.40	72%	39,125.52	72%
外国人患者収入	13,767.60	28%	15,215.48	28%
一日当たり外来患者数	21,960	100%	24,050	100%
タイ人外来患者数	19,256	88%	21,187	88%
外国人外来患者数	2,704	12%	2,863	12%

病院別医業収入 (2014)



付録1. 主要病院の情報-Bangkok Dusit Medical Services PCL

BDMSの売上・純利益は2013年まで順調に増加してきたが、2014年は人件費の上昇に伴い、純利益は若干の減少となった。

損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

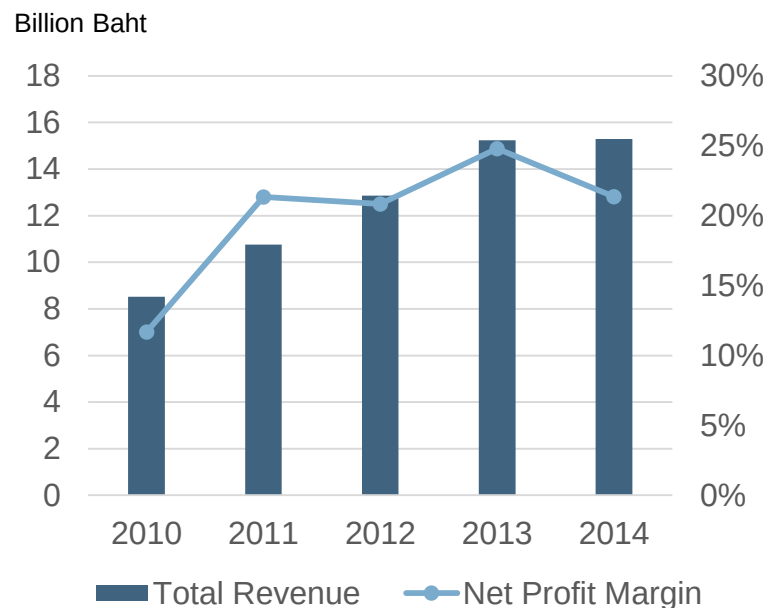
	2010	2011	2012	2013	2014
売上	8,520	10,760	12,856	15,243	15,294
原価	4,173	5,479	6,370	6,935	7,269
粗利益	3,047	2,780	3,632	3,997	4,484
営業利益	1,120	477	792	604	979
純利益	996	2,297	2,678	3,782	3,269

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

	2010	2011	2012	2013	2014
総資産	22,750	41,214	50,456	55,033	66,919
流動資産	3,630	2,903	2,855	3,676	6,375
非流動資産	19,121	38,311	47,601	51,356	60,544
負債+純資産	22,750	41,214	50,456	55,033	66,919
総負債	13,533	15,151	24,356	27,725	38,550
流動負債	6,209	3,614	8,546	8,672	10,598
非流動負債	7,324	11,538	15,810	19,054	27,952
純資産	9,218	26,062	26,100	27,307	28,370

財務ハイライト



付録1. 主要病院の情報-Bangkok Hospital

BDMS傘下には、タイ最大の私立病院の1つであるバンコク病院が存在。

病院概要

	詳細
病院名	Bangkok Hospital
設立年	3 January 1994
資本金	1,650 百万バーツ
主要事業	Hospital activities
所在地	2 Soi Soonvijai 7, New Petchaburi Road, Bangkok, Huay Kwang Bangkok

BDMS直営の他病院

	病床数
Bangkok Heart Hospital	97
Wattanosoth Hospital (Bangkok Cancer Hospital)	48
Bangkok Hospital Hua Hin	60
Bangkok Hospital China Town	59

ファクトシート

	詳細
病床数 (2013年)	• 343床※1
職員数 (2007年)	• フルタイム医師 215人 • パートタイム医師 322人 • フルタイム歯科医 34人 • パートタイム歯科医 52人 • 看護師 549人 • 薬剤師 61人
外来患者数 (2007年)	• 613,329人
入院患者数 (2007年)	• 23,057人
認証	• JCI • AHMA • EURAMI • HA of Thailand • TEMOS
外国人患者向けサービス	• Japanese Medical Service • Arab Medical Services • Myanmar Medical Services • Bangladesh Medical Services • International Medical Services

※1 左記直営病院は含まず。バンコク病院のみ

付録1. 主要病院の情報-Vejthani Hospital

Vejthani病院は263床の私立病院であり、40カ国から外国人患者を受け入れている。

企業概要

	詳細
企業名	Vejthani Public Company Limited
設立年	13 October 1993
資本金	342 百万バーツ
主要事業	Hospital Activities
所在地	1 Soi Ladprao 111, Ladprao Rd., Bangkok, Bangkok 10240
投資奨励業種区分	Hospital

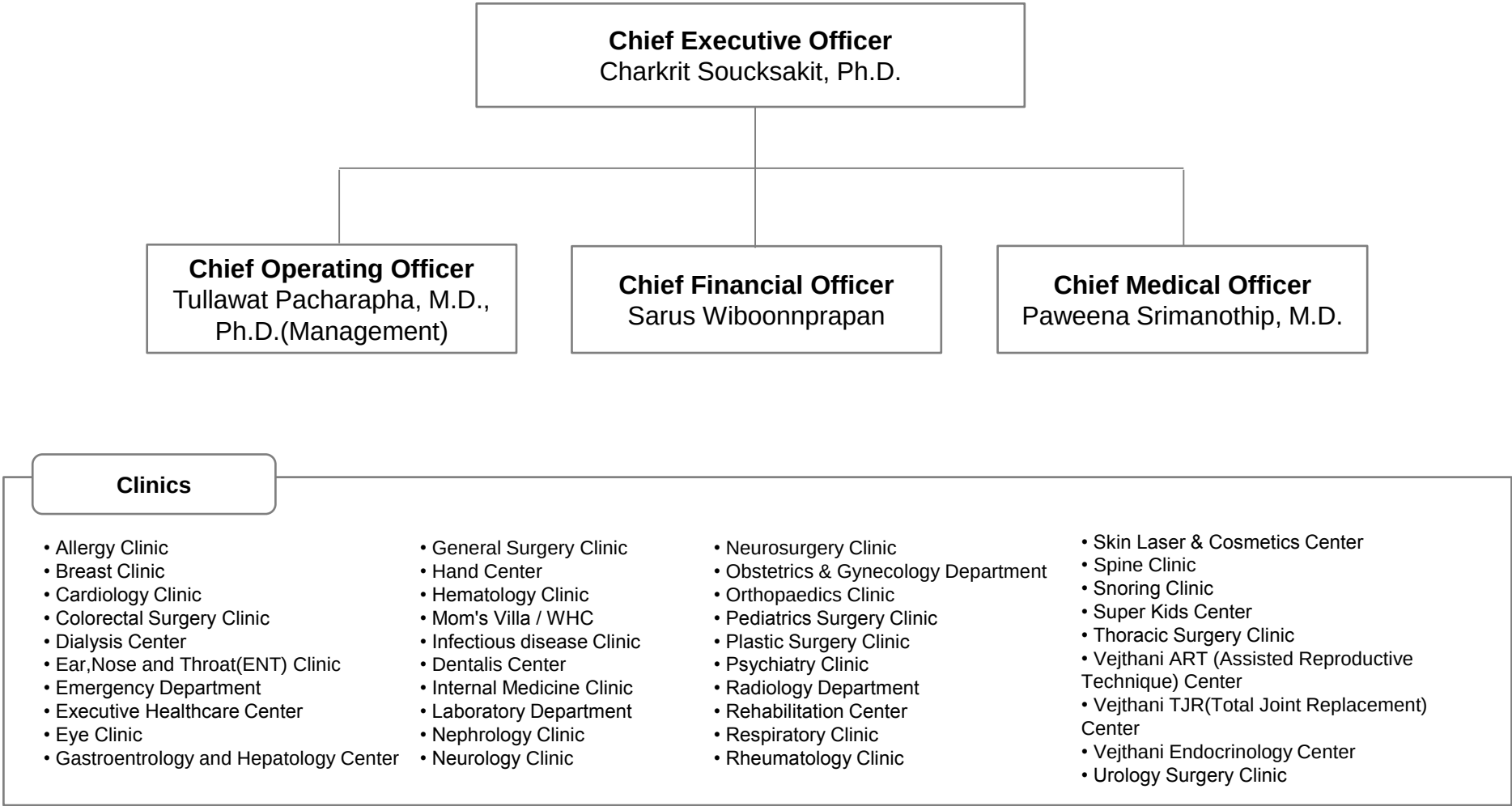
主要株主

株主名	株式保有割合	国籍	保有株式数
MINORITY INTEREST (THAI)	90.45%	THAI	244,528,555
Mr. Chakhrit Sueksakij	3.29%	THAI	8,882,100
Kumpulan Perubatan (Johor) Sdn Bhd	2.96%	MALAYSIAN	8,000,000
Mrs. Suda Tanthasethi	1.96%	THAI	5,289,999

ファクトシート

	詳細
病床数 (2015年)	263床
職員数 (2015年)	• フルタイム 700人以上 • 外科医・歯科医 300人以上 • 看護師 200人以上
外来患者数 (2007年)	459,304人
入院患者数 (2007年)	13,971人
認証	JCI
専門領域	Total Joint Replacement Surgery, Plastic Surgery, Dental, Skin & Laser Treatment, Spine Surgery, Hand & Shoulder Surgery, Gastro-Intestinal Disorder, Infertility Treatment (ART), Urology, Abdominal Surgery, Colorectal Surgery, Obstetrics & Gynecology, Medical Check up
外国人患者向けサービス	• 通訳 • 送迎 • 国際健康保険連携

Vejthani病院の組織はOperation, Finance, Medical Officeの3つに分かれる。



付録1. 主要病院の情報-Vejthani Hospital

Vejthani病院の売上は2013年まで増加してきたが、2014年は微減となった。

損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

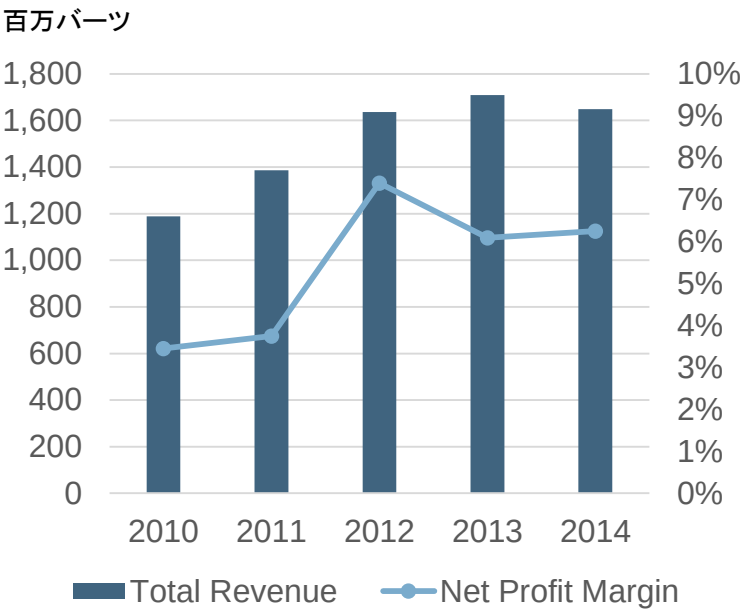
	2010	2011	2012	2013	2014
売上	1,189	1,386	1,636	1,709	1,648
原価	783	888	1,012	1,087	1,074
粗利益	384	474	570	563	517
営業利益	64	85	136	103	93
純利益	41	52	121	104	103

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

	2010	2011	2012	2013	2014
総資産	1,546	1,583	1,631	1,702	1,710
流動資産	223	208	285	334	423
非流動資産	1,323	1,375	1,346	1,368	1,287
負債+純資産	1,546	1,583	1,631	1,702	1,710
総負債	852	813	771	811	758
流動負債	276	293	326	386	419
非流動負債	576	520	444	425	339
純資産	694	770	860	891	951

財務ハイライト



付録2. タイ進出済み日本企業の情報

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Nipro (Thailand) Corporation Limited 会社情報

会社情報

会社名	Nipro (Thailand) Corporation Limited
設立日	01 April 1988
上場	-
資本金	2,600 百万 Baht
事業区分(商務省登録)	医療機器の製造および販売
住所	10/2 M.8 Bang Nom Kho, Sena, Phra Nakhon Si Ayutthaya 13110
BOI奨励	-
ビジョン	To strive earnestly to create new value from a “user-focused” unwavering attitude of how to contribute to medical services on a global scale.
所属協会/組織	情報無し

主要株主

名前	国籍	シェア	持分(MB)
Nipro Corporation Co., Ltd.	JAPANESE	99.99%	2,599.99

取締役

No	名前
1	Mr. Kiyotaka Yoshioka
2	Mr. Yoshiharu Yonemori
3	Mr. Khimihito Minoura
4	Mr. Yoshihiko Sano
5	Mr. Kazuo Wakasuki
6	Mr. Khiaoesue Kobayashi

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況
Nipro (Thailand) Corporation Limited 会社情報

損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

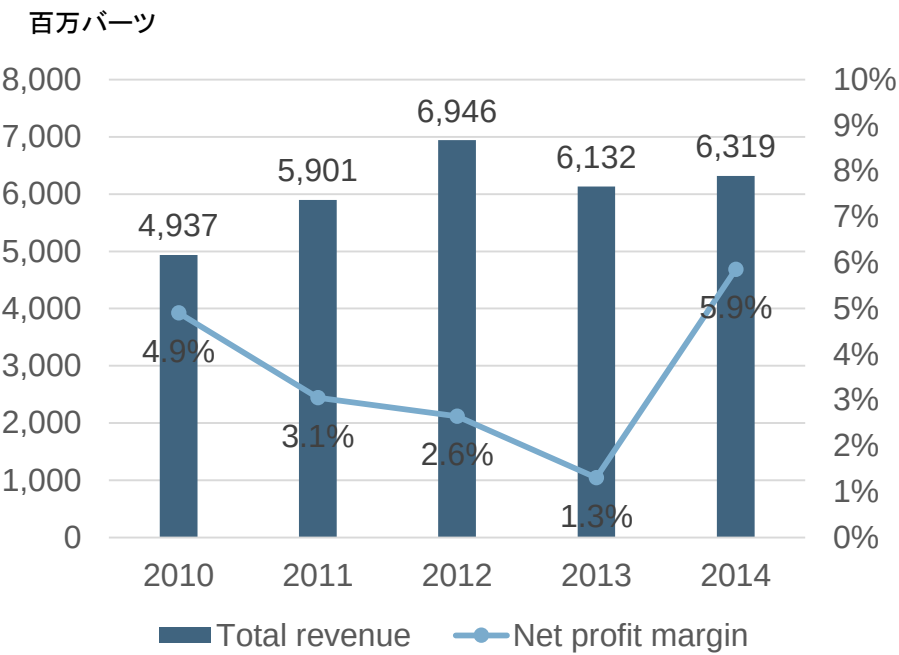
Items	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	4,937	5,901	6,946	6,132	6,319
売上原価	4,420	4,749	5,552	5,778	5,719
売上総利益	508	1,143	1,328	315	571
営業利益	362	263	257	92	414
純利益	242	180	182	79	368

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

項目	2010	2011	2012	2013	2014
流動資産	1,901	3,167	3,346	2,469	2,791
固定資産	4,886	5,061	4,661	4,220	3,892
総資産	6,788	8,228	8,007	6,689	6,683
流動負債	1,799	3,042	2,628	1,211	878
固定負債	13	47	59	77	101
純資産	4,975	5,138	5,320	5,400	5,704
負債および純資産	6,788	8,228	8,007	6,689	6,683

財務ハイライト



付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Kawasumi Laboratories (Thailand) Co., Ltd 会社情報

会社情報

会社名	Kawasumi Laboratories (Thailand) Co., Ltd.
設立日	23 March 1978
上場	-
資本金	235 百万バーツ
事業区分(商務省登録)	医療機器の製造および販売
住所	55/26 M.13 Navanakorn Industrial Estate Phahon Yothin Km.46 Rd. Khlong Nung, Khlong Luang, Pathum Thani 12120
BOI奨励	医療機器製造
ビジョン	"Aspiring for human happiness worldwide through medical care"
所属協会/組織	情報無し

主要株主

名前	国籍	シェア	持分(MB)
Kawasumi Laboratory Co., Ltd.	JAPANESE	99.50%	234.84

取締役

No	名前
1	Mr. Tadatochi Ota
2	Mr. Somsak Suttisoontaeis
3	Mrs. Chittima Dejnarong
4	Mr. Yukihiro Kawano
5	Mr. Jatuporn Nuangjamnong
6	Mr. Kimikazoo Takeo
7	Mr. Michio Yoshida
8	Mr.Norio Shirahama
9	Mr.Hisatoki Yamaoka

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Kawasumi Laboratories (Thailand) Co., Ltd

会社情報

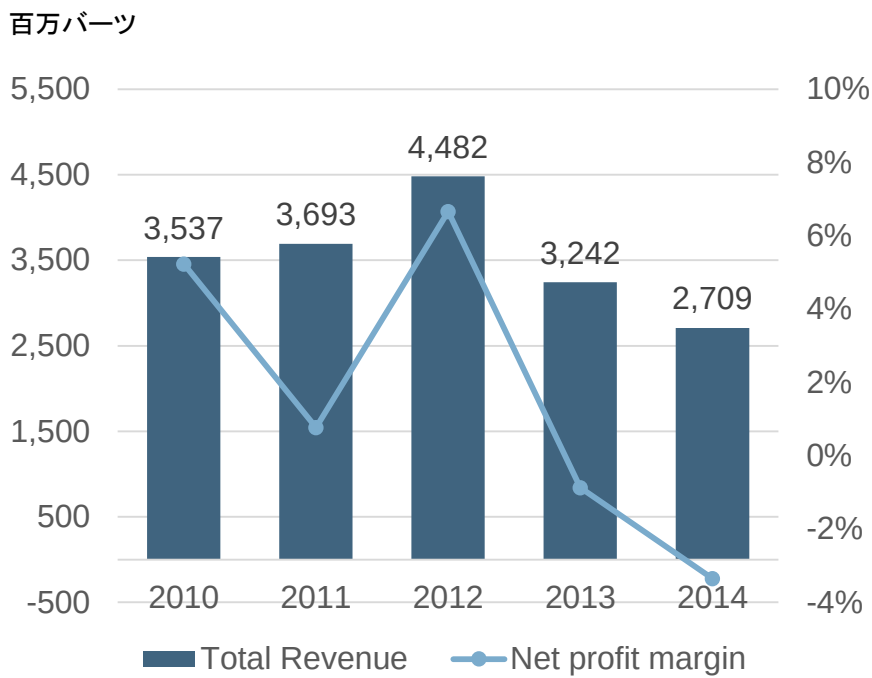
損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ					
Items	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	3,537	3,693	4,482	3,242	2,709
売上原価	3,110	3,445	3,268	2,845	1,997
売上総利益	376	208	-38	-164	-170
営業利益	175	158	-188	-318	-501
純利益	182	28	215	-23	-61

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ					
項目	2010	2011	2012	2013	2014
流動資産	1,647	1,424	2,130	1,533	1,617
固定資産	2,149	1,976	1,706	2,382	2,295
総資産	3,796	3,400	3,835	3,915	3,911
流動負債	634	478	664	800	573
固定負債	417	147	181	146	431
純資産	2,745	2,776	2,991	2,969	2,907
負債および純資産	3,796	3,400	3,835	3,915	3,912

財務ハイライト



付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Terumo (Thailand) Co., LTD 会社情報

会社情報

会社名	Terumo (Thailand) Co., LTD
設立日	07 June 1994
上場	-
資本金	100百万バーツ
事業区分(商務省登録)	医療機器卸売り
住所	54B.b. Building Bldg.12 Fl. Asok (sukhumvit 21) Rd. Khlong Toei Nua, Vadhana, Bangkok 10110
BOI奨励	無し
ビジョン	• Contributing to Society Through Healthcare • Expanding the reach of our global technology • Introducing more people-friendly products • Making home health care easier and more comfortable
所属協会/組織	タイ医療機器技術協会

主要株主

名前	国籍	シェア	持分 (MB)
Terumo Asia Holdings PTE. LTD.	SINGAPOREAN	100%	30.62

取締役

No	名前
1	Mr. Somsak Jarasviriyakul
2	Mr. Naoyoshi Kitakawa
3	Mr. Akihiro Imada

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況
Terumo (Thailand) Co., LTD 会社情報

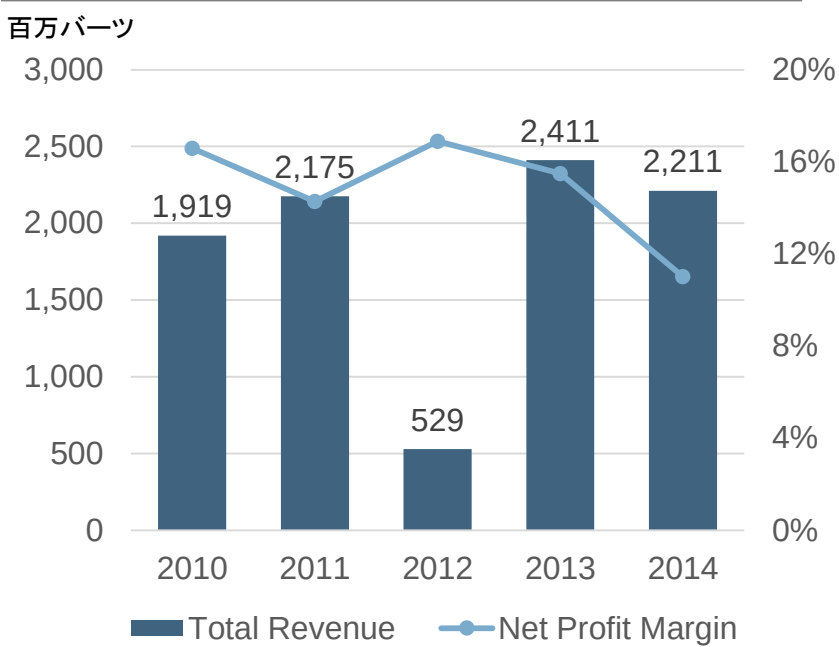
損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ					
Items	2010	2011	2012*	2013	2014
売上高	1,919	2,174	529	2,411	2,211
売上原価	1,281	1,500	360	1,697	1,644
売上総利益	607	672	159	689	562
営業利益	415	467	106	458	355
純利益	313	310	87	369	243

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ					
項目	2010	2011	2012*	2013	2014
流動資産	1,252	1,408	1,589	1,380	1,373
固定資産	59	59	60	90	89
総資産	1,312	1,467	1,650	1,470	1,462
流動負債	764	858	952	738	781
固定負債	0	19	20	24	26
純資産	546	589	677	707	654
負債および純資産	1,312	1,467	1,650	1,470	1,462

財務ハイライト



*Note: Fiscal year changed from December in 2010-11 to March from 2012

付録2. タイ進出済み日本企業の情報－ 日本企業の参入状況 Olympus (Thailand) Co., Ltd. 会社情報

会社情報

会社名	Olympus (Thailand) Co., Ltd.
設立日	23 November 1999
上場	-
資本金	210 百万バーツ
事業区分(商務省登録)	医療機器小売
住所	33/4 The Nineth Tower Grand Rama IX (A) Bldg. 32-33 Fl. Rama IX Rd. Huai Khwang, Huai Khwang, Bangkok 10310
BOI奨励	Trade and Investment Support Office
ビジョン	Manufacturing a truly world-class microscope.
所属協会/組織	タイ医療機器技術協会

主要株主

名前	国籍	シェア	持分(MB)
Olympus Corporation of Asia Pacific Limited	HONG KONG	99.99%	209.99

取締役

No	名前
1	Mr. Naoshi Kikumoto
2	Mr. Akihiro Nambu
3	Mr. Chincho Ikeda
4	Mr. Akio Mimota

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況 Olympus (Thailand) Co., Ltd. 会社情報

損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

Items	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	352	479	618	1,377	1,330
売上原価	176	234	318	825	770
売上総利益	172	242	295	526	539
営業利益	52	83	110	122	695
純利益	37	51	76	106	52

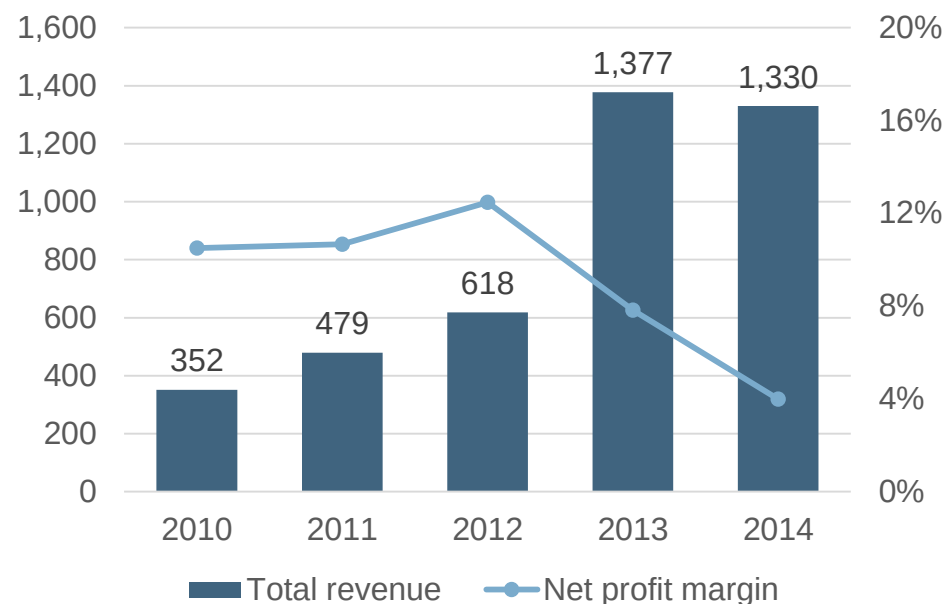
貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

項目	2010	2011	2012	2013	2014
流動資産	215	316	463	647	640
固定資産	49	56	60	96	153
総資産	264	372	523	743	793
流動負債	91	148	131	281	265
固定負債	-	-	3	5	19
純資産	173	224	390	457	509
負債および純資産	264	373	524	743	793

財務ハイライト

百万バーツ



付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Mizuho (Thailand) Co., Ltd. 会社情報

会社情報

会社名	Mizuho (Thailand) Co., Ltd
設立日	16/ July 2007
上場	-
資本金	80百万バーツ
事業区分(商務省登録)	Manufacture of medical instruments and supplies
住所	40/38 M.5 Uthai, Uthai, Phra Nakhon Si Ayutthaya 13210
BOI奨励	Operation Table; Sub Assembly Parts of Operation
ビジョン	To become a true global corporation capable of flexibly rising to the challenges of our ever-changing world.
所属協会/組織	情報無し

主要株主

名前	国籍	シェア	持分(MB)
Mizuho Ikakogyo Co., Ltd.	JAPANESE	99.91%	79.93

取締役

No	名前
1	Mr. Toru Nemoto
2	Mr. Takashi Nemoto
3	Mr. Yoshiaki Khono
4	Mr. Hiroshi Nemoto
5	Mr. Daihashi Nojiri

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況 Mizuho (Thailand) Co., Ltd. 会社情報

損益計算書 (2010-2014)

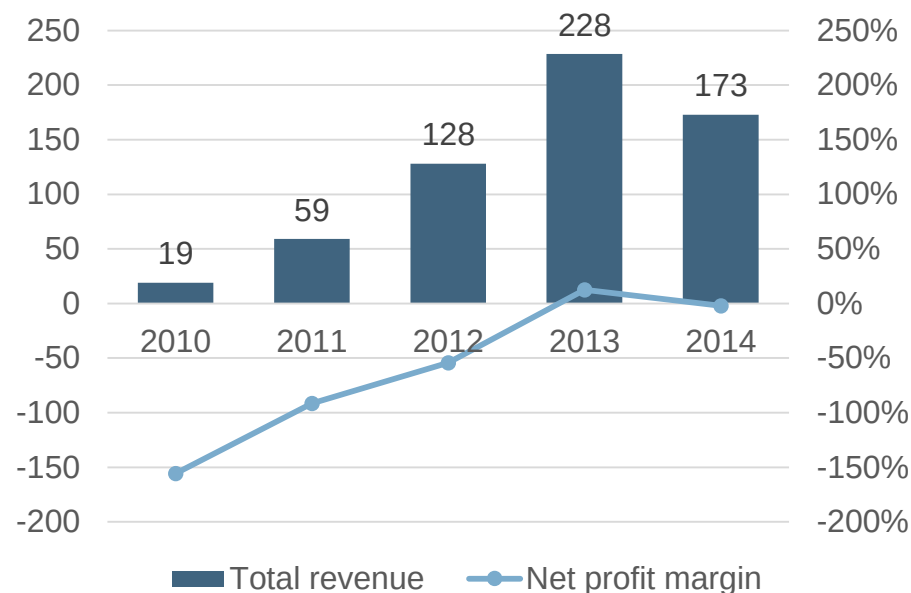
単位: 百万バーツ					
Items	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	19	59	128	228	173
売上原価	30	70	106	178	150
売上総利益	-10	-11	11	-10	2
営業利益	-30	-33	-11	-37	-22
純利益	-30	-54	-63	21	-3

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ					
項目	2010	2011	2012	2013	2014
流動資産	71	89	134	94	109
固定資産	47	40	47	43	38
総資産	118	130	180	137	147
流動負債	45	57	129	104	132
固定負債	110	164	206	168	152
純資産	-38	-92	-155	-134	-137
負債および純資産	118	130	180	138	148

財務ハイライト

百万バーツ



付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Omron Healthcare (Thailand) Company Limited 会社情報

会社情報

会社名	Omron Healthcare (Thailand) Company Limited
設立日	09 July 2012
上場	-
資本金	30百万バーツ
事業区分(商務省登録)	Retail sale of watches, eyeglasses and photographic equipment in specialized stores
住所	195 Empire Tower Bldg.24 Fl. Room. 2411 South Sathorn Rd. Yannawa, Sathorn, Bangkok 10120
BOI奨励	-
ビジョン	To contribute to healthy and better lifestyle through enhancing customer satisfaction.
所属協会/組織	Member of Thai Medical Device Technology Industry Association
その他	The recent agreement signed in mid-2015 between DKSH Business Unit Healthcare and Omron Healthcare, Inc., means that DKHS now provide marketing, sales as well as distribution and logistics services for Omron Healthcare in pharmacies and personal care stores in Malaysia and Thailand.

主要株主

名前	国籍	シェア	持分 (MB)
Omron Healthcare Singapore PTE LTD.	SINGAPOREAN	99.99%	29.99

取締役

No	名前
1	Mr.Toru Oseki
2	Mr. Kazuhide Condo
3	Mr. Hose Maria Salasa Sanchez

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Omron Healthcare (Thailand) Company Limited 会社情報

損益計算書 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

Items	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	-	-	-	0	112
売上原価	-	-	-	0	75
売上総利益	-	-	-	0	37
営業利益	-	-	-	-11	1
純利益	-	-	-	-11	1

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ

項目	2010	2011	2012	2013	2014
流動資産	-	-	-	17	49
固定資産	-	-	-	1	2
総資産	-	-	-	19	51
流動負債	-	-	-	0	31
固定負債	-	-	-	0	0
純資産	-	-	-	18	19
負債および純資産	-	-	-	19	51

*Note: 情報無し displayed in 2010-2012 as the company established in July 2012

オムロングループ グローバル製造拠点

- 松坂工場 – 戦略的生産拠点
 - ・ オムロンヘルスケアグループの主要工場として、医療機器やキーデバイスを生産。精密加工技術と品質管理を自動化することにより、迅速、高品質、安定供給を目指している。
- 大連工場(中国) – 全世界向け生産工場
 - ・ 全ての製品の約60%を生産。血圧計など10以上の製品が数百万単位で生産されている。
- ベトナム工場 – 家庭用血圧計の新生産拠点
 - ・ 家庭用血圧計の新たな生産拠点として2007年12月に設立。2012年4月稼動。

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況
Paramount Bed (Thailand) Co.,Ltd. 会社情報

会社情報

会社名	Paramount Bed (Thailand) Co.,Ltd
設立日	22 October 2010
上場	-
資本金	4 百万バーツ
事業区分(商務省登録)	Wholesale of household furniture
住所	924 Talomsin Bldg. 5 Fl. Rama III Rd. Bang Pong Pang, Yan Nawa, Bangkok 10120
BOI奨励	-
ビジョン	We provide Health-care products and service to improve environment of Customers and Users in Hospital, Nursing home and Home care with "KAIZEN" mind.
所属協会/組織	No information

主要株主

名前	国籍	シェア	持分(MB)
Paramount Bed Co., Ltd.	JAPANESE	49.00%	1.96
SMBC Management Service Co., Ltd.	THAI	19.00%	0.76
MHCB Consulting (Thailand) Co., Ltd.	THAI	16.00%	0.64
SBCS Co., Ltd.	THAI	16.00%	0.64

取締役

No	Name
1	Mr. Tomohiko Kimura
2	Mr. Masaru Yamashita
3	Mr. Masaki Kobayashi
4	Mr. Riawjiro Kato

付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Paramount Bed (Thailand) Co.,Ltd. 会社情報

損益計算書 (2010-2014)

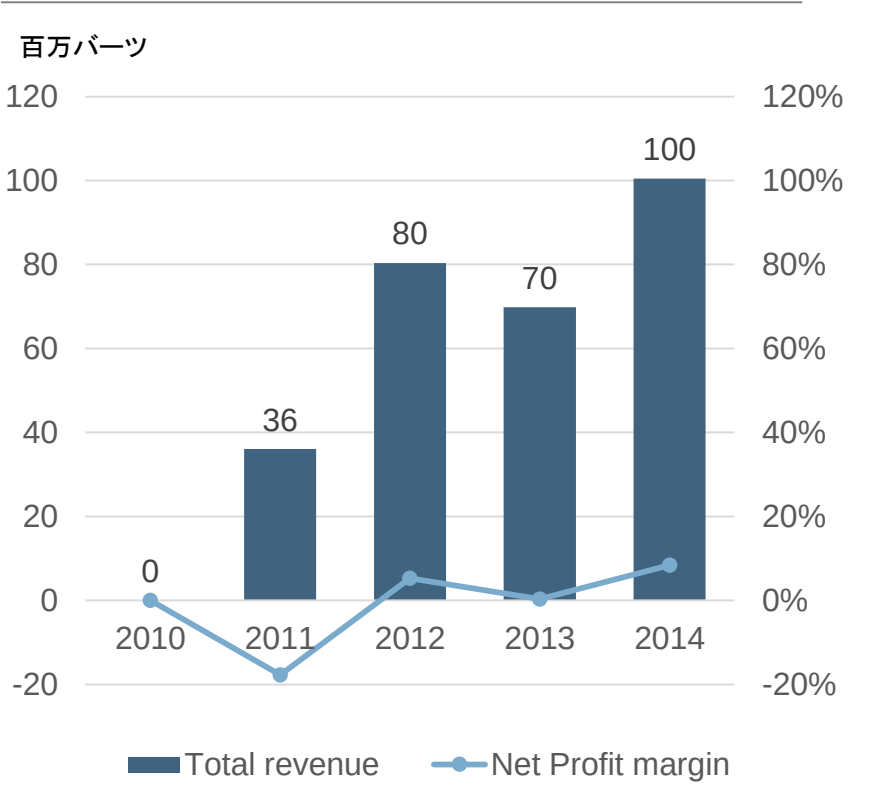
単位: 百万バーツ					
Items	2010*	2011	2012	2013	2014
Total revenue	0	36	80	69	100
Cost of sales /services	-	29	62	47	66
Gross profit (loss)	-	6	14	22	33
Operating income (loss)	-2	-5	1	3	9
Net income (loss)	-2	-6	4	0	8

貸借対照表 (2010-2014)

単位: 百万バーツ					
項目	2010*	2011	2012	2013	2014
流動資産	1	21	38	37	50
固定資産	0	1	1	0	1
総資産	1	22	39	37	52
流動負債	2	21	34	24	30
固定負債	-	7	7	13	13
純資産	-0	-6	-2	-0	8
負債および純資産	1	22	39	37	52

*Note: Data in 2010 only covers 2 months after it started operation

財務ハイライト



付録2. タイ進出済み日本企業の情報- 日本企業の参入状況

Nakashima Medical Technical Centerは100%日本からの資本を受け、人工関節の開発とデザインセンターを目指す。

Company profile

Item	Detail
Company name	Nakashima Medical Technical Center (Thailand) Co., Ltd.
Registration date	01/12/2014
Authorized capital	5 Million Baht
Type of business	Technical Center for Surfical Implants and Instruments
Location	141 M.9 Thailand Science Park Innovation Group Phahon Yothin Rd. Khlong Luang, Pathum Thani 12120
BOI	None

Major shareholders

No.	Name	% of shares	Amount of shares (Baht)
1	Teijin Nakashima Medical Co., Ltd.	99.94%	4,997,000.00
2	Mr. Motoyoshi Nakashima	0.0200%	1,000.00
3	Ma. Takayoshi Nakashima	0.0200%	1,000.00
4	Me. Yoshio Nakashima	0.0200%	1,000.00

Project Factsheet

Item	Detail
Project Background	Teijin Nakashima Medical Co., Ltd. collaborates with National Metal and Materials Technology Center (MTEC) and set up research center in Thailand since 2013. In 2015, the fund was granted from New Energy and Industrial Technology Development Organization (NEDO) of Japan for the study of Thai and Japanese people's anatomy of knee joint..
Aim	- To be a research center and computer laboratory for joint prosthesis development and design and other related medical devices. - To be a research center for collaboration of services with other organization for all Arthritis patient throughout Asia.
Partner Background	MTEC is a public organization operating under the National Science and Technology Development Agency (NSTDA) which is attached to Ministry of Science and Technology (MOSTE), Thailand. Its major objectives are to promote, support, as well as perform and coordinate R&D in polymers, metals, ceramics, and related technologies including design and manufacturing, and to encourage the formation of strategic alliances and networking with various institutions.